

図書館で学ぶために



昭和57年4月

千葉大学附属図書館

附属図書館



▲ 本館

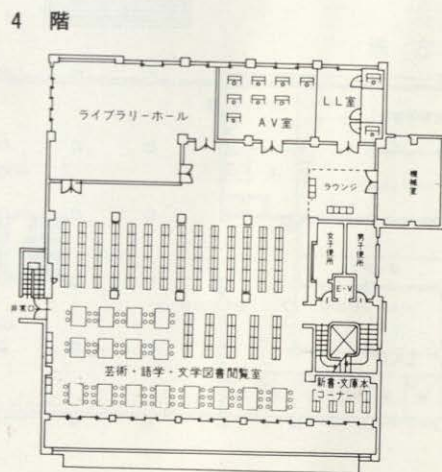
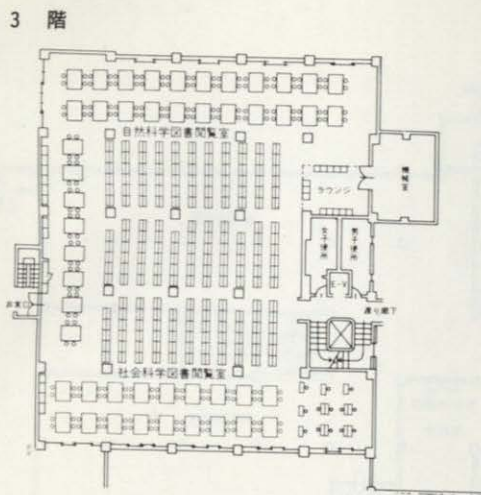
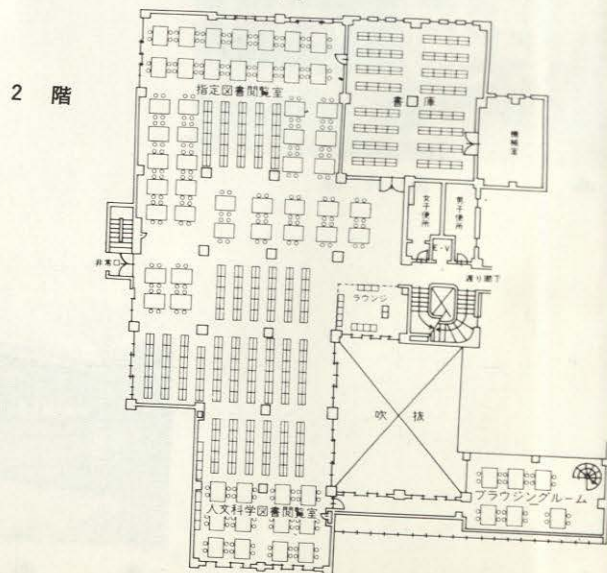
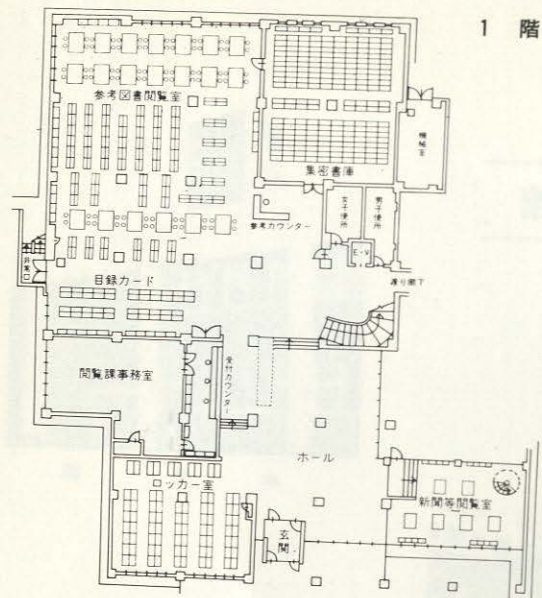


▲ 支 鼻 分 館

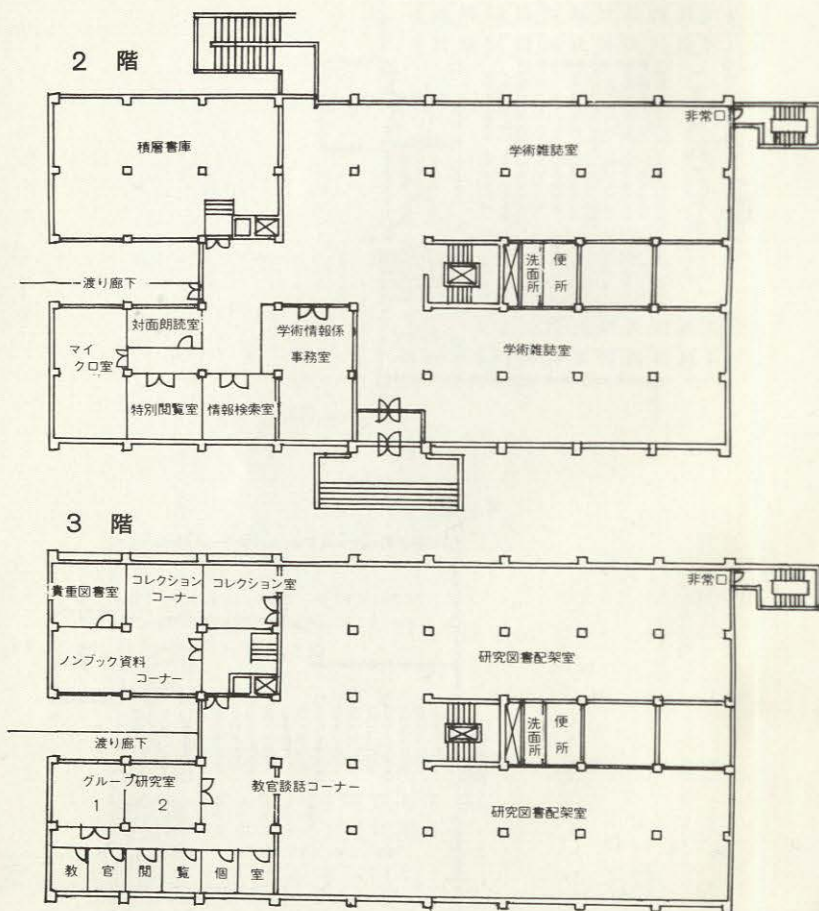


▲ 園芸学部分館

■新館



■旧館



本の有難さ

私も今まで度々本を自ら書いたり編集したりしたことがあるが、その書いた人の苦勞を思うと本くらい安いものはないと思う。そのうちの何冊かは何十年も私の手元にあって利用されている。もっともすべてがそのように価値のある本ではなく、内容に失望させられたこともある。しかし下らないと思う雑誌や本でも、使いようによってはそれなりの役割を果たすこともある。もう二十年も前のことであるが、ハワイ大学の図書館で何日か調べものをしたことがあるが、日本のものがすぐれたものも下らぬものもじつによく集められているのを見てびっくりしたことがある。

千葉大学附属図書館は西千葉キャンパスの中央に位置する本館のほか、亥鼻地区の亥鼻分館、松戸の園芸学部分館があるが、わが国の大学でも有数の図書館である。昨年度は御承知のように本館の西の増築部分が完成し、今後飛躍的な発展をとげるものと期待されている。

本は多かれ少なかれ自分で購入し手元におくものも必要であるが、一方、何もかも自分でまかなうことは不可能である。新着の雑誌をみたり、大型の辞書をひいたり、一寸一部分をみればすむ本とか、借り出してじっくりよむ本など、さまざまな要望をみたしてくれるのが図書館であろう。「図書館で学ぶために」という便利な手引も用意されているし、その他必要に応じて尋ねて戴ければ、図書館は諸君の存学中のすばらしい伴侶の役割を果たしてくれるであろう。大いに活用されることを期待したい。

1982年3月

千葉大学附属図書館長

沼田 真

4.2 各国の主要辞書	32	a 古語辞書	42
(1) 日本語	32	b 新語辞書	43
A 普通語辞書	32	c 語源辞書	43
a 国語辞書	32	d 方言辞書	44
b 漢和辞書	33	e 俗語・隠語辞書	44
B 特殊語辞書	34	f 慣用句・用法辞書	45
a 古語辞書	34	g 発音辞書	46
b 新語辞書	35	h 同(反)義語辞書	46
c 外来語辞書	35	i 略語辞書	48
d 方言辞書	35	j 押韻辞書	48
e 音韻辞書	35	k 諺語辞書	48
f 慣用句・諺語辞書	36	(4) ドイツ語	50
g 同(反)義語辞書	36	(5) フランス語	52
h 用字用語・難読語辞書	36	(6) オランダ・北欧語	54
(2) 中国語	37	(7) スペイン・ポルトガル語	54
・東洋諸語	37	(8) イタリア語	55
(3) 英語	38	(9) ロシア語	55
A 普通語辞書	38	(10) ギリシヤ・ラテン語	56
B 特殊語辞書	42	(11) 多国語	57
第5章 百科事典(Encyclop(a)edias)	58		
5.1 百科事典の歴史等に関する図書	58	<類書>	60
5.2 百科事典の内容	58	<事物起源>	60
5.3 百科事典の効果的な利用法	59	(2) 英米	61
5.4 各国の百科事典	59	(3) ドイツ	62
(1) 日本	59	(4) フランス	63
		(5) イタリア	64
		(6) ソビエト	64
第6章 年鑑(Yearbooks)	64		
6.1 年鑑の種類	64	(1) 百科事典年鑑	64

(2) 総合年鑑	64	6.2 年鑑の効果的な利用法	65
(3) 地域年鑑	65	6.3 総合年鑑の特徴	65
(4) 専門主題年鑑	65		
第7章 人名・団体名(Biographical dictionaries and directories)	66		
7.1 世界	66	(1) 宗教	71
7.2 日本	67	(2) 研究・教育	71
<人名録>	67	(3) 芸術・文学	72
7.3 外国	69	(4) 人名関係記事索引	73
(1) 東洋	69	7.5 団体・機関名鑑	73
(2) 英	69	(1) 学術・学術団体	73
(3) 米	70	(2) 民間団体	75
(4) その他	70	7.6 人名研究・難読姓氏	75
7.4 専門人名事典	71	7.7 系譜・家系	76
第8章 地名・地図(Gazetters and atlases)	77		
8.1 地名辞典	77	(2) 地方地図帳	81
(1) 世界	77	A 日本	81
(2) 日本	78	B 外国	81
(3) その他	78	(3) 専門地図帳	82
8.2 地図帳	79	8.3 旅行案内書	82
(1) 世界地図帳	79		
第III部 レファレンス事例65選(65 case studies in references)	83		
1. 読みたい本がどこにあるか? の質問とその回答例	83		
2. 図書・出版・所在調査に関する質問とその回答例	87		
3. コトバに関する質問とその回答例	89		
4. 事柄に関する質問とその回答例	91		
5. 人物に関する質問とその回答例	93		

- 6. 団体の住所・内容などに関する質問とその回答例 94
- 7. 地理・地名に関する質問とその回答例 96

第Ⅳ部 文献目録作成法 (Making bibliographies) 98

- 1. 卒業論文作成等における論文の「テーマの決定」から「論文作成」まで 98
- 2. 文献目録の作り方 99
- 3. 文献探査・情報処理・論文レポートの書き方に関する図書 102

第Ⅴ部 学外図書館の利用法 (How to use other libraries) 104

- 附録
- 1. 日本十進分類法 (NDC) 主編表 111
 - 2. 目録カードのひき方 112
 - 3. ヘボン式ローマ字表記法 116
 - 4. ロシア文字翻字表 116
 - 5. 外国語略語表 (洋書目録に使用されるもの) 117
 - 6. 図書の各部分の名称 118

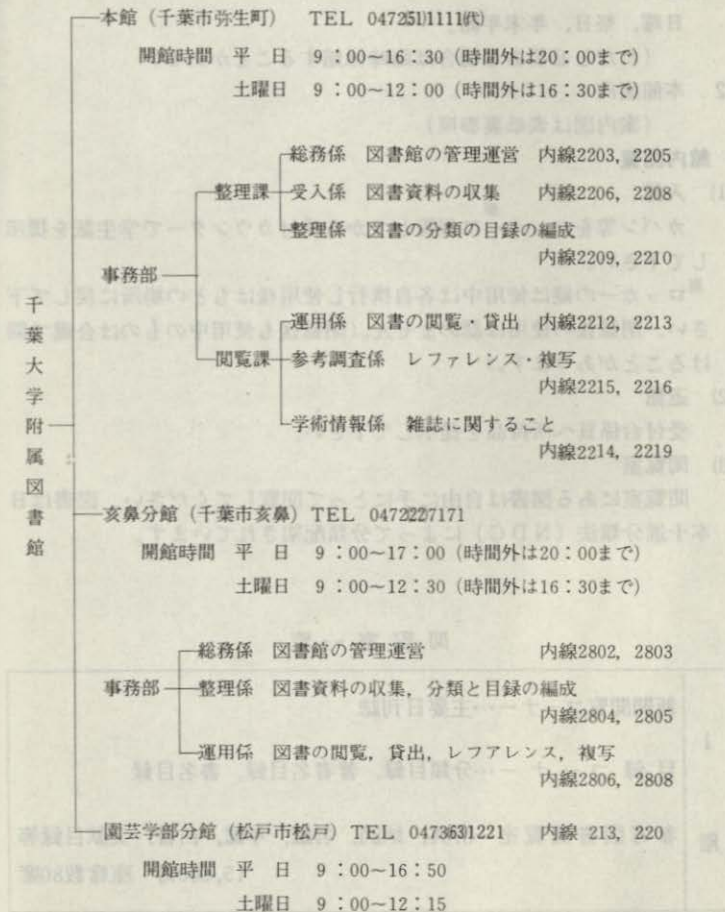
索引 123

(題字は前附属図書館長 市原権三郎)

第Ⅰ部 図書の利用法

第Ⅰ章 本学附属図書館案内

1. 附属図書館の組織と開館時間



図書の利用

本学学生はすべて前記の図書館を利用できます。たゞし閲覧方法などはそれぞれの図書館で決められた閲覧規則によってください。

休館日

日曜、祭日、年末年始。

(ただし必要ある場合は臨時休館することがある)

2. 本館案内

(案内図は表紙裏参照)

館内閲覧

(1) 入館

カバン等をロッカー^{*}に保管してから受付カウンターで学生証を提示して下さい。

^{*}ロッカーの鍵は使用中は各自携行し使用後はもとの場所に戻して下さい。閉館後の使用は認めません。(閉館後も使用中のものは合鍵で開けることがあります。)

(2) 退館

受付台係員へ所持品を提示して下さい。

(3) 閲覧室

閲覧室にある図書は自由に手にとって閲覧してください。図書は日本十進分類法(NDC)によって分類配架されています。

閲覧室一覧

1 階	新聞閲覧コーナー…主要日刊誌
	目録コーナー…分類目録, 著者名目録, 書名目録
	参考図書閲覧室…辞典, 地図, 名鑑, 年鑑, 白書, 文献目録等 15,000冊 座席数80席

2 階	指定図書閲覧室…教養課程学生の授業に関連して指定した図書。 11,000冊
	人文科学図書閲覧室…哲学, 歴史, 伝記, 地理等の図書。 15,000冊 座席数 248席
3 階	ブラウジング・ルーム…自習室 座席数 24席
	※マイクロ室…マイクロ資料, リーダープリンター3台
	※学術雑誌室…約600種の新刊誌, 索引, 抄録誌 ※印は旧館

3 階	社会科学図書閲覧室…法律, 経済, 社会, 教育学等の図書 15,000冊
	自然科学図書閲覧室…自然科学, 工学, 農学, 産業等の図書 18,000冊 座席数 213席
4 階	※グループ研究室…多人数で共同して研究するとき使用する
	※研究図書配架室…研究者向きの高度な図書を配架
	※教官閲覧個室…教官用の個室 ※印は旧館

4 階	芸術・語学・文学図書閲覧室…美術, 音楽, 体育, 言語, 文学等の図書。 22,000冊 座席数 80席
	視聴覚室(AV室, LL室)…映像4席 音声6席
	ライブラリーホール…多目的な集会室 座席数 70席

(4) 書庫

※
※
書庫には単行書約10万冊, 雑誌のバックナンバーおよび大学・研究機関発行の研究報告類があります。カード目録で検索して直接書庫へ行って閲覧して下さい。貴重書は係員の指示により貴重書閲覧席で閲覧して下さい。
※印は旧館

館外貸出

閲覧室および書庫内図書の貸出手続・貸出予約はすべて1階の貸出カウンターで行います。

(1) 貸出冊数と期間

一般図書、指定図書

学部学生 1人3冊2週間

ただし4年次学生 1人8冊1か月(卒論作成のため)

大学院学生等 1人10冊1か月

教職員 1人10冊1か月

館外貸出図書は期限までに返却しなかった場合は、延滞日数だけ館外貸出を停止します。

「参考」、「禁帯出」のラベル貼布の図書、雑誌は館外貸出しません。

(2) 貸出手続

1. 登録 図書館利用者カード交付手続票(マークカード)により登録手続を行い利用者カードの交付を受けて下さい。利用者カードは他人に貸与できません。住所変更または紛失した場合はすぐ届け出て下さい。

2. 手続 図書と利用者カードを貸出カウンターに提出し、貸出を受けてください。

(3) 貸出予約 希望の図書が貸出中になっている場合、予約申込ができます。

備付の図書予約申込書に記入して提出してください。

返却

(1) 館内閲覧の場合 一般図書、指定図書は書架に戻さず必ず**返本台**に置いてください。参考図書と雑誌は書架に戻してください。

(2) 館外貸出の場合 1階受付カウンターに、必ず期限内に返却してください。更新は一回限りです。

千葉大学附属図書館本館図書閲覧細則(抄)

第5条 入館に際しては、受付において学生証、身分証明書又は閲覧許可証を提示するものとする。ただし、学外者は、あらかじめ館長に閲覧願を提出して閲覧許可証を受けなければならない。

2 学習に必要な携帯品以外は、ロッカーに格納し、鍵は退館まで各自で所持する。

(館内閲覧)

第6条 館内の図書、雑誌等は、所定の閲覧室において自由に閲覧することができる。

2 書庫内に収納する図書については、利用者自ら検索し、閲覧室において閲覧するものとする。ただし、次の行為をしてはならない。

一 図書の配列順序を乱す等書庫内の秩序を乱すこと。

二 検索に不必要な物品を携行すること。

3 閲覧後は、所定の場所に返却しなければならない。

(貴重図書)

第7条 貴重図書及び特殊資料の閲覧は、館長の許可を受けなければならない。

(館外貸出)

第8条 図書の館外貸出を希望するものは、利用者カードと図書を係員に提出しなければならない。

(貸出期間及び冊数)

第9条 貸出期間及び貸出冊数は、次のとおりとする。

一 教職員 1ヶ月 10冊以内

二 大学院生及び研究生等 1ヶ月 10冊以内

三 学生 2週間 3冊以内

(ただし4年次学生は、1か月 8冊以内)

四 前各号に掲げる者のほか館長が特に許可した者

2週間 3冊以内

2 館長が特に必要と認めた場合は、前項の貸出期間及び冊数を変更することができる。

(長期貸出)

第10条 学生に対する長期休暇中の貸出については、別に定める。

(貸出期限)

第11条 館外貸出図書は、期限内に必ず返却しなければならない。

2 期限までに返却しなかった場合は、延滞日数だけ館外貸出を停止する。

3 職員及び学生が、その身分をはなれ、又は停職、休職、停学若しくは休学となった場合は直ちに借受図書を返却しなければならない。

4 館外貸出図書は、借受期間中でも館長が必要と認めるときは返却を求めることができる。

(延滞)

第12条 貸出期限後も引き続き貸出を希望する場合は、当該図書を持参し所定の手続きを行わなければならない。

2 貸出の更新は1回に限る。ただし、貸出希望の予約があるときは更新することができない。

(転貸)

第13条 館外貸出図書は、他人に転貸してはならない。

(禁滞)

第14条 次の図書は、原則として館外貸出をしない。

一 貴重図書

二 特殊資料

三 辞書、事典、書目、年鑑、統計、地図等の参考図書

四 雑誌

五 その他特に指定した図書

(図書の取扱)

第15条 閲覧又は貸出をうけた図書は、丁重にあつかい、亡失又は汚損してはならない。

(弁償)

第16条 図書を亡失又は汚損したときは、同一図書を弁償しなければならない。

(違反者の措置)

第17条 当該細則、図書館掲示事項その他係員の指示に違反した者には、図書館の利用を停止することがある。

目録

図書館では目録によって図書の検索を行います。目録室には次の目録が備えてあります。

(1) 本館備付図書目録 単行書、著者名目録 書名目録 分類目録

(2) 研究室備付図書目録 単行書、著者名目録 分類目録

(教官研究費によって購入して、教官研究室に備え付けてある図書の目録です。)

(3) 全学総合目録 昭和30年度以降に受け入れた、全学の所蔵図書のカード目録があります。

(4) 雑誌目録 西千葉地区の誌名順目録

ほかに冊子体目録として、千葉大学蔵書目録 和漢書編 昭和40～45年 2冊、雑誌総合目録 1970年版、学術雑誌総合目録 自然科学欧文編 1976年版・1981年版があります。

購入希望図書 新刊書で購入希望の本がある場合は、備え付けの用紙に、「利用者の声」箱に投函して下さい。

購入決定図書等については後日掲示します。

新着図書 2～4階のガラス戸棚に新着図書を展示します。

レファレンスサービス 9 ページ参照

図書館及び資料を使って、調査研究、学習を進めていく際に起る様々な問題について、利用者の質問に応じ、相談し、援助をします。

9 頁に示すような手順で一般的には行ないますが、わからないときはレファレンスデスクに相談して下さい。

相互利用 利用したい資料が学内にない場合、他の図書館を利用できますのでレファレンスデスクへ申し出て下さい。

他の図書館から借りたり、複写で取り寄せることができます。直接出かけて利用することもできます。

複写サービス 学内所蔵の文献について複写サービスをしています。(レファレンスデスク)。料金、受付時間は次のとおりです。

種 別	単 位	料 金	備 考
電子複写方式 (ゼロックス)	1 枚	40 円	受付時間
フィルムからの引伸	1 枚	40 円	土曜日は 9:00-12:00 12:00まで 13:00-16:30

視聴覚室 (AV室, LL室)

利用時間は次のとおりです。

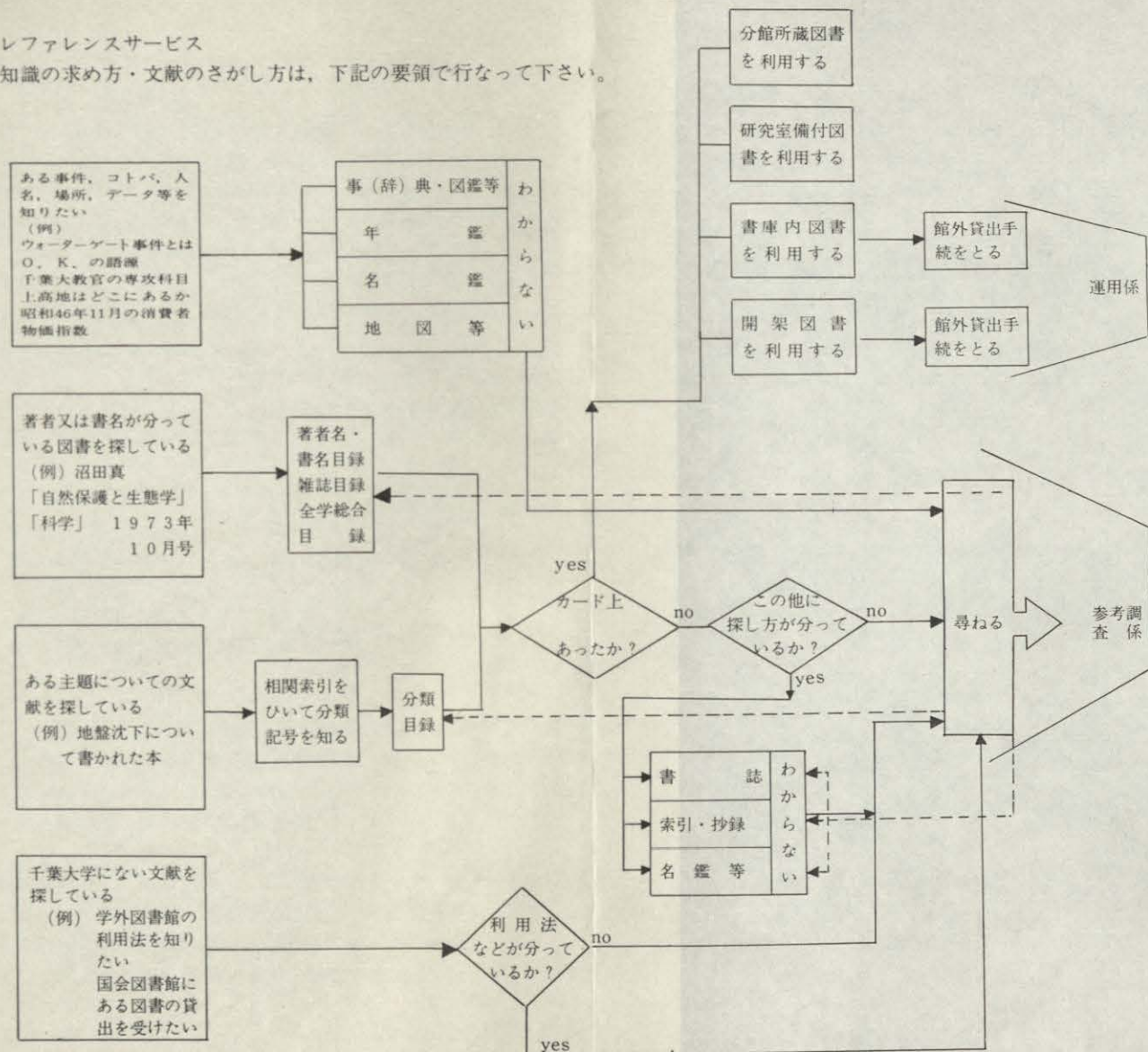
月曜日 13時~16時30分

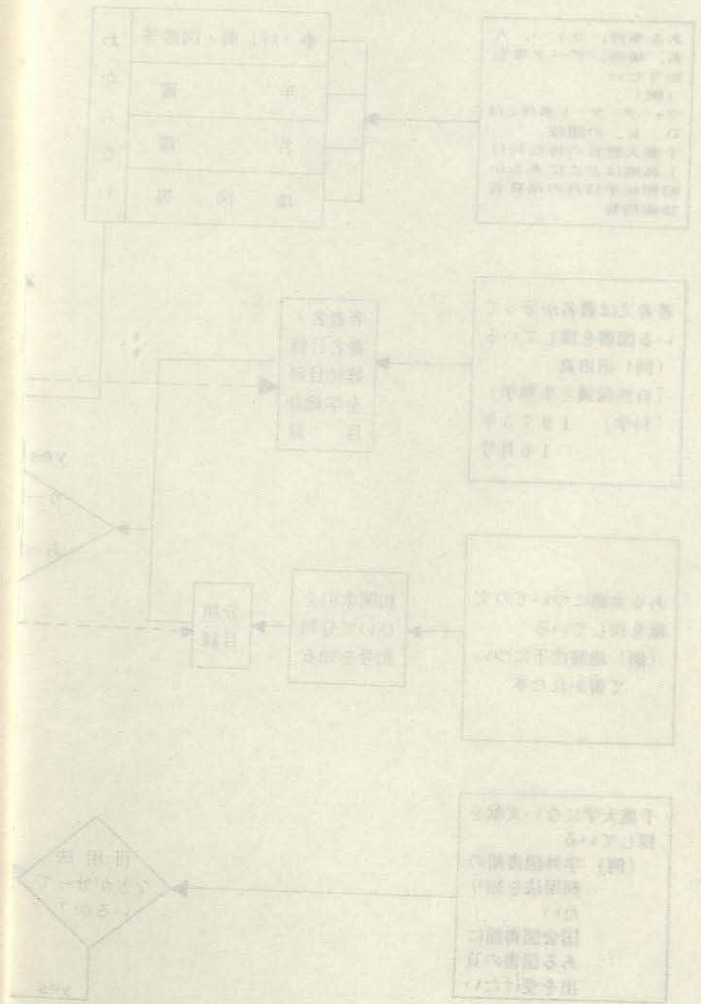
水曜日 〃

金曜日 〃

レファレンスサービス

知識の求め方・文献のさがし方は、下記の要領で行なって下さい。





特殊資料

- (1) 佐久間文庫 同文庫の由来は、旧制二高(仙台)でドイツ語の教授をしていた佐久間政一氏の蔵書を同氏の子息で、本学人文学部教授篠崎福三氏から寄贈されたものである。内容はドイツ語の文学、芸術、絵画が中心で約1200冊をおさめる。
- (2) 郭沫若寄贈文庫 昭和30年に中国科学院長郭沫若氏から寄贈を受けた中国一大叢書「四部叢刊」等約 3,000冊をおさめる。
- (3) 町野家文書 昭和30年に千葉県犢橋町の町野家から寄贈をうけた旧名主町野家襲蔵の古文書約700点及び明治期の新聞1,000点をおさめる。
- (4) 東洋医学古書コレクション(亥鼻分館) 本コレクションは、本学眼科の伊東弥恵治教授(1891~1958)が戦前に収集された古医書と戦後、佐倉順天堂蔵書がその主なもので、約 6,000冊をおさめる。

館内の規律

お互に落ちついた気持で学習できるように協力してください。

- (1) 私語をつつしむこと。
- (2) 館内を汚さないこと。
- (3) 本に書き込みをしたり切り抜きをしないこと。
- (4) 館外貸出は必ず所定の手続をすること。

掲 示

正面入口横に掲示板を設けてあります。臨時休館、開館時間、長期休暇前の特別貸出、図書館利用のためのガイダンス等についてお知らせします。忘れ物、呼び出し等については、館内受付カウンター前の掲示板をみてください。

学部研究室案内

西千葉地区にある各学部(人文・文学・教育・法経・理学・薬学・工学・教養部)には多くの研究室があります。これらの研究室には比較的高度な学術専門書が備え付けられており、研究に支障のない限り利用することができます。

第2章 図書の分類と配架

分類とは図書を主題によって(例えば、「都市問題」に関する図書という場合、都市問題が主題である)、並べておくと使い易いという考えから、殆どどの図書館で用いている本の配架方法である。

2.1 分類方式

代表的なものは、次の三つに分けられる。

- (1) 体系的分類法……諸概念に一つの体系性をもたせる。
 - i) 十進分類法……すべての対象を大きく十区分し、その中を更に十づつに細分していく方式。例：日本十進分類法(NDC), アメリカのデュイ十進分類法(DC)
 - ii) 二十六進分類法…アラビア数字を用いなくてアルファベットを用い、これに数字を組み合わせる。例：国会図書館分類表, アメリカ議会図書館分類表
- (2) 組み合わせ分類法…諸概念を先づ大きくカテゴリーに分け、対象を分類する際に、カテゴリーの中から最適の分類概念をとりあげて、更にその中の細かい項目を決定し決定したものを必要なだけ組み合わせる。
- (3) 中間的分类法……対象を体系分類の方法によって区分しておくが、その中の項目をカテゴリー分類法と同じように組み合わせて使うことを可能にしたもの。例：国際十進分類法, コロン分類法

例：国際十進分類法, コロン分類法
 本学図書館では上記(1)の中の日本十進分類法(NDC)を使用している。

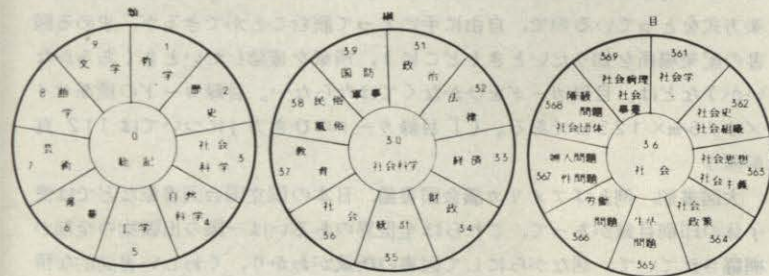
2.2 分類記号

NDCは、まづ図書の主題を0から9までの10の「類」に区分し、それを更に10区分してゆくものである。この十進法は必要な主題に達するところまで繰り返され、段々とこまかく区分することができる。今、仮りに「都市問題」を例にとると次のとおりになる。

3	社会科学……………類
36	社会……………綱
361	社会学……………目
361.4	社会集団
361.48	都市と農村

……細目(主網表は111頁参照)

これらの数字を「分類記号」といい、便宜上、第3位に小数点をつける。呼び方は記号であるからサン・ロク・イチ・テン・ヨン・ハチと発音する。図示すると次のようになる。



2.3 図書記号

同じ主題の図書が多いと同じ分類記号の図書が多くなる。従ってこれらの本の配架場所を1冊づつ決めておくために、図書記号を使う。これは通常著

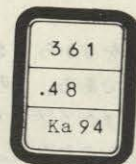
者又は書名の頭文字に数字を加えたものであり、図書館では「日本著者記号表」などを使っている。

例：川上武→Ka94

ラベル（右図）とは、分類記号と図書記号を記入し、図書の配架場所

を示したものである。（本館の開架図書は図書記号を省略） 114頁参照）

以上の規則で図書にラベルが貼られると90cm巾の棚の上段から順次左から右へ配架される。



分類記号

請求記号

図書記号

（請求記号と図書記号は）
目録カードの
左上に記入さ
れる。

第3章 目録カード

3.1 目録カード

例えば、大原光憲が著作した（著者）「都市問題と住民運動」という図書があるか？著者がわからないが「都市問題と住民運動」という本（書名）があるか？「都市問題に関する図書」にはどんなもの（主題）があるか？などを「ひく」ために目録（カード）がある。本学図書館では、大半の図書は開架方式をとっているの、自由に手にとって読むことができるが、求める図書の配架場所を知りたいとき（どこに）、所蔵を確認したいとき（あるかないか）などは、目録カードをひかなくてはならない。目録カードの標準サイズは7.5cm×12.5cmである。（「目録カードのひき方」については112頁参照）

大図書館、例えばアメリカ議会図書館、日本の国立国会図書館などでは冊子体の印刷目録があって、これらは全世界のあるいは一国の出版物の全部が網羅されていて、居ながらにして図書の所蔵がわかり、くわしい書誌的な情報を得られるようになっている。

3.2 目録カードの種類

目録には次の三つの体系がある。

- 1 辞典式目録……著者名・書名・件名カードなどが一本で検索できるようアルファベット順に配列してある。
- 2 分割目録……著者名・書名・件名カードがそれぞれ独立して配列してある。

*件名とは主題を表わすコトバであって、件名を決めるために各図書館では「件名標目表」を作成して統一をはかっている。

3 分割目録……図書を主題によって分類し、分類記号を与え、分類記号順に配列してある。分類体系を理解していないと有効に活用できないことが多いので、分類表にある相関索引を使って、分類記号を求めなければならない。

*相関索引とは分類表の内容を知らない人でも使えるようにコトバから分類記号への案内をしたものである。

文献をさがすには、これらの目録を目的に応じてひけばよい。本館目録室にある目録は分割目録の中の著者名目録、書名目録（1970年以後）および分類目録である。著者名目録といっても、その中に叢書、全集、レファレンスブックなどは書名が標目（見出し語）になって含まれているので、変形分割目録といえる。

3.3 目録カードの配列

目録カードは和漢書（標目をヘボン式でローマナイズ）、洋書ともアルファベット順に配列してある。（116頁参照）

- (1) 和漢書の場合 配列の方法は字順と語順配列があるが、本学では前者によっている。
- (2) 洋書の場合 word by word 配列である。

word by word	letter by letter
House	House
House art	House art
House fly	Housebreaking
House industry	House fly
Housebreaking	Household
Household	Household troop
Household troop	House industry
Houses	Houses

第Ⅱ部 レファレンスブック

レファレンスブックとは、続けて読む本というよりも、「必要に応じてひく」ことを目的とした本である。例えば、辞書、百科事典、年鑑、地図等は最も代表的なレファレンスブックの例である。図書館ではこの種の本を「参考図書」といい別置している。しかし学習用の「参考書」などと混同しやういのでここではレファレンスブックと呼ぶ。

一般的にある情報をすぐにとりだせるようにあらゆる分野にわたって、一覧性のある情報源をそろえておく集書のことをレファレンスコレクションと呼んでいる。しかしレファレンスコレクションに入らない雑誌、一般の図書、パンフレットなどのなかにも情報源になるものが多いことを知っておかなくてはならない。

第1章 書誌・目録

書誌の定義は大きく分けて二つある。

(1) 列挙的な書誌^{*} ある著者に関する書誌(例: 萩原朔太郎書誌)、ある主題についての図書・論文記事などの書誌(例: 日本政治学文献目録)、一国・一か国語あるいはある特定の図書館で出版した書誌(例: 国立国会図書館蔵書目録, National Union Catalog)などである。これらの書誌は、関係事項に関する資料を網羅的に収集し、一定の方針のもとに組織的に一例え、著者名順、年代順、主題のアルファベット順、主題の分類順、辞典式順など一配列されている。

^{*} 普通書誌は、単独の図書館または図書館群の蔵書の記録である「目録」あるいは現に手許にある資料のリストを記載した「書目」とは区別されている。しかし、出版物の書名として使われる場合は厳密には区別されていない。

(2) 書誌学 図書そのものの形態、なりたち、歴史などを調べる学問をいう。

ここでは(1)の意味の書誌をとりあげて説明する。

1.1 レファレンスブックの案内書

書誌・目録・索引・抄録・辞書・百科事典・便覧・年鑑などのレファレンスブックにつき、利用者が目的に応じて選択できるように解題した案内書に次のものがある。

1. Sheehy, E. P. ed. *Guide to reference books*. 9. ed. Chicago, A. L. A., 1976, 1014p

世界各国の主要レファレンスブックの案内書。解説には“valuable” “important”などの評語が与えられている。

2. 日本の参考図書 改訂版 日本図書館協会 昭40 335p 補遺版 昭47 379p

国内の主要レファレンスブックについて、上記と同様な方針にもとづき解題したもの。

3. Walford, A. J. *Guide to reference materials*. 2. ed. London, Library Assoc., 1966-70. 3v. V. 1: Science & technology. 3. ed. 1973.

1と同様全般的であるが、英国出版物に重点がある。

4. Totok, W. usw. hrg. *Handbuch der bibliographischen Nachschlagewerke*. 4. Aufl. Frankfurt am Main, Klostermann, 1972, 367p

主として大学生の利用に供する目的で、重要なものを選択解説したもの。

5. Macléa, Louis-Noëble. *Les sources du travail bibliographique*. Geneve, Librairie Droz., 1950-58. 3v. 1940~50年代のものを主に扱っている。

1.2 書誌の書誌

書誌といわれる範囲の図書を一定の方針に従って書誌にしたものが書誌の書誌である。

1. 天野敬太郎編 *日本書誌の書誌 総載編* 巖南堂 昭48 671p
江戸時代以前の主な書目も含め明治から昭和40年までの一般書誌をおさめる。

2. 深井人詩 *最近の図書・書誌関係文献 日本古書通信* 昭42~(連載中)

単行書として出版された書誌、および図書と雑誌に記載された書誌の記事を分類して列挙してある。本学図書館ではカード化して閲覧に供している。

3. **Beesterman, T. World bibliography of bibliographies.** 4. ed. Totowa, N. J., Rowman and Littlefield, 1965. 5v. アルファベット順配列の主題別書誌。各国の図書目録、写本目録、特許目録など約11万7千点をおさめる。
4. **Bibliographic index.** New York, Wilson, 1973— 単行書として出版された書誌、および図書と雑誌に記載された書誌の記事を主題のアルファベット順に配列した索引誌。英語文献中心で、収録誌約1千点。
5. **Arnim, Max. Internationale Personalbibliographie, 1800-1959.** 2. Aufl. Lpz., Hiersemann, 1952-1963. 3v. 個人の著作目録、伝記に関する記事を、それらが記載されている文献から収録したもの。

1.3 国際書誌

世界各国の図書を収録した書誌を言う。特にアメリカ議会図書館、大英博物館、フランス国立図書館の冊子体目録が有名である。

1. **National union catalog : a cumulated author list.** Washington, National Library, 1971— アメリカ議会図書館と600余館の蔵書を収録、累積版1956-1967. Rowman, 1971-73 120v あり。

1.4 一国の書誌・販売(在庫)目録

(1) 日本

1. **国書総目録** 岩波書店 昭42-51 9冊 古代から慶応三年までに日本人が著作・編集・翻訳した書籍を約50万点収載した。各項目には、よみ、巻冊、分類、著編者、成立年代など書誌の事項の詳細を記してある。全国の図書館・文庫の総合目録ともなつて、その書籍の所在の明記は写本、刊本を問わずなされている。
2. **和田英松 本朝書籍目録考証** 明治書院 昭45 664p 国書の総目録のうちでは最も古い出版で、鎌倉時代以前の493点について20篇に分けて解題。
3. **慶応義塾大学附属研究所斯道文庫編 江戸時代書林出版書籍目録集成** 井上書房 昭37-39 4冊 江戸時代寛文初期から享和年

代に至る150年間に出版元「書林」が編集した書籍目録の集成。江戸版本調査の基礎資料ともなる。

4. **朝倉治彦・佐久間信子編 明治初期三都新刻書目** 日本古書通信社 昭46 418p 東京(江戸)、京都、大阪で、明治元年から7年までに刊行された書籍の目録。
5. **明治前期書目集成** 第1~14巻一 明治文献 昭46— 明治11~24年に内務省に納本された文学・思想・政治・経済・財政などの図書目録。
6. **明治文化資料叢書第7巻：書目編** 風間書房 昭42 596p 明治時代の政府および関係省庁の出版図書の要覧。
7. **全日本出版物目録** 昭和34年版~46年版— 国立国会図書館 年刊 国内で刊行され、国立国会図書館に納本された出版物の総目録。
8. **出版年鑑** 昭和9年版~48年版— 出版ニュース社(現在) 年刊(欠巻あり) 年間に出版販売された出版物の目録、および出版に関する各種統計、名簿、各賞などをおさめる。ごく最近のものについては出版ニュースがある。
9. **日本書籍総目録** 日本書籍出版協会 年刊 1977— 現在市販されまたは入手可能な図書をおさめた販売(在庫)目録。書名の五十音順。著者索引とシリーズ索引が付されている。

〈国立国会図書館蔵書目録〉

1. **帝国図書館和漢図書書名目録** 第2編(明27)~第7編(昭24) 明36~昭41 6冊
2. **帝国図書館・国立国会図書館和漢図書分類目録** 昭和16年1月-24年3月 昭39 1144p
3. **国立国会図書館蔵書目録** 昭和23-33年 昭35~43 5冊
4. **国立国会図書館蔵書目録 和漢書の部** 昭和32年~36年版 昭33~36 5冊
5. **国立国会図書館蔵書目録 和書篇** 昭和34-43年 昭45~52 全10冊 第1編第1冊総記・哲学・宗教、第2冊歴史・地理、第2編社会科学(上、下)、第3編第1冊自然科学、第2冊工学、第3

- 冊産業, 第4編第1冊芸術・語学, 第2冊文学, 書名索引
6. 国立国会図書館蔵明治期刊行図書目録 昭46~51 6冊
 7. 国立国会図書館蔵児童図書目録 昭46~47 2冊, 1975年版
 8. 国立国会図書館蔵書目録 洋書編 昭23~33年 昭38~40 2冊
 9. 新収洋書総合目録 昭和29年~ 年刊 国立国会図書館所蔵に限らず, 国内主要公共図書館・主要大学図書館所蔵を収録し, 所在を明記した総合目録。

(2) 外国

1. **American book publishing record** New York, Bowker, 1970- 年刊 アメリカの出版物目録。デューイ十進分類法による配列。
2. **British national bibliography**. London, The Council of the British National Bibliography, 1970- 年刊 イギリスの出版物目録。デューイ十進分類法による配列。
3. **Cumulative book index**, Wilson, 1949- 月刊・季刊・半年刊 英語で書かれた図書の出版物目録。著者・書名・主題の辞典式目録。
4. **Deutsche Bibliographie; . fünfjahres-Verzeichnis 1956-1960**. Frankfurt, Buchhändler, Vereinigung, 1964-1968. 5v. 西独の全国書誌。5年毎に累積版を発行。1961-1970 累積版刊行中。
5. **Deutsche Bücherverzeichnis, 1956-1960**. Lpz., Bibliothekswesen, 1963-1968. 5v. 東独の全国書誌。5年毎に累積版が発行される。1961-1970 累積版 刊行中。
6. **Biblio**. Paris, Hachette, 1961- フランス語で書かれた図書・雑誌の辞典式目録。フランスのみでなくベルギー, スイス, カナダの出版物も含む。
7. **Books in print**. New York, Bowker, 1967- アメリカの出版在庫目録。

- Subject guide to books in print**. 1970- は姉妹書で, 主題別目録。
8. **British books in print**. London, Whitaker, 1968- イギリスの出版在庫目録。
 9. **Verzeichnis lieferbarer Bücher**. Frankfurt am Main, Buchhändler Vereinigung, 1971/72- ドイツ語の出版在庫目録。西独, オーストリア, スイスを含む。

1.5 選定書誌・解題書誌

1. 佐村八郎 国書解題 増訂改版 京都 臨川書店 昭43 2冊(大正15年の複製版) 慶応三年までの国書約2万5千部を解題し, その著者の略歴も付す。初版は明治29年。
2. 群書解題 統群書類従完成会 昭35~42 30冊 正統群書類従に収集された書籍の解題。また正統群書類従分類総目録・文献目録もある。
3. 世界名著大事典 平凡社 昭35~37 8冊 世界の名著1万1千点の解題。
4. 岡野他家夫 日本近代名著と文献 有明書房 昭42 353p
岡野他家夫 近代日本名著解題 有明書房 昭37 391p どちらも幕末から明治にかけての社会に影響を与えた書物についての解題書。研究資料・文献が豊富。
5. 選定図書目録 1966年版-日本図書館協会 年刊 日本図書館協会がその一年間の出版物について選定した解題付き図書目録。
6. 日本の名著 改訂新版 毎日新聞社 昭45 321p
7. 世界の名著 改訂新版 毎日新聞社 昭45 366p
8. 名著の履歴書-80人編集者の回想 上, 下 日本エディタースクール出版部 昭46 2冊 昭和21~42年までの日本の名著約80点についての出版までの記録。

《漢籍等の解題書》

1. 桂五十郎 漢籍解題 明治書院 大2 980p

中国研究者の参考とすべき漢籍と、日本で普及している漢籍約1500点の解題書。

2. 長沢規矩也 支那書籍解題・書目書誌之部 文求堂 昭27 391p
日本で見ることのできる漢籍をひろくおさめた解題書。
3. 朝鮮総督府 朝鮮図書解題 名著刊行会 昭44 708p
旧総督府蔵の解題書。

1.6 叢書・全集の索引

ある作品が大冊の全集等に収録されると、その作品からは探しにくい場合が多い。その際、作品名のもとに収められた叢書・全集名が記入されている索引が大変便利である。

1. 国立国会図書館編 全集・叢書細目総覧 第1巻一 紀伊国屋
昭48— 全集、叢書名の項目のもとに内容細目を列挙。別に個々の書名による索引を作成予定。全3巻で日本人によるものが対象。第一巻は幕末までを扱い、五十音順配列の古典編・古典編索引がある。
2. 広瀬敏 日本叢書索引 新版 風間書房 昭44 761, 96p
個々の書名から、それが収められた叢書等を知ることができる。明治初年までを扱う。同種のものに下記がある。
 - ・ 渡辺茂編 総合資料索引 増訂版 小宮山書店 昭34 日本史料の索引。
 - ・ 国書総目録第8巻叢書目録
 - ・ 世界名著大事典第7巻双書
 - ・ 佐村八郎 国書解題 増訂改版 巻末叢書目録
 - ・ 有朋堂文庫総索引(総目録・総解題) 有朋堂 大5
 - ・ 国書刊行会出版目録・附日本古刻書史 明42
3. 川島五三郎・八木敏夫 全集叢書総覧 全訂版 八木書店 昭50 710p
明治初年から昭和48年までに発行された全集・叢書類の集成。内容細目索引はない。
4. 全集総合目録—1973 出版ニュース社 昭47 334p
全巻数、出版社、価格、簡単な内容見出しを記載。網羅的に集めた出版目録。

1.7 その他の書誌

(1) 稀書目録

1. 国立国会図書館所蔵貴重書解題 国立国会図書館 昭44—50 7冊
室町時代以前刊本、古活字版、古写経・仏教関係写本、古文書、名家短冊の部に分冊。
2. 国立国会図書館所蔵日本関係欧文図書目録 昭38 306p
3. 全国国立大学所蔵貴重図書目録 広島大学附属図書館 昭48 442p
貴重図書の内容を示し、文庫、特殊集書の一覧を附す。

(2) 翻訳書目録

1. 日ソ関係図書総覧 1917~1967 岩崎学術出版社 昭43 527p
2. 国立国会図書館編 明治大正昭和翻訳文学目録 風間書房 昭34 779p
3. 明治大正昭和邦訳アメリカ文学書目 原書房 昭43 239p

(3) 政府刊行物目録

政府刊行物とは、国の機関・公共企業体・政府関係機関で編集・監修・発行した刊行物である。

1. 国立国会図書館支部図書館編 官庁刊行物総合目録 昭和20年9月~33年12月 官庁図書館研究会 8冊 昭和34年以降は全日本出版物総目録 官公庁編
2. 国の刊行物解説目録 国立国会図書館 昭46 808p
昭和43年4月~45年3月発行の主要な2500タイトルを収録。内容紹介、解説を加える。
3. 政府刊行物月報 政府刊行物センター 月刊
4. 外国政府刊行物受入案内 国立国会図書館 半月刊
国際交換または寄贈により受け入れられた外国の政府刊行物の速報。
5. Monthly catalog of United States government publications. Washington, U. S. Government Printing Office, 1971—
アメリカ政府刊行物の総目録。
6. Canadian government publications. Ottawa,

(4) 国連刊行物目録

1. 国立国会図書館所蔵国際連盟・国際連合刊行物資料目録 第1-3-昭46- 単に所蔵を示すだけでなく、機関の機構を説明し、資料については概説を加えてある。
2. 京都国連寄託図書館 国連専門機関刊行物目録-利用の手引と刊行物目録- 昭39-41 3冊
3. **United Nations documents index.** New York, Kraus, 1972-

国連刊行物の資料検索誌。

(5) 書評誌

1. 書評年報 1971- 書評年報刊行会 主要新聞・雑誌'85" 紙誌に掲載された書評の図書名、評者名、掲載誌名などを、著者名別に集録。人名索引がある。
2. **Times literary supplement.** 1953- Times 文芸付録。英国の書評誌。
3. **New York Times review of books.** 1930- New York Times 付録。米国の書評誌。(養一英で所蔵) 図書新聞, 日本読書新聞(縮刷版1970-), 週刊読書人の書評欄も参考になる。

(6) 年表

1. 日本出版百年史年表 日本書籍出版会 昭43 1128p 江戸末期, 出版業者組合「本屋仲間」再興の嘉永4年(1851)-昭和42年間の詳細な年表。

第2章 定期刊行物

定期刊行物とは、図書が出版の形態として一度限りのものであるのに対し、一定の日時を隔てて(日刊, 週刊, 月刊, 季刊, 不定期刊など)継続的に号を追って発行される出版物である。オリジナルな情報源という意味で図書と共に一次資料*とも呼ばれる。

定期刊行物の特長は最新の情報を提供することにある。現在、国内で発行

されている定期刊行物は一般誌, 学術誌, 官公庁誌, 団体・協会誌等約一万数千種にのぼる。本章および次章では定期刊行物に関する資料と, 論文記事を探すための二次資料*をとりあげる。なお前章の図書の書誌・目録の中にも定期刊行物に関するものも含んでいるので併用するとよい。

*一次資料とは、オリジナルまたは原始情報(情報が発生した最初の状態をいい、二次資料とは、原始情報を受ける側がそれぞれ使い易い形に再編成したもので、書誌・目録・索引・抄録なども総称して二次資料という。

2.1 総覧類

1. 日本雑誌総覧 1972- 出版ニュース社 昭47-484p 不定期刊 現行の定期刊行物約1万3千点を、一般・学術・官公庁誌などに大別して収録。付索引。
2. 全国大学研究機関誌要覧 昭和43年版 日本学術振興会 昭43 203p 大学紀要・研究所報告などを収録。機関名, 所在地, 創刊, 変遷, 内容について記載。
3. 外国雑誌便覧 第1:ソ連・東欧篇 日本読書協会 昭43 390p
4. **Motto, F. L. A history of American magazines.** Cambridge, Harvard Univ. Pr., 1957-68, 5v. 1741-1930年のアメリカ雑誌の詳細な解説。一部の雑誌の歴史変遷の記述もある。
5. **Ayer directory; newspapers, magazines and trade publications.** Philadelphia, Ayer, 1970, 1654p アメリカ, カナダ, パーミューダ, パナマ, フィリッピンの新聞・雑誌・商業出版物一覧。発行地名の下に列記されている。
6. **Ulrich's international periodicals directory.** 14. ed. 1971-72. New York, Bowker, 1971, 2v. 120ヶ国, 約4万タイトルの最新の雑誌総覧。
7. **Irregular serials and annuals; an international directory.** 2. ed. New York, Bowker, 1972, 3382p. 上記6.の姉妹篇。不定期の刊行物, 各種

議事録も含む。

8. Katz, B. **Magazines for libraries**. 2. ed. New York, Bowker, 1972. 1v
9. Woodworth, D. **Guide to current British journals**. London, Library Association, 1970. 269p. 約2千タイトルの英国雑誌の解題。

2.2 所蔵目録

一つの図書館で所蔵する定期刊行物の印刷目録を所蔵目録という。

1. 国立国会図書館所蔵 和雑誌目録 国立国会図書館整理部 昭55 1940p 明治以降に出版納本された3万3千種の所蔵目録。中国語、朝鮮語雑誌も含む。
2. 国立国会図書館所蔵 欧文逐次刊行物分類目録 1974年未現在 昭50 819p
3. 国立国会図書館所蔵欧文雑誌目録 1980 昭56 1177p
4. 国立国会図書館所蔵新聞目録 昭和55年12月末日現在 昭56 248p
5. 国立国会図書館全国新聞マイクロフィルム製作・所蔵一覧 昭和50年4月現在 昭50 75p
6. 逐次刊行物所蔵目録 日本科学技術情報センター 昭54 2冊 1979年版
7. 東天紅・東京大学明治新聞雑誌文庫所蔵目録 正・続・第3編, 付相関年表 昭5-16 3冊 東京大学法学部所蔵の明治期新聞雑誌目録。創刊年表あり。
8. 東京大学新聞研究所新聞資料センター所蔵新聞目録 昭47.1.2. 31現在 昭48 27p
9. 上野文庫解題目録・新聞部門 京都大学経済学部 昭35~36 2冊 元朝日新聞社主上野精一氏旧蔵。内外の新聞・報道・マスコミ関係の一大コレクション。

2.3 総合目録

多数の図書館が参加して、各館所蔵の定期刊行物を明示した印刷目録を総合

目録という。

1. 学術雑誌総合目録

- ・人文科学和文編1973年版 (昭和42年9月現在) 昭48 1675p
 - ・人文科学欧文編1976年版 (昭和39年9月現在) 昭42 846p
 - ・自然科学和文編1968年版 (昭和41年8月現在) 昭43 1342p
 - ・自然科学欧文編1975年版 (昭和49年8月現在) 昭50 1481p
 - ・自然科学欧文編1979年版 (昭和53年4月現在) 昭54 2518p
 - ・人文社会科学欧文編1980年版 (昭和53年8月現在) 昭55 2037p
- 全国の大学、国立国会図書館、研究機関、学協会などで所蔵している学術雑誌の所在目録。誌名の変遷も詳しい。

2. 全国公共図書館逐次刊行物総合目録 国立国会図書館 昭38~42 6冊 官公報・法令類・新聞・研究報告・年鑑・統計書・名簿類・目録類を収録。

3. **Union list of serials in libraries of the United States and Canada**. 3. ed. New York, Wilson, 1965. 5v. アメリカ・カナダの956図書館所蔵の14万タイトルを収録。

4. **New serial titles. 1961-1970** Washington, Rowman and Littlefield, 1972. 5v. アメリカ・カナダの750図書館所蔵の18万タイトルを収録。

5. **New serial titles. 1971-** 年8回刊。最新の雑誌に関する情報が得られる。

6. **British union catalogue of periodicals**. v. 1-4: 17th century to 1950. Supplement: 1950-60. New Periodic titles volume: 1960-68. London, Butterworth, 1970. 6v 英国の441図書館所蔵の14万タイトルを収録。

7. **World list of scientific periodicals 1900-1960**. 4. ed. London, Butterworth, 1963. 3v. 英国および他国の主要250図書館所蔵の自然科学系雑誌5万タイトルを収録。

2.4 特殊目録

1. 小田切秀雄・福岡井吉 昭和書籍雑誌新聞発禁年表 明治文献 昭40~42 4冊 昭和19年までの、新聞・雑誌・単行書の発禁となったものの一覧。
2. 同人誌年鑑 1972- 五月書房 全国の同人誌概観・同人誌一覧。

2.5 名簿類

1. 新聞雑誌関係者略伝 宮武外骨稿・西田長寿補 日本古書通信に連載 昭42.1.1~ 明治前期のジャーナリストを中心に約2千名の略伝。新聞雑誌に関する事項に重点がある。

2.6 雑誌の略語辞書

1. 科学技術文献略語辞典 改訂増補版 ヒラカワ文献セミナー 昭38 533p 欧文科学雑誌名の略語辞書。
2. Wall, C. E. Periodical title abbreviations. Detroit, Mich., Gale, 1969. 210p.
3. CODEN for periodical titles. Philadelphia, American Society for Testing and Materials, 1970. 2v. 1st Suppl. 1972, 2nd Suppl. 1974. プログラム用の略語誌名一覧。

第3章 論文記事索引・抄録

あらゆる専門主題の分野で発表された雑誌の論文・研究成果・新聞の論説記事などを、それぞれの主題ごとに、文献を求める人のために使い易く再編成して出版したものが、索引誌・抄録誌である。

索引は著者・論題・誌名・巻号・発行年などを、多くは主題別および著者別に列挙したもので、抄録は論題の要旨をつけたものである。索引・抄録は過去に発表された特定主題の文献の適及的網羅的な調査に欠かせない二次資料である。

論文記事索引の見本

国立国会図書館雑誌記事索引 人文・社会編 25(8) 172

著者名	論題名	副論題名	雑誌名	巻数	発行年	発行月	頁	巻数 号数
阿部 允	日本改造計画の盲点—閉鎖都市構造—上—	公明	119	[72.9]	p116~126			
天野博正	人間環境としての都市—都市研究の方法論について—上—	都市問題	63	(8)	[72.8]		p59~69	
石橋 勲	アグリダス論—農工一体社会のモデル[イスラエルを例に]:	不動産研究	14	(3)	[72.7]		p143~148	
井上忠佳	Disney Worldの紹介: 新都市	26	(6)	[72.6]		p28~31		
上田 篤	生活空間のモノグラフ研究—2—街路(旭川):	スペースデザイン	95	[72.8]		p107~114		
大内秀明	「日本列島改造論」とポスト新全総—日本型国家独占資本主義と地域開発: 総評調査月報	71	[72.8]		p2~9			

READERS' GUIDE TO PERIODICAL LITERATURE

MAY 10, 1973

標目 (見出し)	CITIES and towns Monumental cities: Potosi, St Augustine, Ouro Preto, G. Mendoza; G. de Zédegui; M. Ramos. II Americas 25:51-16 Ja '73	論題名
参照 (をも見よ)	See also City and town life City traffic New cities and towns Plazas Industries City/company work together on wastewater treatment; Avon Lake, Ohio, and B. F. Goodrich chemical co. Am City 88:97 F '73	副論題名
参照 (を見よ)	Planning See City planning Asia Urbanization and Asian lifestyles. E. Ham. Bibliog J Ann Am Acad 405:104-13 Ja '73 Europe, Western Guide to 6 cities. Mademoiselle 76:160-1+ F '73	雑誌名
副標目	Israel See also New cities and towns—Israel United States Community development; radio address, March 4, 1973. R. M. Nixon. Vital Speeches 39:326-7 Ap 1 '73 Critical view of the urban crisis. E. G. Banfield. Ethnol J Ann Am Acad 405:7-14 Ja '73 Disappearing act; the urban crisis. Commonweal 93:75-8 Mr 30 '73 New directions for communities. Nixon's blueprint; State of the Union message; March 8, 1973. R. M. Nixon. II U.S. News 74:36-3+ Mr 19 '73 Notes and comment; dependency of cities. New Yorker 49:29 Mr 17 '73 Our 10 cleanest cities. P. Frishauf. II Todays Health 51:20-4+ F '73 Seven cities win certificates of merit. II Am City 88:42-3+ Ja '73	著者名
上記の主題 に関する論文	See also Urban renewal	発行年月
		巻・(号)・頁

3.1 雑誌の総目次

ふつう雑誌には巻の最終号等に年間総目次・索引がつくものが多い。また数年間の累積総目次・索引が発行されることもある。以下にあげるのは、永い期間にわたってある雑誌の目次、あるいは多数の雑誌の目次などを再編集したり案内しているものである。

1. 明治前期学術雑誌論文記事総覧 佐学社 昭46 510p
明治20年までに刊行の総合雑誌および理・工・農学系学術雑誌に掲載の論文・記事を網羅。分類順、人名索引あり。
2. 天野敬太郎 雑誌総目次索引集覧 増訂版 日本古書通信 昭44 212p
昭和41年12月現在である雑誌の総目次・索引の記載のある巻・号、単行書として出版されたものを雑誌別に分類し集めたもの。その後については新聞雑誌解題の案内として「日本古書通信」に掲載。総目次索引の案内の他に創終刊、内容分類、編者、変遷なども記す。
3. 柳生四郎・朝倉治彦 幕末明治・研究雑誌目次集覧 日本古書通信社 昭43 265p
幕末・明治の研究を目的とした雑誌14種の内容細目
4. 中央公論総目次 自創刊号(明治20年)至100号(昭和45年) 中央公論社 昭45 467p
5. 横山春一 改造目次総覧・執筆者索引 自大正8至昭和30 新約書房 昭41~47 4冊
6. 小田切進 現代日本文芸総覧一文芸芸術思想関係雑誌細目及び解題—明治文献 昭43~48 4冊 大正から昭和20年までの同人誌を含む140誌の細目解題

3.2 論文記事索引・抄録

雑誌・新聞などにどんな論文・記事が発表されているかを知るのに用いる最も重要なレファレンスツールである。特に文献を遡って調査する場合、広範囲にわたって調査する場合に有効である。

1. 雑誌記事索引 人文・社会編 科学技術編 医学・薬学編 昭29~月刊
国立国会図書館受け入れの国内の一般誌・学術誌・研究報告類約800種の論文記事索引。主題別に分類される。累積索引はなく年間の著者索引あり。

2. 雑誌記事索引 人文社会科学編累積版

10～15年単位に累積し、索引を付して使いやすくなっている。

3. 科学技術文献速報 日本科学技術情報センター 昭33～週刊・旬刊・月刊
国内外の科学技術系論文についての抄録誌。経営管理編・物理応用物理編・国内化学編 ほか計13編からなる。

4. 私立大学短期大学紀要類論文題目累積索引 1951-1981
論題を主題別に分類配列。

5. Readers' guide to periodical literature.

New York, Wilson, 1969- 月刊・季刊・年刊

著者名と主題により検索。米国の一般誌、ポピュラーな専門誌約160種を収録。

6. Internationale Bibliographischen Zeitschriftenliteratur. Osnabruck, F. Dietrich, 9(1973)- (Kombinierte Folge)

主題のアルファベット順配列による世界の学術雑誌の論文記事索引。

7. Dissertation abstracts international. Sect. A, B&C Ann Arbor, Mich., Univ. Microfilms, 1971-

アメリカ、西欧中心の学位論文の抄録誌。

8. コンピュータ重要語索引集 1970- 情報科学研究所

新聞5誌、雑誌40誌からのKWIC方式による記事索引誌。

9. 千葉県関係新聞記事索引 昭和36年- 千葉県立中央図書館 年刊
主要6誌と千葉日報を集録。昭和47年より連載記事・計報記事一覽あり。

3.3 目次速報誌

速報性ということに重点をおいたもので、代表的なものに Current contents のシリーズがある。これらはある主題に関連した領域の雑誌の目次だけを集めて発行されているものである。従ってこれらを論文記事索引・抄録と共に目的に応じて活用することが大切である。

1. Current Contents Institute for Suintific Informetion.

人文社会科学から自然科学工学分時の8シリーズ。学術雑誌の目次を収蔵。

2. 文献ジャーナル 富士短期大学出版部 昭46- 月刊

全国の大学紀要・学会誌の目次紹介。本学の研究報告類も収録される。

3. 学術文献収報 北海道教育大学附属図書館 昭49- 月刊

3.4 自館製索引類

本館で独自に作成し、閲覧に供している。所蔵資料に対する索引が主である。

1. 分出著者名索引

名著全集、文学全集などに収録されているが、著者名目録では検索できない種類をカバーする。現在、完成していないので、著者名目録とは別に配置してある。

2. 最近の図書・書誌関係文献(深井人詩編「日本古書通信」所載)

主題別の書誌・参考文献の案内を、単行書として発刊されたもの以外に、単行書・雑誌の巻末などに含まれる資料をも紹介する。人物・伝記についても同様。文献調査の際利用できる。本館ではこれをカード化し、主題別・アルファベット順に配列し 供している。

3. 雑誌の年間総目次

図書館備え付けの主な雑誌の目次を1971年より揃えてある。

4. 千葉大学研究報告・紀要類の総目次

本学各学部発行の研究報告、紀要類を展示すると共に、その目次を一覧できるようにしてある。

第4章 辞書

辞書とは、辞(コトバ)を集めて、五十音順又はアルファベット順など一定の秩序に従って配列し、語義、発音、語源、用例などを解説したものである。人名、数学、物理、化学等専門分野の辞書は、ここではとりあげない。本章では 事柄を説明した事典的な辞書を含めて各国の主要辞書について説明する。辞書を使用する際に、特に大切なことは、序文、凡例を読み、内容と約束事をよく理解しておくことである。例えば、語学辞書の凡例に理解で

きない点があるとすれば、それは文法がよくわかっていないためであることが多いから、語学の教官の指導を仰ぐべきである。

4.1 辞書の案内・歴史等に関する図書

1. 山田忠雄編 本邦辞書史論叢 三省堂 昭42 1101p
2. 川瀬一馬 古辞書の研究 講談社 昭30 957p
3. 「日本の辞書」 文学 30(2)pp113~220 昭37
内容：現代国語辞書の閉塞について(山田俊雄) 漢和辞典と中国語辞典(倉石武四郎) 日本における英語辞書(倉長真) 日葡辞書の解説と利用(森田武)
4. 辞典のはなし 角川書店 昭40 103p
5. Hulbert, J.R. 著 英米の辞書 中西秀男訳 北星堂 昭32 153p
6. 榊井迪夫「英語の辞書」(現代英語教育講座 研究社 昭42 12巻：基本図書の解説 pp163~200)
7. 福原麟太郎「辞書のはなし」(英学三講 法政大学出版局 昭42 pp1~90)
8. 小林英夫編 私の辞書 丸善 昭48 361p
9. Walford, A.J. A guide to foreign language grammars and dictionaries. 2.ed. rev. & enl. London, Library Assoc., 1967, 240p
言語別による文法書, 辞書の解題付き案内書。
10. International bibliography of dictionaries. 3. rev. ed. New York, Bowker, 1972. 511p
世界の主な辞書の書誌。

4.2 各国の主要辞書

(1) 日本語

わが国の辞書の歴史は古いが、最初の近代的辞書といわれるものに、谷川士清編 和訓栞 増補語林 名著刊行会 昭48 4冊がある。以下、明治以降出版された主なものをとりあげる。

A. 普通語辞書

a. 国語辞書

1. 落合直文 日本大辞典 言泉 芳賀矢一 改修 大倉書店 昭2~4 6冊
普通語, 古語, 専門語, 固有名詞を含む事典的辞書。
2. 大槻文彦 大言海 富山房 昭7~12 5冊
古語中心, 語源の説明に特徴がある。近世以降の引用句が豊富。縮刷版全1巻あり。
3. 上田万年・松井簡治 修訂大日本国語辞典 富山房 昭14~16 5冊
古語中心であるが, 漢語, 現代語, 外来語もおさめる。中世までの引用句が豊富, 縮刷版全1巻あり。
4. 大辞典 平凡社 昭28~29 13冊
古語中心の事典的辞書。本書は昭和9~11年発行の全26巻の縮刷版。
5. 日本国語大辞典 日本大辞典刊行会編 小学館 昭47-51 20冊
用例が豊富で, 語源説, 発音, アクセントなども注記した詳細なもの。
6. 新村出編 広辞苑 第2版 岩波 昭44 2488p
古語, 外来語, 外国語, 固有名詞も含む事典的辞書。
7. 広辞林 第5版 三省堂編修所編 三省堂 昭48 2111, 45, 38p
上記6と同様, 事典的辞書。
8. 新明解国語辞典 三省堂 昭47 1248p
同義語間の用法の弁別に意を用いたと称する。

小型辞書については、「国語の辞書をテストする」(暮しの手帖 10 pp104~114, 1971)がある。

b. 漢和辞書

古典語系統を中心とする漢字のコトバのみを標出語とする辞書を漢和辞書という。

1. 諸橋轍次 大漢和辞典 大修館 昭30~35 13冊
固有名詞も多く, 漢詩, 故事熟語の有名なものを網羅している代表的な事典的辞書。
2. 服部宇之吉・小柳司気太 修訂増補 詳解漢和大辞典 富山房

- 昭35 2180, 243p
3. 上田万年等 大字典 七訂新装版 講談社 昭38 2602.80, 110p
単字を部首分類により配列し、それに通し番号をつけ、字形、方言、訓義を解説し、更に熟字をあげる形式をとる。
 4. 長沢規矩也 新漢和中辞典 三省堂 昭42 1086, 161p
 5. 簡野道明 増補字源 角川書店 昭30 2538, 234p
 6. 塩谷温 新字鑑 改訂版 弘道館 昭24 2151, 151p
 7. 加藤常賢 漢字の起源 角川書店 昭46 995p 漢字の語源について解説
 8. 藤堂明保 漢字語源辞典 学燈社 昭42 914p 漢字の語源について解説

B. 特殊語辞書

特殊語辞書とは、一般に普通語辞書以外の辞書をいう。各種の特殊語辞書に収録されている語は、普通語辞書にも含まれていることが多いが、一冊の辞書にすべてのコトバを収録しているわけではないので、特殊なコトバであることが分っている場合は、詳細な説明がある特殊語辞書を使用する方が効果的である。

a. 古語辞書

過去において使用されていたが、現在では一般に普通語として使用されないコトバを「古語」という。古語は普通語辞書(例: 大言海 大日本国語辞典には特に詳しい)にも記載されているが、古語のみを収録している辞書を古語辞書という。

1. 松岡静雄 日本古語大辞典 語誌篇・訓詁篇 刀江書院 昭42 冊
古事記、日本書紀、万葉集、風土記などの古典から採録した語句を分析し、その訓読、語義、出典、解釈、用例を示す。新編 日本古語辞典 刀江書院 昭44 608p は、これらの中の最重要語句を厳選して、新しい見解を加えたもの。
2. 丸山林平 上代語辞典 明治書院 昭42 1161p
奈良時代の文献をすべて網羅し、固有名詞にも解釈を加えたもの。
3. 時代別国語大辞典 上代編 上代語辞典編集委員会編 三省堂 昭42 904, 190p

奈良時代の語彙、固有名詞等は原則として除き、上代語の歴史的な位置づけと、体系化を試みたもの。

b. 新語辞書

古語に対して、現代人が現在使用しているコトバを現代語という。新語辞書とは現代的な意味で使用されている語のみを選択、収録している辞書をいう。

1. 現代用語の基礎知識 自由国民社 年刊
2. 朝日現代用語事典 朝日新聞社 年刊
同社発行の 新聞語辞典 に代るものとして昭和47年から発行。

c. 外来語辞書

外来語とは、他の言語体系の中の語が借用され、自国語の中に加えられ、その語を使用することが、社会的にひろく認められるようになった語をいう。外来語辞書とは、これらの語を集めたものである。

1. 荒川忽兵衛 角川外来語辞典 第2版 角川書店 昭52 1643p
古今の文献にあらわれた外来語を収録。
2. 榎垣実編 増補外来語辞典 東京堂 昭48 557p
昭和41年から46年までの5年間の新語を増補。
3. コンサイス外来語辞典 第2版 三省堂 昭51 925p

d. 方言辞書

同一国語であっても、地域によって異なった発達をとげることがある。その結果、標準語として知られる言語と相違する言語団の語が生まれる。これらの語を方言と呼び、これを全国的に採録して作った辞書が全国方言辞書である。

1. 東条操 全国方言辞典 東京堂 昭41 881p
2. 東条操 標準語引分類方言辞典 東京堂 昭41 806p

e. 音韻辞書

1. 吉田喜四男・日木好 標準日本語発音大辞典 大雅堂 昭31

2. 日本放送協会 日本語発音アクセント辞典 昭43 1096, 136p

3. 平山輝男 全国アクセント辞典 東京堂 昭41 950p

標準的な発音のアクセントの他に、京都、鹿児島の方言のアクセント記号を加える。

f. 慣用語・諺語辞書

1. 国語慣用語辞典 東京堂 昭44 328p

2. 池田四郎次郎 故事熟語大辞典 宝文館 昭28 1756, 1204p

3. 簡野道明 故事成語大辞典 明治書院 昭42 1630, 125p

4. 鈴木棠三・広田栄太郎 故事ことわざ辞典 東京堂 昭40 983p

5. 鈴木棠三・広田栄太郎 続・故事ことわざ辞典 昭41 456p

6. 高橋源一郎 故事成語諺語辞典 明治書院 昭41 699p

g. 同(反)義語辞書

同義又は反義語を求める場合、あるいはあるコトバの意味をよりの確に捉えるために、同(反)義語辞書を使用する。また類似のコトバ(類語)から適当なコトバを求めるためにも、この種の辞書を利用する。(46頁h.参照)

1. 日本類語大辞典 志田義秀・佐伯常磨編 晴光館 明43 1777,

50p 2.と同様の編集方式。巻末に地名異名集・人名異名集あり。

2. 広田栄太郎・鈴木棠三 類語辞典 東京堂 昭42 746p

通用語を標出語とし、その下に各種のコトバから、類語・同義語を求めらる。

3. 徳川宗賢・宮島達夫 類義語辞典 東京堂 昭47 457p

4. 国立国語研究所 分類語彙表 秀英出版 昭39 362p

約3万3千語句を、約8千の同義・類語に分類配列。

5. 塩田紀和・中村一男 反対語辞典 東京堂 昭44 365p

h. 用字用語・難読語辞書

文章を書いたり、読んだりする際に、役立つように作られた辞書である。

1. 用字用語新表記辞典 第一法規 昭48 662p

2. 中山泰昌 難訓辞典 東京堂 昭41 579p

3. 荒木良造 名乗辞典 東京堂 昭42 306p

人名の難読を知るために作られたもの。

(2) 中国語

1. 龍頭音訳 康熙字典 博文館 1910 1667p

「康熙字典」は、張玉書らが勅命により、1716年に編集したもので、214部首、4万7千字の解説に及ぶ。発音、字義の解釈が詳しい。熟語は記載されていない。

2. 陸壘奎 辞源 商務印書館 1915~31 3冊

「康熙字典」の部首順による。熟語が記載されている。

3. 王雲五主編 索引本佩文韻府 台北 台湾商務印書館 1967 7冊

「佩文韻府」は清の康熙帝の勅命により、多数の学者の共同作業で作られたもので、詩や文章を作るのにどのような語を用いたらよいかを調べるもの。本書は首字による索引をつけたもの。

4. 新華(華)辞典 1971年改訂版 北京 商務印書館 昭49 616p

拼音ローマ字により親字を配列、比較的短期間に重版あるいは改訂版がでる。

5. 愛知大学中日大辞典編纂所編 中日大辞典 大安 昭43 1947p

配列は、漢語拼音字母によるローマ字アルファベット順。

6. 倉石武四郎 岩波中国語辞典 昭41 914p

上記5と同様な配列方法、ローマ字標記のあとに漢字をあてる。

7. 香取順一・太田辰夫 現代中日辞典 増訂版 光生館 昭41 924p

東洋諸語

1. 天理大学朝鮮学科研究室 現代朝鮮語辞典 養取社 昭42 854p

2. Martin, S. E. etc. A Korean-English dictionary.

New Haven, Yale Univ. Pr., 1967. 1902p

3. 金素雲 精解韓日辞典 高麗書林 昭47 1121p

4. 朴成媛 精解日韓辞典 高麗書林 昭47 904p

5. 奥野金三郎 タイ日辞典 刀江書院 昭33 858p

6. Nguyen-Dinh-Hoa, Vietnamese-English

dictionary. Tokyo, Tuttle, 1971. 568p

7. Echols, J. M. & Shadily, H. Indonesian-English

dictionary. 2. ed. Ithaca, N. Y., Cornell Univ. Pr., 1968. 431p

8. 荻原雲来 漢訳対照 梵和大辞典 第1-15冊 鈴木学術財団 昭40~49 15v

梵語とは、サンスクリット語のことで、古代インドの文章語のこと。

9. Alderson, A. D. & Fahir iz. **Concise Oxford Turkish dictionary.** Abridged ed. Oxford, Clarendon Pr., 1959. 807p

10. Aryanpur, A. **New unabridged English-Persian dictionary.** Teheran, Ami-Kabir, 1963. 6v

11. Weinreich, U. **Modern English-Yiddish, Yiddish-English dictionary.** New York, McGraw-Hill, 1968. 790p

イディッシュ語とは、「高地ドイツ語方言に Balto-Slav 系の語の混じたもので、ヘブライ文字で書く。ロシア・欧州の中部・アメリカのユダヤ移民などに用いられ、ロンドンの East End に広く行なわれている。」〔研究社英和大辞典〕より引用)

(3) 英語

英国で辞書のようなものが出初めたのは、16世紀の中頃、ラテン語、フランス語を英語で説明したのが最初であったといわれる。その後百年経って、英英辞書がでていますが、18世紀に入って大発展をとげ、19世紀になって、英米で本格的な辞書が発行されるようになった。以下主なものを取りあげる。

A. 普通語辞書

1. Johnson, Samuel. **Dictionary of the English language;** with numerous corrections, and with the addition of several thousand words, by H. J. Todd. London, Longman Hurst Press, 1918. 5v

Johnson, S. (1709~1784)は、英国の文学者。近代辞書の骨組をととのえている。

2. Murray, Sir J. A. H. and others ed. **Oxford English dictionary,** being a corrected re-issue, with an introduction, supplement and bibliography, of **A New English Dictionary on historical principles,** Oxford, Clarendon Pr., 1961. 13v Suppl. 1-, 1967-

歴史主義原理(語が実際に使われた歴史的事実を事実として記録していく法)により作られた通称 O. E. D. と云われる「新英語大辞書」。全3巻よりなる補遺が刊行中。

3. Murray, Sir J. A. H. **Shorter Oxford English dictionary on historical principles,** rev. and ed. by C. T. Onions. 3. ed. Oxford, Clarendon Pr., 1973. 2672p (in 2 vols)

前記2の O. E. D. から選択した語と、O. E. D. に記載されずにその後に見られた新資料も加えてある。

4. Wyld, H. C. **Universal dictionary of the English language.** New ed. London, Routledge, 1961. 1447p

オックスフォード系以外の辞書で、口語用法に中心をおき、現代の英語に限っているが、語源研究の面で高く評価されている。

5. Craigie, Sir W. A. & Hulbert, J. R. **Dictionary of American English on historical principles.** Chicago, Univ. of Chicago Pr., 1960. 4v O. E. D. 同様 歴史主義原理により作られた「アメリカ英語辞書」。引用作品の書誌が、2529~2552頁にある。

6. Mathews, M. M. **A Dictionary of Americanisms on historical principles.** Chicago, Univ. of Chicago Pr., 1966. 1946p

"Americanisms"とは、アメリカ独自の意義、用法を生んだ英語のこと。引用作品の書誌が、1913~1946頁にある。

他に辞書ではないが、アメリカ英語の歴史について詳しい Mencken

H. L. The American language; an inquiry into the development of English in the United States; 4. ed., enl., & rewritten. Tokyo, Senjo, 1968. 769p — Suppl. 1, 2, 1968. (Original ed: New York, Knopf, 1957) がある。

7. Webster's third new international dictionary of the English language. Springf., Mass., Merriam, 1961. 2662p

Webster, Noah (1758-1843) はアメリカ人で1828年に

An American dictionary of the English language. を出版している。第3版である本書は、今日使用されている語義・語法を多く取り入れ、同時に地名、人名、小説の登場人物、外来語、科学技術用語も多く収録している。第2版は、Webster's new international dictionary of the English language. 2. ed. Springf., Merriam, 1952. 3214p

で、名句の引用、特殊語法が詳しい。第3版の方が収録語数が少ないのは、第2版に比べ、コトバの辞書に徹底したことを示しているので、第2版と併用するとよい。

8. Websters new twentieth century dictionary of the English language; unabridged. 2. ed. Cleveland, World Pub., 1960. 2179p

現代語を多く収録した事典的辞書。

9. Funk & Wagnalls new standard dictionary of the English language. New York, Funk & Wagnall, 1959. 2815p.

現代の意味、綴り、発音に重点を置いた事典的辞書。

10. Random House dictionary of the English language. Chief editor: Jess Stein. New York, Random House, 1967. 2059p

使用頻度順配列による事典的辞書。日本語訳に編集したランダムハウス英和辞典 小学館 昭48~49 4v あり。

以上に説明した大辞書に対し、手頃で日常使い易いように作られている辞

書を簡約辞書(Abridged dictionary)という。

<英国>

1. Fowler, H. W. & Fowler, F. G. ed. Concise Oxford dictionary of current English. 6. ed. Oxford, Clarendon Pr., 1976. 1368p

O. E. D. を基に現代英語、成句を豊富にとり入れたコトバの辞書。通称 C. O. D. と呼ぶ。これをさらに簡略にしたものが Pocket Oxford dictionary of current English. 5. ed. 1969. 1048p で通称 P. O. D. という。

2. Coulson, J. and others. Oxford illustrated dictionary. Oxford, Clarendon Pr., 1962. 974p 上記の C. O. D. を基に事典的性格をとり入れた図入り辞書。

3. Chambers twentieth century dictionary of the English language. New ed. London, Chambers, 1972. 1649p

文学作品の語、日常語などをひろく収録。

4. The Penguin English dictionary. Comp. by G. N. Garmonsway with J. Simpson. Harmondsworth, Middlesex, Penguin Books, 1969. 818p

現代語の解釈に特徴がある。

5. Encyclopedic world dictionary. London, Hamlyn, 1971. 1856p

現在最も広く使われている意味を重視した事典的辞書。

6. Oxford advanced learners dictionary of current English. 3. ed. Tokyo, Kaitakusha, 1974. 1055p

前記 1. C. O. D. を意識して書かれた「教育的言語学的辞書」と云われるものの最新版。

7. Longmans English Larousse. London, 1968. 1343p

Petit Larousse の英語版、事典的辞書。

<米 国>

1. **Webster's new collegiate dictionary.** Springfield, Mass., Merriam 1973. 1536p

旧版(第7版)に新語を豊富にとり入れた事典的辞書。前記Webster's third...を補うもの。

2. **Webster's new world dictionary of the American language.** 2. college ed. New York, World Pub., 1970. 1692p

米語中心で、収録語数大。ウェブスターと称するが、前記1.のノア・ウェブスター系の辞書とは異なる。

3. **American college dictionary.** Chief editor: C. L. Barnhart. Tokyo, Kinokuniya, 1967. 1444p Original ed.: New York, Random House, 1962.

科学技術用語の収録数多く、説明が正確なのが特徴。

4. **Funk & Wagnalls standard college dictionary.** New York, Funk & Wagnalls, 1973. 1606p

5. **The American Heritage dictionary of the English language.** Ed. by William Morris. New York, American Heritage, 1969. 1550p

6. **Thorndike-Barnhart comprehensive desk dictionary,** ed. by C. L. Barnhart. Garden City, N. Y., Doubleday, 1962. 896p

B. 特殊語辞書

a. 古語辞書

英語が文献に現われ初めたのは、紀元700年頃からで、古英語(Old English)700~1100年、中英語(Middle English)1100~1500年、近代英語(Modern English)1500年以降と大きく三区別されている。

1. **Bosworth, J. Anglo-Saxon dictionary;** based on the manuscript collections, ed. & enl. by

T. N. Toller. London, Oxford Univ. Pr., 1972. 1302p

アングロサクソン語とは、今日いう古英語のことである。

2. **Kurath, H. Middle English dictionary.** Fasc. 1- Ann Arbor, Mich., Univ. of Michigan Pr., 1952-

O. E. D. のために集められた中英語の資料を基礎にして編さんされたもの。

3. **Stratmann, F. H. A. Middle-English dictionary.** London, Oxford Univ. Pr., 1891. 708p

O. E. D. とは全く別の中英語辞書。

b. 新語辞書

普通語辞書、特に便々改訂される簡略辞書に新語がとり入れられるので、最新版のものも利用すること。

1. **Barnhart, C. L. and others. Dictionary of New English 1963-1972.** London, Longman, 1973. 512p

最近10年間の新聞・雑誌・小説などから新語を収録。

2. **高橋義信 新語情報 増訂新版** 研究社 昭47 461p

英米の新聞・雑誌から新語を収録。

c. 語源辞書

普通語辞書、特に O. E. D. などは語源についても権威あるものであるが、一般人が話しているコトバの語源を知るには、専門の辞書を使用するとよい。

1. **Klein, E. A. Comprehensive etymological dictionary of the English language;** dealing with the origin of words and their sense development, thus illustrating the history of civilization and culture. Amsterdam, Elsevier, 1966. 2v.

著者の意図は "To know the origin of words to

know the cultural history of mankind.”といわれる。

2. **Oxford dictionary of English etymology**, ed. by C. T. Onions. Oxford, Clarendon Pr., 1966. 1025p

時代による用法、語義の変化を示す、Skeat, W. W. **An etymological dictionary of the English language**. を改訂増補したもの。

3. Partridge, E. **Origins; a short etymological dictionary of modern English**. 4. ed. London, Routledge, 1966. 972p

文明に関係した語に重点をおく。附録に接頭語、接尾語、学術用の複合語一覧あり。

d. 方言辞書

1. Wright, J. **English dialect dictionary**. Oxford, Frode, 1898-1905. 6v

英国で18世紀から19世紀までに使用された方言を収録。第6巻は補遺と引用文献の書誌、英語方言の文法。

2. Thornton, R. H. **American glossary**. New York, Ungar, 1962. 3v

米国で生き残っている英国地方の方言、および米国起源の方言を収録。

e. 俗語・隠語辞書

1. Farmer, J. S. & Henley, W. E. **Slang and its analogues; past and present**. Tokyo, Senjo, 1961. 7v Original ed.: London, Routledge, 1890-1904.

英・独・仏・伊語の同義が付記してある記念碑的辞書。

2. Partridge, E. **Dictionary of slang and unconventional English**. 5. ed. London, Routledge,

1967-70. 2v

第2巻が最新の語を収録、語義・語源・年月・出典を示す。記載した資料は、O. E. D. と上記1.の辞書からのものによる。

3. Wentworth, H. & Flexner, S. B. ed. **Dictionary of American slang**. Tokyo, Maruzen, 1967. 718p Original ed.: New York, Crowell.
4. Berry, L. V. & Van Den Bark, M. **The American thesaurus of slang**. 2. ed. New York, Crowell, 1966. 1272p

主題別ソソーラス形式により語を分類。

f. 慣用句・用法辞書

すぐれた辞書には、用法も多いが、一般的には少なく、固定的なものが多いので、専門の辞書も使用すること。

1. Whitford, H. C. & Dixon, R. J. **Handbook of American idioms and idiomatic usage**. New York, Simon and Schuster, 1953. 155p

アメリカ語の慣用句およびその文例をあげた便覧。

2. Partridge, E. **A Dictionary of clichés**. 4. ed. London, Routledge & Kegan Paul, 1950. 259p "Clichés"とは「きまり文句」の意。

3. Fowler, H. W. **Dictionary of modern English usage**. 2. ed. London, Oxford Pr., 1965. 725p 時代と共に変わった用法上の変化をとり入れて現代化をはかった用法辞書。

4. Nicholson, M. **A Dictionary of American-English usage; based on Fowler's modern English usage**. New York, Oxford Univ. Pr., 1958. 671p 上記3.のものを基にしてアメリカ英語に適用したもの。

5. Evans, B. & Evans, C. **A Dictionary of contemporary American usage**. New York, Random House, 1957. 567p

6. Bryant, M. M. ed. **Current American usage.** New York, Funk & Wagnalls, 1962. 290p
7. Ichikawa, S. and others. **Kenkyusha dictionary of current English idioms.** Tokyo, 1964. 849p
8. 勝俣銓吉郎編 **新英和活用大辞典** 研究社 昭43 1525p
文例が豊富で英文を書くために有益。
9. 大塚高信 **英語慣用法辞典** 三省堂 昭42 1345p

g. 発音辞書

1. Jones, D. **Everyman's English pronouncing dictionary.** 13. ed. London, Dent, 1967. 554p
表記法は、International Phonetic Alphabet(国際音声学協会)の簡略表音法にもとづく。緒言に次のように記されている。
Aims "to record, with as much accuracy as is necessary for practical linguistic purposes, the pronunciation used by a considerable number of typical Southern English people ... in ordinary conversation"
2. Kenyon, J. S. & Knott, T. A. **Pronouncing dictionary of American English.** Springf., Mass., Merriam 1953. 484p
上記1.同様簡略表音法にもとづいて、一般アメリカ人が、日常話すコトバの発音を示す。
3. Greet, W. C. **World words.** 2. ed. New York, Columbia Univ. Pr., 1948. 608p
4. 大塚高信等 **固有名詞英語発音辞典** 三省堂 昭45 954p

h. 同(反)義語辞書

同(反)義語は、一般の辞書には記入されていないものが多い。この種の辞書には、シソーラス(知識の宝庫)といわれるものがあり、文章を書いて同じことを二度使わないで語彙の豊富な文章を書いたり、うまいコトバを見

つけ出すために作られたものがある。最近では情報検索用の索引語として脚光をあびているものである。

この辞書の形態には二つある。一つは、一般の辞書と同様にアルファベット順に配列したもの、他の一つは、分類方式に従って配列したものである。後者の形式をとるものには、索引があるのが普通である。

1. **Webster's new dictionary of synonyms.**

Springf., Mass., Merriam 1968. 909p

アルファベット順配列により、同義語・反義語・類義語を収録。

2. **New Roget's thesaurus of the English language in dictionary form.** New York, Putnam, 1964. 552p

Roget, P. M. (1779~1869)は英国の語学者。アルファベット順配列による。

3. **The Original Roget's thesaurus of English words and phrases.** New ed. Completely rev. and modernized by R. A. Dutch. New York, St. Martin Pr., 1965. 1405p

語を6の範ちゅうに分類し、語義を解説。

4. **Roget's international thesaurus.** 4. ed. New York, Crowell, 1977. 1317p

上記3.と同様の方法で、アメリカ語について解説。

5. Allen, D. S. **Allen's synonyms and antonyms,** rev. ed. by T. H. V. Motter. New York, Harper, 1949. 427p

口語・卑語・科学技術用語等の同・反義語を多数収録。

6. **Webster's new world thesaurus.** Prep. by C. Laird. New York, World Pub., 1971. 679p

アルファベット順配列により、同・反義語を使用頻度順に収録。

7. 井上義昌 **英語類語辞典** 増訂新版 開拓社 昭42 1075p

8. 中村一男編 **英語反対語辞典** 東京堂 昭40 134p

1. 略語辞書

ここでは、一般に使用されている略語辞書に限る。(雑誌名等のものについては、「定期刊行物」の項を参照)

1. 英文科学技術略語大辞典 オーヴィス編 オーム社 昭48 962p
科学技術の用語・研究機関の名称等略語から正式名称をひくための辞書。
2. **Acronyms and initialisms dictionary.** 3. ed.
Detroit, Gale, 1972. 484p
逐次、改訂あるいは補遺を発行して、新語をとり入れている。
3. Rogers, C. C. **Dictionary of abbreviations.**
Detroit, Gale, 1969. 205p
4. **Cassell's dictionary of abbreviations.**
London, Cassell, 1966. 220p
5. Mathews, C. C. **Dictionary of abbreviations.**
London, Routledge, 1947. 232p
6. Schwartz, R. J. **The complete dictionary of abbreviations.** New York, Crowell, 1959. 211p

おういん J. 押韻辞書

英詩を作る際に同韻語を探すために使用する特殊な辞書である。

1. Johnson, B. **New rhyming dictionary and poet's handbook.** New York, Harper, 1957. 464p
2. Walker, J. **The rhyming dictionary of the English language.** Rev. and enl. by L. H. Dawson.
New York, Dutton, 1936. 549p

げんご k. 諺語辞書

1. **Oxford dictionary of English proverbs.** 3. ed.
Rev. by F. P. Wilson, Oxford, Clarendon Pr.,
1970. 930p

重要な諺語のアルファベット順配列で、出典・使用された年が記入されている。

2. Evans, I. H. **Brewer's dictionary of phrase**

and fable. Century ed. London, Cassell, 1970.
1168p

成句・諺・神話・伝説・物語の登場人物名・著名な本の解説なども収録。

対訳(双解)辞書

対訳辞書とは、標出語について、それと異なる他の一カ国語により解説を与えたり、相当語が選ばれたりしている辞書である。英語では、“Bilingual dictionary”という。

1) 英和

1. **Kenkyusha's new English-Japanese dictionary on bilingual principles.** New ed., rev. & enl. 岩崎民平・河村重治郎編 昭35 2204p

昭和2年の初版以来たびたび改訂され現在に至っている。語彙が豊富な事典的辞書。

2. 岩波英和大辞典 中島文雄編 昭45 2124p

前記1.に対してコトバの辞書としての性格を強調したもの。附録に略・記号・人名・地名をまとめる。

3. **Sanseido's college crown English-Japanese dictionary.** Second edition 1977. 2301p

現代英語を主体とした中型辞書。

4. 講談社ニューワールド英和辞典 昭44 1557p

アメリカ英語を第一義とした中型辞書。

5. 斎藤秀三郎 熟語本位英和中辞典 増補新版 岩波 昭46 1786p

見出しの単語を中心とする熟語・成句・慣用的な表現法等の例文を多くあげたユニークなもの。

2) 和英

1. **Kenkyusha's new Japanese-English dictionary.** 4. ed. 昭49 2110p

語彙・例文が豊富。附録に通信・書式・広告・掲示文例・日本官公庁・官職名一覧等がある。

2. 朱牟田夏雄等 新スタンダード和英辞典 大修館 昭44 1305p
ひらがなからひける小型辞書。

3. Daniels, F. J. 英文を書くための辞書 北星堂 昭44 699p
日本語による五十音順見出しの特殊な辞書、附録に手紙の見本がある。

(4) ドイツ語

1. Grimm, J. & Grimm, W. Deutsches Wörterbuch.
Leipzig, Hirszell, 1854-1960. 16v
グリム兄弟以来、百数十年かかって完成した大辞書。15世紀末頃からの語彙をすべて収録しているが、発音と廃語は省略。1965年から新刊版が翻刻されている。(新版は、教養-独語で所蔵)

2. Der Sprach-Brockhaus. 8. Aufl. Wiesbaden
Brockhaus, 1972. 835p
科学技術用語、略語等を含む事典的辞書。常に改版されて新語を収録。

3. Wahrig, G. Deutsches Wörterbuch. Gütersloh
Bertersmann, 1968. 4185p
新語、外来語、固有名詞等を含む事典的辞書で、50頁に及ぶ文法の説明がある。

4. Der Grosse Duden: Mannheim Bibliographisches
Institut, 1962-72. 10v
第1巻: 正書法, 第2巻: 用語法, 第3巻: 図解, 第4巻: 文法, 第5巻: 外来語, 第6巻: 発音, 第7巻: 語源, 第8巻: 同義語, 第9巻: 難解語法, 第10巻: 語の使用法・文例に分れている。

5. Paul, H. Deutsches Wörterbuch: 6. Aufl.
Tübingen, Max Niemeyer, 1966. 841p
Paul, H. (1886-1921) の死後、多数の学者の手により増訂された純粋のドイツ語だけの辞書。

6. Wörterbuch der deutschen Gegenwartssprache.
Bd. 1~ Hrsg. von R. K. Klappenbach u. w. Steintz
Berlin, Akademie, 1968-
現代の作家の文例をとり入れ、現在使用されているドイツ語を収録。

7. Sanders, D. Handwörterbuch der Deutschen

Sprache. 8. Aufl. Leipzig, Bibliographisches
Inst., 1912. 887p
純粋のドイツ語および完全にドイツ語化した外来語に限り収録。

8. Kluge, F. Etymologisches Wörterbuch der
Deutschen Sprache. 18. Aufl. Berlin Gruyter,
1960. 917p
語源辞書。

9. Küpper, H. Wörterbuch der deutschen Um-
gangssprache. 3. neu-bearb. u. erw. Aufl.
Hamburg, Claassen, 1963-67. 5v
俗語辞書。(人文-独文で所蔵)

対訳辞書

1. 相良守峯 Grosses Deutsch-Japanisches Wörter-
buch. 博文社 昭33 1801p
語彙、用例ともに豊富な大辞書、木村・相良独和辞典 新訂はこの辞書の簡略版。

2. 現代独和辞典 ロベルト シンチンゲル等編 三修社 昭49 1327p
(机上版)

3. 佐藤通次 独和言林 白水社 昭46 1564p
戦前に発行され戦後改訂された中型辞書。

4. 木村謹治 和独大辞典 博友社 昭27 2633p
語句、例文は豊富であるが、和文の所は旧漢字・歴史的かなづかいである。

5. 郁文堂和独辞典 昭41 604p
ひらがなからひく中型辞書。

6. Harrap's standard German and English dict-
ionary. 1~. By T. Jones. London, Harrap, 1967-
現在 pt. 1: 独英のA~Rのみ刊行。

7. New Cassell's German-English, English-Ger-
man dictionary, ed. by H. T. Betteridge. New
York, Funk & Wagnalls, 1971. 646, 632p

8. Muret-Sanders Langenscheidts Enzyklopädisches Wörterbuch, 2. Aufl., von O. Springer. Tl. 1: English-Deutsch. Tl. 2: Deutsch-English A-Ko Berlin, Langenscheidts, 1969-74, 3v

9. Wildhagen, K. & Heraucourt, W. English-German, German-English dictionary. Wiesbaden, Brandsteffer, 1972, 2v

科学技術用語を多く収録しているのが特徴。

10. Brockhaus-Bildwörterbuch. Deutsch-English, 4. Aufl. Wiesbaden, Brockhaus, 1969, 766p

(5) フランス語

1. Littré, E. Dictionnaire de la langue Française. Édition intégrale. Paris, Pauvert, 1956-58, 7v

O. E. D. 同様歴史主義原理により編集されているがそれ程組織的でなく完成されたものでない。9世紀から17世紀にわたる語につき用例が多い。

2. Robert, P. Dictionnaire alphabétique et analogique de la Langue Française. Paris, Le Robert, 1969-70, 7v

歴史主義原理により編集, フランスの作家の引用例が多い。簡略版(全1巻)あり。

3. Tresor de la Langue Française: dictionnaire de la langue du 19 et du 20 siècle... 1- Paris, Editions du Centre National de la Recherche Scientifique, 1971-

語彙の収集は, 19~20世紀の文献による。フランス言語活動と文法研究の成果の集大成。

4. Godefroy, F. Dictionnaire de l'ancienne langue Française... Paris, Bouillon, 1891-1902, 10v

17世紀以後のフランス語を収録した古語辞書。

5. Duden Français; dictionnaire en images, 2. ed. Mannheim, Bibliographisches Inst., 1962, 672p

辞書ではない絵入単語集。

対訳辞書

1. マルタン仏和大辞典 E. Raquet 編 白水社 昭41 1465p
語彙, 用例が多く, 和文はローマ字書き, 漢字が注記してある。語句の対訳が主。

2. 模範仏和大辞典 改版復興版 柳川勝二等編 白水社 昭27 2176p

3. 鈴木信太郎等編 スタンダード仏和辞典 大修館 昭32 1587, 31p

特殊な古語, 専門語はなるべく除き, 新語や新しい語義を多く収録。

4. 井上源次郎等編 新仏和中辞典 白水社 昭46 1277p

前記2.の辞書を補なうべく, 新語や新しい語義を収録。

5. マルタン和仏大辞典 白水社 昭45 974p

フランス語を母国語とする人のために編さん。

6. 鈴木信太郎 スタンダード和仏辞典 大修館 昭45 1391p
附録に「手紙の書き方」「商業文」「動詞の活用」などあり。

7. 三木治等編 新和仏中辞典 白水社 昭43 997p

附録に「履歴書例」「手紙文例」などあり。

8. Harrap's standard French and English dictionary, by J. E. Mansion, London, Harrap, 1958-60, 2v

改訂新版(1972年)は(教養)にある。

9. Cassell's new French-English English-French dictionary, by D. Girard, London, Cassell, 1971, 762, 655p

10. Harrap's French-English dictionary of slang and colloquialisms, ed. by J. Marks, London,

Harrap, 1970. 225p

(6) オランダ・北欧語

1. **Cassell's English-Dutch, Dutch-English dictionary**, by P. V. Weley. London, 1956. 1376p
2. **An Icelandic-English dictionary**. 2. ed. Oxford, Clarendon Pr., 1969. 833p
3. Magnussen, J. & Vinterberg, H. **Danish-English dictionary**. 5. ed. London, Allen, 1956. 407p
4. Alanne, V. S. **Finish-English general dictionary**. Porvoo, Werner Söderström Osakeyhtiön, 1968. 1111p

(7) スペイン・ポルトガル語

1. **Vox; diccionario general ilustrado de la lengua española**. 2. ed. Barcelona, Bibliograf, 1970. 1813p
2. 高橋正武 **西和辞典** 白水社 昭39 982p
メキシコ、中南米で使用されている語も多数収録。
3. 田井佳太郎編 **和西大辞典** 大学書林 昭49 1471p
4. **Cassell's Spanish-English, English-Spanish dictionary**, ed. by E. A. Peers and others. 2. ed. London, Cassell, 1963. 1477p
5. **Duden español; diccionario por la imagen**. 2. ed. Mannheim, Bibliographisches Inst., 1963. 672p
辞書ではない絵入単語集。
6. 大武和三郎 **葡和新辞典** 大武信一(発行)昭44 1126p
戦前出版の複製版。
7. 野田良治 **日葡辞書** 有斐閣 昭38-41 2v
8. Taylor, J. L. **Portuguese-English dictionary**.

Rev. ed. Stanford, Calif., Stanford Univ. Pr., 1970. 655p

ブラジルおよびポルトガルで使用の語を収録。

9. Houaiss, A. & Avery, C. B. **New Appleton dictionary of the English and Portuguese languages**. New York, Appleton, 1967. 668p
ブラジルで使用されているポルトガル語に重点がある。
10. **New Michaelis; illustrated dictionary**. Vol. 2: Portuguese-English. Wiesbaden, Brockhaus, 1961. 1320p

(8) イタリア語

1. Battaglia, S. **Grande dizionario della lingua Italiana**. 1- Torino, UTET, 1961-
O. E. D. と同様に編さんされた大辞書。
2. 野上素一 **新伊和辞典** 白水社 昭39 888p
3. **Cambridge Italian dictionary**. Vol. 1: Italian-English. Cambridge, Univ. Pr., 1962. 897p
4. **Cassell's Italian-English, English-Italian dictionary**, by P. Rebora. London, Cassell, 1962. 1096p
5. Lysle & Gualtieri. **Nuovo dizionario moderno delle lingue Italiana e Inglese**. Rev. ed. Vol. 1: Inglese-Italiano. Torino, Casanova, 1951. 2069p
6. **Duden Italiano; dizionario figurato**. 2. ed. Mannheim, Bibliographische Inst., 1964. 1v.
辞書ではなく絵入単語集。

(9) ロシア語

1. **Akademiia nauk SSSR, Institut russkogo iazyka. Slovar' sovremennogo russkogo lit-**

eraternogo iazyka. Moskva, 1950-65. 17v

外来語を含む19世紀から20世紀にかけてのあらゆる分野の語を収録。

2. Dal', V. I. *Tolkovyĭ slovar' zhivogo velikorusskogo iazyka*. 2. izd. ナウカ 昭42 4v
Dal', V. I. (1801~72) の死後改定され版を重ねてきた。本書は、1955年モスクワ発行の複製版。ロシア文化の百科事典といわれる。
3. Ushakov, D. N. *Tolkovyĭ slovar' russkogo iazyka*. Moskva, Gosud. Izd-vo Inostrannykh i Natsional'nykh Slovaroi, 1935-40. 4v
上記2を基にして作られたもので、年代的には古いが、発音、語義、用法などが明解。
4. 八杉貞利 岩波ロシア語辞典 増訂版 昭45 1599p
戦前から三度改定された。収録語数多く、説明・用例も詳細。
5. ザルービン・ロジェーツキン編 露日辞典 世界文庫 昭48 818p
1964年ソビエトでロシア人のために作られたもの。訳語は適確。
6. Smirnitkii, A. I. *Russian English dictionary*. New rev. ed. New York, Dutton, 1973. 766p
7. Wheeler, M. *The Oxford Russian-English dictionary*. Oxford, Clarendon Pr., 1972. 918p
8. *Dictionary of spoken Russian, Russian-English, English-Russian; a phrase and sentence*. New York, Dover, 1958. 573p
アメリカの実用性が特徴。附録に「祭日」「ロシア料理」「軍隊の階級」等の一覧あり。
9. ウヴェロフ等 和露大辞典 モスクワソビエトエンサイクロペディア 出版 昭45 2冊
10. Müller, V. K. *English Russian dictionary*. 14. ed. New York, Dutton, 1973. 876p

(10) ギリシャ・ラテン語

1. Liddell, H. G. & Scott, R. *Greek-English Lexicon*. New ed. rev. Oxford, Clarendon Pr.,

1966. 2011p 600年頃までの語を限定して収録。1968年に補遺が出版されている。

2. Woodhouse, S. C. *English-Greek dictionary*. London, Routledge, 1964.
1910年発行の複製版。語の説明に使われている略語“P”は“before a word signifying prose authority” “V”は“indicating verse authority”を意味している。附録に「固有名詞一覧」あり。
3. 岩隈直 新約ギリシヤ語辞典 山本書店 昭46 562p
新約聖書ギリシヤ語の辞書。
4. 田中秀英・落合太郎 ギリシヤ・ラテン引用語辞典 増補版 岩波 昭29 1v
ギリシヤ・ラテンの古典からの引用語辞書。
5. *Oxford Latin dictionary*. Fasc. 1-4—Oxford, Clarendon Pr., 1968—
ラテン語の紀元から2世紀末までの古語を収録。
6. *Cassell's new Latin-English, English-Latin dictionary*, by D. P. Simpson. London, Cassell, 1968. 883p

変化又は転義した意味に使用されている語には、“Transt.”が示されている。

(11) 多国語辞書

三カ国語以上の各相当語をとり上げ、辞書の形に編さんしたもので、辞書というより各国語彙表というものが多国語辞書である。

1. *日本語中心六カ国語辞典* 日英独仏露中国語 改訂増補 原書房 昭47 713p 付録に各国語文法、単位表、等あり。
2. *Duden pictorial encyclopedia in five languages; English, French, German, Italian, Spanish*. 2. enl. ed. New York, Frederick Ungar, 1958. 2v 5カ国語対照の絵入辞書。巻末に5カ国語別索引あり。

第5章 百科事典

百科事典は、ギリシャのアリストテレス(BC384~322)・ローマのブリニウス(AD23~79)の時代から出版されているもので、重要なレファレンスブックの一つである。辞書がコトバについて説明したのに対して、百科事典は、事柄について説明した点に特徴がある。百科事典には、一般のものと、専門のものがあるが、ここでは一般の百科事典をとりあげる。専門分野のことを調べる際にも、一般の百科事典を参考にするよりよい。以下、百科事典の歴史、内容、利用法、各国の百科事典について説明する。

5.1 百科事典の歴史等に関する図書

1. 百科事典の歴史 平凡社 昭39 75p
2. 杉村武 近代日本出版事業史 出版ニュース社 昭42 408p
3. 福謙達夫 明治初期百科全書の研究 風間書房 昭43 573p
著者は故人で元文理学部教授。他に「文部省百科全書」記述考-明治初期の百科事典に関する基礎資料-(千葉大学 文化科学紀要8 pp1-50 昭41)がある。
4. 桑原武夫編 フランス百科全書の研究 岩波 昭40 302p
5. 渡辺一夫 「フランスの百科事典について」(渡辺一夫著作集 筑摩書房 昭46 8巻 pp68~99)
6. 弥吉光長 百科事典の整理学 竹内書店 昭47 269p
7. 梅棹忠夫・加藤秀俊・小松左京 百科事典操縦法 平凡社 昭48 159p

5.2 百科事典の内容

(1) 構成

1. 大項目主義

大きな見出しで長文をのせる。1頁以上が一応の基準となる。ブリタニカがその代表。

2. 小項目主義

項目を数多くおせ、相互参照を数多くとり入れる。従って総索引がないのが普通である。ブロックハウスがその代表。

3. 中項目主義

両者を折衷したもので、大項目と小項目との中間が一応の基準となる。

アメリカナと日本の百科事典がその代表。

(2) 見出語

1. 一般の百科事典は、五十音順かアルファベット順配列が多い。
2. 学習用百科事典は、体系別に配列したものが一般の百科事典に比べると多い。

5.3 百科事典の効果的な利用法

1. 百科事典は、手がかりを知るものであり、項目の後に参考文献を紹介してあるものもある。従って、それらも読むように心がけることが大切である。
2. 大・中項目のものでは、総索引が別巻になっているものが多く、特に大項目主義をとるものについては、まず総索引をひいて本文をたぐっていくことが大切である。
3. その国のことは、その国の百科事典による方がよい。
4. 最新の情報を知るために、補遺・年鑑のあるものは、これを利用することである。

5.4 各国の百科事典

(1) 日本

1. 世界大百科事典 改訂新版 平凡社 昭47 33冊

文字通り世界の大本事典である。戦後発行されてから二度改訂された。昭和48年から「百科年鑑」が刊行開始。

2. 大日本百科事典ジャポニカ 小学館 昭42~47 23冊

原色図版を豊富に使い、主要な項目に参考文献・関係機関・関連施設などを注記し、更に調べる手がかりを与えているのが特徴。「時事百科」が年鑑。

3. グランド現代百科事典 学研 昭45~49 20冊

国語項目・一般用語なども数多く収録。

4. ブリタニカ国際大百科事典 ティービーエスブリタニカ 昭47-50

大項目編全20巻、小項目編全6巻、他に総索引、参考文献各一巻からなる。内容は、ブリタニカ原典の翻訳に新たな書きおろし項目を加えたもの。

5. 玉川百科大辞典 誠文堂新光社 昭34~38 31冊
人文・社会・理科編各10巻よりなる。各巻について、主題毎にまとめ、体系的に記述する方式をとる。第31巻は全巻の総索引。理科篇のみが昭45~46年に改訂。
6. 万有百科大事典 小学館 昭47-
分野別百科で、各分野の中では五十音順配列。参考文献の紹介あり。
7. 寺島良安編 和漢三才図会 東京美術 昭43 2冊
江戸時代の図入百科事典。本書は複製版。

《類書》

多くの書物から記事を書き抜いて分類編集して検索の労を省くようにしたものを一般に類書と云う。明治以後のもので代表的なものをあげる。

1. 神宮司庁編 古事類苑 吉川弘文館 昭42~46 51冊
文化・社会全般にわたる約2万の事項を、天部・歳時部・地部・神祇部などの30部に分け、それぞれ日本史に関する史料を編年順に掲げ、そこから原文を抄出する形式をとる。本書は複製版。
2. 物集高見編 広文庫 広文庫刊行会 大5 20冊
同編者の群書索引に収録した和漢書、仏書など1万冊以上の中から5万項目を抜き出し、その項目に関して説明を与えうる資料を選んであげ、五十音順に配列したもの。

《事物起源》

1. 石井研堂 明治事物起源 増補改訂 昭44 1496p(明治文化全集別巻) 明治になって新しく始まった我が国の百般の事物の沿革・由来を解説したもの。
2. 日置昌一 話の大事典 万里閣 昭25~26 4冊
日本の飲食・風俗・芸能などの起源を解説したもの。
3. 事物起源辞典 衣食住編 朝倉治彦等編 東京堂 昭48 430p
衣食住に関連ある諸事物の起源発生について文献・遺物の典拠により説明したもの。

(2) 英・米

1. *The new encyclopaedia Britannica*. Chicago, Encyclopaedia Britannica Inc., 1974, 30v
18世紀中頃に発行されて以来、13版まで英国で出版された。この中で、特に学術的に高く評価されているのは、第9版(欠巻あり)と第一次世界大戦後に完成した第11版であるといわれている。1926年にアメリカに著作権が移り、1929年に発行された第14版の改訂で本書は第15版にあたる。大項目編19巻と小項目編10巻、分野別手引1巻からなる。Britannica book of the yearがある。
2. *Encyclopedia Americana*. New York, Americana Corp., 1976 30v
"ブロックハウス"に範をとり出版されたのが今世紀初めである。以後は再発行の毎に記事が改訂されてページ数が増えていく方式をとっている。Americana annualがある。
3. *Chambers's encyclopaedia*. Rev. ed. London, International Learning Systems Corp., 1969, 15v
19世紀中頃に出版された英国の代表的な百科事典で、大項目の下に小項目を配している。
4. *Collier's encyclopedia*. New York, Collier's Encyclopedia, 1955-56, 20v
戦後に刊行された一般向きの百科事典、本書は初版にあたる。Collier's yearbookがある。
5. *Everyman's encyclopaedia*, 5. ed. London, Dent, 1967, 12v
小項目主義の小型百科。
6. *The Columbia encyclopedia*, 3. ed. New York, Columbia Univ. Pr., 1963, 2388p
徹底した小項目主義の小型百科。
7. *I see all; world first picture encyclopaedia...* London, Educational Books, 1961, 5v
絵入百科事典。

8. Kane, J. N. **Famous first facts**, 3. ed. New York, Wilson, 1964. 1165p
米国の事物起源事典。

以上の他に学習用・家庭用百科事典といわれるものがある。

1. **Compton's pictured encyclopedia and fact-index**, Chicago, Compton, 1948. 15v
児童用百科の代表的なもの。
2. **The World book encyclopedia**, Chicago, Field Enterprises Educational Corp., 1963. 20v
3. **The New book of knowledge; the children's encyclopedia**, New York, Grolier, 1967. 20v
生徒の学習課程を考へて分類主義を採用。
4. **Encyclopedia international**, New York, Grolier, 1967. 20v
ハイスクールの学生用百科。Enciclopedia yearbookがある。
5. **American educator encyclopedia**, Lake Bluff, Ill., United Educators, 1963. 14v
6. **Modern reference encyclopedia**, New York, Grolier, 1969. 20v
7. **American peoples encyclopedia**, Chicago, Spencer, 1961. 20v
8. **Oxford junior encyclopaedia**, London, Oxford Univ. Pr., 1960-65. 15v
9. **Richard topical encyclopedia**, New York, Richards, 1957. 15v

(3) ドイツ

1. **Brockhaus Enzyklopädie; in zwanzig Bänden**, 17. völliig. neubearb. Aufl. der Grossen Brockhaus, Wiesbaden, Brockhaus, 1966-74. 20v

徹底した小項目主義で、相互参照豊富。最新の参考文献が記載されている。

2. **Meyers enzyklopädisches Lexikon**, 9. Aufl. Bd. 1-7- Mannheim VEB Bibliographisches Inst., 1971-
前記1同様の小項目主義。戦前の第8版の後をうけて、西独から発行。
3. **Meyers neues Lexikon**, Bd. 1-8- Leipzig, VEB Bibliographisches Inst., 1971-
戦後、社会主義ドイツ創立後に出版された新第8版の改訂版。東独および社会主義世界についての知識・情報に特徴がある。
4. **Der Grosse Herder**, 5. Aufl. Freiburg, Herder, 1952-58. 10v
カトリック的立場から書かれた小項目主義百科。
5. **Das Grosse Duden-Lexikon**, 2. neu. bearb. Aufl. Mannheim, Bibliographisches Inst., 1969. 10v
一頁三段組みの小項目百科。第9巻は書誌。第10巻は大型地図帳。

(4) フランス

1. **La Grande encyclopedie**, Paris, Librairie Larousse, 1886-1902 31v
大項目主義で、図版が豊富。中世からルネッサンスにかけての欧州大陸の文学・歴史・美術に特色あり。新版(1971~)は人文一仏で所蔵。
2. **Grand Larousse encyclopedique**, Paris, Librairie Larousse, 1960-62. 10v
17世紀初め頃からのフランス語を含む小項目主義百科。カラー写真と文化地図に特徴がある。各巻巻末に参考文献がある。
3. **Petit Larousse illustré**, 1973, Paris, Larousse, 1972. 1800p
小百科であるが、固有名詞の場合、この百科に収録されることは、その価値が世界的に認められることを意味するといわれる。

(5) イタリア

1. **Lessico universale Italiano**, 1-13- Roma,
Institute della Enciclopedia Italiana,
1968-

戦前発行の初版の改訂版。大項目・小項目併用で、言語辞書としての性格も兼ねる。都市の歴史の記述に特色がある。

(6) ロシア

- Bol'shaia sovetskaia entsiklopediia**. 3. izd.
1-16- Moskva, Sovetskaia Entsiklopediia,
1970-

初版は全65巻、第2版は戦後50巻で刊行、第3版は全30巻の予定で刊行中。

第6章 年鑑

年鑑とは、一年間の社会全般の事柄を記述したり、統計に表わし年一回発行する便覧をいう。但し必ずしも年刊でなく、隔年刊等のものであっても、年鑑の要件を充分満たしているものもある。年刊の出版物は、「年鑑」と呼ばれるもののほか、政府出版物に多くみられる「年報」「白書」「要覧」「…の動向」などを書名の一部として刊行されているものも数多くあり、これらのものも含めて年鑑類と総称することがある。英語では "yearbook" "annual" のほか "almanac" を書名としている。

6.1 年鑑の種類

年鑑は、内容形態により通常次の4種類に分けられる。

(1) 百科事典年鑑

百科事典の記事を補なうものであるが、それ自体独立して利用できる。
(前章参照)

(2) 総合年鑑

一般年鑑ともいわれ、主として新聞社が発行するあらゆる主題にわたって

情報を収録したもので、時事的な性格が強い。

(3) 地域年鑑

特定の地域の事柄に限った記事内容をもつもので、例えば 日本国勢協会 千葉県統計年鑑 ソビエト年報 新中国年鑑 東南アジア要覧 中東・北アフリカ年鑑 等である。

(4) 専門主題年鑑

特定の主題分野に関する年間の主要事項を中心に各種の情報(業績目録・文献目録など)を年鑑形式によりまとめたもので、例えば 日本統計年鑑 日本都市年鑑 日本労働年鑑 日本教育年鑑 文部省年報 日本工業年鑑 原子力年鑑 国語年鑑 英語年鑑 などの他に、白書と呼ばれる わが外交の近況 環境白書 公正取引委員会年次報告 など多種多彩で数百種類にのぼるといわれる。

6.2 年鑑の効果的な利用法

- (1) 以上の様に年鑑の形態は、さまざまであるから、その特徴と構成をよく知り、求める情報にもっとも合致したものを利用する。
- (2) 目次と索引のしくみを知り、これをうまく活用する。
- (3) 統計表などは、調査時期も多様であり、数字に間違いのあることもあるので、同種のを参考にする。

6.3 総合年鑑の特徴

1. 朝日年鑑 朝日新聞社

暦年編集で2月刊行。別冊附録は、最近では「名簿・便覧」

2. 毎日年鑑 毎日新聞社

上記1.と同様。別冊附録は、「人名録」

3. 時事年鑑 時事通信社

8月～7月編集で、10月刊行。別冊附録なし。

4. 世界年鑑 共同通信社

暦年編集で3月刊行。同社発行の「日本現勢」を統合したもので、世界中心。別冊附録なし。

5. **Europa year book**. London, Europa Pub. 1974. 2v
世界の国際的機関およびヨーロッパ(ソ連・トルコを含む)、アメリカ、アジア、オーストラリアの各国要覧。
6. **Statesman's yearbook**. London, Macmillan.
各国の政体要覧。
7. **Yearbook of world affairs**. London, Evans.
世界中で、年間に生じた主な事件に関する論文を収録。

第7章 人名・団体名

人名に関する情報は、人名そのものについて求める場合以外に、人間が各種の専門分野にわたって関係しているため、人名を探索上の手がかりにして、各種の主題に関する情報が得られる場合がある。ある人の伝記を調べるためには、自叙伝・第三者が書いた個人伝・叢伝などが重要な伝記資料であるが、その他にも随筆集、雑誌、新聞等の中にも伝記に関する記事は多くみられる。普通個人の伝記事項を知るためには、人名事典および百科事典等をひく場合が多い。また、図書館にある著者名目録は、その著者の作品目録であり、被伝者の伝記資料でもあるので、これを利用することが大切である。

一方、団体名鑑といわれるものは、学協会・会社等の団体の研究活動・業績等を知るために学術調査・研究に欠かせないものである。

ここでは、世界および各国の人名事典^{*}、人名録^{**}および団体名鑑、人名研究・難読姓氏、系譜・家系をとりあげる。

^{*} ^{**} 人名事典とは多数の被伝者を見出語として、それぞれに伝記事項(姓名・別名・読み方・生(没)年・出生地・略歴・業績等)を解説し、事典のように五十音順・アルファベット順に配列したものである。一方、人名録は、現存者の履歴事項を画一的に要約したもので、逐年的に発行されるものが多く、名鑑もしくはダイレクトリーといわれているが両者を区別できないものが多い。

7.1 世界

1. **大人名事典** 平凡社 昭28～30 10冊
第1巻～第6巻：日本の故人 第7巻：現存者 第8～9巻：外国人

よりなる。

2. **世界人名事典** 新版 西洋編・東洋編・日本編 河部利夫・中村義編 東京堂 昭48 3冊
 3. **Biography index**. New York, Wilson, Sept. 1970-
季刊・年刊・3年刊
英語で書かれた出版物に発表された伝記資料の索引誌。
 4. **New century cyclopedia of names**. Rev. ed.
New York, Appleton, 1954. 3v
英米を中心に人名・地名はもとより、文学上の作品に登場する人物名も収録。
 5. **Thomas, J. Universal pronouncing dictionary of the biography and mythology**. 5. ed.
New York, AMS Pr., 1972. 2v
神話に登場する人物を含む簡潔なもの。正確な発音入。序文で発音のことを詳しく解説。附録に、「欧語にあらわれる名前の語彙」「問題のある発音一覧」がある。複製版。
 6. **Chambers biographical dictionary**. Rev. ed.
London, Chambers, 1969. 1432p
英国の立場から選定した世界の歴史的に著名な人物を収録。
 7. **Webster's biographical dictionary**. New ed.
Springf., Mass., Merriam, 1972. 1697p
英・米中心であるが、現存する人物も含めて収録。人名の発音が詳しい。
 8. **The International who's who**. London, Europa Pub. 年刊
カレントなもので、国際的に著名な人物を収録。
- ### 7.2 日本
- 以下にあげる辞典の他に、前項の 大人名辞典 第1～6巻、世界人名事典 日本編 人物叢書 吉川弘文館 昭33～(既刊168冊)などがある。
1. 竹内理三等 **日本古代人名辞典** 吉川弘文館 昭33～52. 7v.

古代史研究資料百種に現われる人名約3万を収録。

2. 大日本人名辞書 増訂11版 同辞書刊行会編 講談社 昭49 5v
昭和12年発行の新訂第11版の復刻版。収録された人物の記述は古今の文献による詳細なもの。家系・芸道の系譜・美術工芸家伝あり。
3. 芳賀矢一編 日本人名辞典 思文閣 昭44 1174p
大正13年発行の復刻版。文化関係の人名を中心に収録。配列の順序は名・号によっているのが特徴。伝記事項の記述は簡潔。
4. 森 銚三編 人物逸話辞典 東京堂 昭38~41 5冊
文禄・慶長から明治20年まで出生の人物を収録。五十音配列により出典にもついた逸話を集めた伝記。最近出版された 森 銚三著作集 中央公論社 昭45~47 13冊は、江戸時代の科学者伝として精確なもの。
5. 明治過去帳 物故人名辞典 大植四郎編 東京美術 昭46
1264p
大植四郎 国民過去帳 昭10の復刻版。物故者を没年順に配列。
6. 大正過去帳 物故人名辞典 稲村徹元等編 東京美術 昭48 1冊
上記同様物故者を没年順に配列。

《人名録》

1. 著作権台帳 日本著作権協議会
通称「文化人名録」と云われているもの。本来は著作権所有者の名簿であるが、網羅しているわけではない。第15版(昭46)まで刊行。
2. 人事興信録 人事興信所 隔年刊
各界の主脳又は中堅として活躍している日本人、在日外国要人を収録。
3. 職員録 大蔵省印刷局 2冊 年刊
官庁職員録といえるもので上巻：中央官庁、下巻：地方公共団体よりなる。係長以上の人名、役職名を収録。巻頭に官庁ごとの機構図あり。
4. ダイヤモンド会社職員録 上場会社編・非上場会社編 2冊 年刊
会社役員を収録。
5. 全国大学職員録 大学職員録刊行会編 広潤社 年刊
全国大学の講師以上の教官の生年・出身校・専攻科目を記載。
全国短大・高専職員録もある。

6. 千葉県学事関係職員録 千葉県学校生活協同組合 年刊

7.3 外国

1. 岩波西洋人名辞典 昭31 1962p
ヨーロッパと南北アメリカのほか、中近東・アフリカ・大洋州・インドも含め、古代の歴史的人物から現存人物まで、架空人名・神名も収録。
2. 仙田正雄等 漢訳漢名西洋人名辞典 天理 天理大学図書館学研究室 昭39 100p
文献にあらわれた漢字書きの西洋人名を集めた名簿。

(1) 東洋

1. 現代中国人名辞典 1972年版 外務省アジア局監修 霞関会 昭47 1123, 22p 附録に「漢字簡化表」あり。
2. 難波常雄等編 支那人名辞書 吉川弘文館 明37 1冊
古代から明治36年までの中国人約2万4千名を頭字の音順に配列。
3. 中国人名大辞典 商務印書館 1934 1冊
4. 現代韓国人名辞典 1971年版 霞関会 昭46 552, 99p
附録に「朝鮮重要事項年表」あり。

(2) 英国

1. Who's who. London, Adam & Charles Black. 年刊
世界的に著名な人物を含む現存する英国人を収録。
2. Who was who. v. 1: 1897-1916, v. 2: 1917-28, v. 3: 1929-40, v. 4: 1941-50, v. 5: 1951-60, v. 6: 1961-70. London, Black, 1966-72. 6v
前記1.に生前に記載された人で、物故者を収録。
3. Dictionary of national biography. Ed. by L. Stephen & S. Sidney. London Oxford Univ. Pr., 1949-50. 22v
英国およびその植民地の英国人を含む著名な人名事典。補遺6巻は、本文で省略されたもの及び1901~60年の物故者もあわせて収録。執筆者名入り。参考文献の記入あり。通称DNBという。

(3) 米 国

1. **Who's who in America.** Chicago, Marquis. 隔年刊
世界的に著名な人物を含む現存する米国人を収録。
2. **Who was who in America. Historical vol. :**
1607-1896, v. 1: 1897-1942, v. 2: 1943-1950,
v. 3: 1951-1960, v. 4: 1961-1968, index
Chicago, Marquis, 1960-69. 5v
上記1.に記載された人で、物故者を収録。
3. **Dictionary of American biography.** Ed. by A.
Johnson & D. Malone. New York, Scribners,
1930-44. Suppl. 1, 2. Index vol. 1944-58. 23v
物故者だけを収録した著名な人名事典。執筆者名入り。参考文献の記
入あり。通称DABと呼び英国のDNBとならび高く評価されている。
4. **American men and women of science.** 12. ed.
New York, Bowker, 1970-73. 6v
アメリカ・カナダの自然科学者名鑑。
5. **Notable American women 1607-1950 ;**
a biographical dictionary. Cambr., Mass.,
Belknap Press of Harvard Univ. Pr., 1971. 3v
執筆者名入り。詳細な参考文献の記入あり。巻末に分野別の被伝者一
覧あり。

(4) その他

1. **Die Grossen Deutschen: Deutsche Biographie.**
Berlin, Bei Ullstein, 1956-57. 5v
672年以降のドイツの文化・宗教等の代表的人物234人を時代順
に紹介した詳細な伝記。
2. **Neue Deutsche Biographie.** Bd. 1-9- Berlin,
Duncker, 1953-
Allgemeine deutsche Biographie(所蔵なし)をもと
にして作られたもので、ドイツの歴史・文化に影響を及ぼしたドイツ人
・オーストリア人・オランダ人・スイス人をも収録。参考文献・肖像画
を記載した詳細な伝記。

3. **Wer ist wer?; Das Deutsche who's who.** 17.
Aufl. Bd. 1: Bundesrepublik Deutschland u.
West-Berlin. Berlin, Arani, 1973. 1263p
西独・西ベルリンの人名録。
4. **Who's who in Germany.** Ottobrunn, Munich, who's
Who-Book pub. vom 1. 1972.
第4版(1972)以降は隔年刊行の予定。
5. **Who's who in France.** Paris, Latiffe. 隔年刊
6. **Prominent personalities in the U. S. S. R.**
Germany ed. Metuchen, N. J., Scarecrow. 隔年刊
Who's who in the USSRを改題して1968年より刊行。現
存するソビエト人を収録。
7. **Who was who in the USSR.** Germany ed.
Metuchen, N. J., Scarecrow, 1972. 677p
1917-1967年のソビエトの物故者を収録。

7. 4. 専門人名事典

特定の専門分野の研究者等をまとめて収録したもので代表的なものをあげ
る。

(1) 宗 教

1. **日本仏家人名辞書** 増訂版 東京美術 昭41 1319, 181p

(2) 研究・教育

1. **教育人名辞典** 同刊行会編 理想社 昭37 927p
日本・西洋・東洋の教育的意味をもっている人物を収録。
2. **日本文学資料研究会 国学者伝記集成** 国本出版社 昭9~10 3冊
慶長年間から昭和9年までの物故国学者を没年順に配列。
3. **小川貫道編 漢学者伝記及著述集覧** 名著刊行会 昭45 781p
元和元年から昭和9年までに物故した漢学者及び漢学に関係した人の
略伝および著作目録。
4. **専門別大学研究者・研究題目総覧** 1971 人文科学編・自然科学
編 日本学術振興会 昭46 2冊
分野別に研究者の50音順配列により、生年月日・最終学歴・現職・

研究課題を記載。

5. 日本博士録 昭31-41年度, 昭44, 45年度 帝国地方行政学会(昭44, 45年度は広潤社発行) 8冊
明治21年5月以降の博士人名録。昭42, 43年度は未刊。
 6. 科学技術人名事典 アシモフ著 共立出版 昭46 672p
時代順に人名を記載。原著: *Asimov's biographical encyclopedia of science and technology* の訳書。
 7. *World who's who in science; from antiquity to the present*. Chicago, Marquis, 1968. 1855p
 8. *Dictionary of scientific biography*. v. 1-10-
New York, Scribners, 1970-1976. 14v
全世界の科学者5千人の詳細な伝記。
 9. *Who's who in science in Europe; a reference guide to European scientists*. 2. ed. Guernsey, British Isles, Hodgson, 1972. 4v
ヨーロッパ科学者名鑑。先に紹介した *American men of science* に匹敵するもの。
 10. *International scholars directory*. 1973.
Strasbourg, Frame, I. S. P., 1973. 288p
国際的な科学者名鑑。代表的な著作を記載。
 11. *Kürschners deutscher Gelehrten-Kalender*
1970. 11. Aufl. Berlin, Gruyter, 1970. 2v
ドイツ語を使用している国の科学者名鑑。
- (3) 芸術・文学
1. *Baker's biographical dictionary of musicians*. 5. ed., completely rev. New York, Schirmer, 1971. 262p
 2. 加納秀夫編 現代英米文学人名辞典 研究社 昭36 333p
 3. Kunitz, S. J. & Haycraft, H. *Twentieth century authors*. New York, Wilson, 1942.

1577p 1st Suppl. 1955. 1123p

- 20世紀の世界各国の作家の伝記。国別のもの等では, *American authors, 1600-1900*, *British authors before 1800*, *British authors of the 19th century*, *European authors, 1000-1900*. *The Junior book of authors*. 2. ed. がある。
4. *Contemporary authors*. Detroit, Mich., Gale V. 1/4 (1962/63) - 年刊
現代の作家の略歴・著作について最新のものを収録。
- (4) 人名関係記事索引
1. 人物文献索引 国立国会図書館 昭42~47 3冊
人文編: 昭20~39年刊行分。経済社会編: 明治以降~昭43年刊行分。法律・政治編: 明治以降~昭46年
伝記の記事を検索する便を図るために作られたもので、被伝者の履歴および著作・参考文献等のあるものを収録。
 2. 法政大学文学部史学研究室編 日本人物文献目録 平凡社 昭49 1199p
明治初年から昭和41年末までに刊行された図書・雑誌の記事で日本人3万余名の伝記に関する文献を収録。
- 7.5 団体・機関名鑑
- (1) 学術・学術団体
1. 全国試験研究機関名鑑 ラティス社 隔年刊
1973/74年版から、シンクタンクを収録。外国の主要研究機関も記載。
 2. 全国学協会総覧 昭和45年版 大蔵省印刷局 昭45 411p
 3. 全国各種団体名鑑 ミカミマーケティング・インスティテュート 隔年刊
 4. 国際学術団体要覧 1971年版 大蔵省印刷局 昭46 199p
 5. 全国学校総覧 文部省監修 原書房 年刊
全国の小・中・高等学校一覧。附録に各種学校一覧あり。
 6. 全国大学一覧 文部省大学局 年刊

7. 全国短期大学高等専門学校一覽 文部省大学局 年刊
8. 学術関係国際会議一覽 日本学術会議 年刊
会議録を知るものとして、国立国会図書館 科学技术関係会議録目録
1948-1969 昭47. 443p がある。
9. *Directory of scientific directories*, 2. ed.
Guernsey, Hodgson, 1972. 491p
10. *World of Learning*. London, Europa Pub. 年刊
世界の教育・科学・文化機関要覧。
11. *Minerva Jahrbuch der Gelehrten Welt*. Jg.
35. Berlin, Gruyter, 1966-70. 4v 上記10と同様。
12. *European Research index*, 2. ed. Guernsey,
Channel Islands, Hodgson, 1969. 2v
ヨーロッパの研究機関の名鑑
13. *Industrial research laboratories of the
United States*, 13. ed. New York, Bowker, 1970.
659p 米国の企業の研究機関の名鑑
14. *Encyclopedia of Associations*, 10. ed. Detroit,
Gale, 1976. 2v
アメリカの営利を目的としない国家的規模の団体要覧。
15. *Scientific and Technical Societies of the
United States*. Washington, National Academy
of Sciences, 1968. 221p
16. *Scientific and Learned Societies of Great
Britain*, 11. ed. London, Allen, 1964.
17. ソ連邦機関・団体名鑑 日英露3ヶ国語版(付)モスクワ市内地図
日ソ協会 昭49 64p
ソ連邦各分野の主要624機関の名鑑
Ohio, Merrill Books, 1963. 1134p
18. *American universities and colleges*, 11. ed.
Washington, American Council on Education,
1973. 1879p アメリカの大学一覽。

19. *Commonwealth universities yearbook*. London,
Association of Commonwealth Universities,
年刊 英国及び英連邦諸国の大学一覽。
20. *Directory of special libraries and
information centers*, 2. ed. Detroit, Mich.,
Gale, 1968. 1048p
21. *World guide to abbreviations of
Associations and institutions*, 2. ed., by P.
Spillner. New York, Bowker, 1970-71. 2v
学協会・団体名の略語辞典。

(2) 民間団体

1. 日本職員録 人事興信所 昭47 3冊
官公庁、地方公共団体、大学、会社、銀行などの団体要覧。人名録も
兼ねる。
 2. 会社年鑑 上場会社編 年刊
金融機関および資本金百万円以上の会社をほぼ収録した会社要覧。
 3. 日本会社録 第8版 交詢社 昭47 1冊
金融機関および資本金百万円以上の会社をほぼ収録した会社要覧。
 4. 外国会社要覧 1972年版 ダイヤモンド社 昭47 1752p
海外主要企業千数百社の分析資料を集めて紹介した要覧。
- 7.6 人名研究・難読姓氏
- この種のもの、人名そのものの読み方など確定できないものを知りたい
時、あるいは、伝記事項が判っていても人名が分からない時に使用するもので
ある。
1. 荒木良造 名乗辞典 附録難読姓氏辞典 東京堂 昭42 306p
漢字で書いた名前の読み方と、こういう名前にはどういう漢字があて
られているか?を示した2篇からなる。
 2. 篠崎晃雄 実用難読奇姓辞典 増補版 日本加除出版 昭48
430p
 3. 島村修治 外国人の姓名 帝国地方行政学会 昭46 306p

外国人の姓名に関する必要な知識を集めたもの。附録に外国人の「姓名構成表」がある。

4. Reaney, P. H. **Dictionary of British surnames.** London, Routledge & Kegan Paul, 1970. 366p
英国人名の起源, 由来, 意味, 派生形などを明らかにしているので, 綴字の見当をつけるのに適している。
5. Smith, E. C. **Dictionary of American family names.** New York, Harper, 1956. 244p
上記4.と同様のもので米国人の綴字の見方をつけるのに適している。
6. Bach, A. **Deutsche Namenskunde.** Bd. 1, 2. Personennamen. Heidelberg, Winter, 1952-53. 2v

7.7 系譜・家系

特殊なものであるが, 血縁関係・諸芸などの系統を書き記した図あるいは表である。

1. 太田亮 姓氏家系大辞典 再版 角川書店 昭38 3冊
各種の文献に基づき, 姓氏・苗字をとり出し, その起源・分布などにつき, 詳細な考証を加えたもの。
2. 新訂寛政重修諸家譜 続群書類従完成会 昭39~42 26冊
寛政10年までの徳川の家臣の系図からなるが, 諸大名, 旗本に限らず, 諸芸の祖師などから由来する系図も含まれる。
3. 尊卑分脈 吉川弘文館 昭36 6冊(新訂国史大系58~61巻)
室町初期までの帝王と諸家の系図の集大成。
4. 系図纂要 第1冊一 名著出版 昭48~
天皇家・公家・武家・釈家のすべての系図を網羅したもの。
5. Fox-Davies, A. C. **A complete guide to heraldry.** Rev. and annotated by J. P. Brooke-Little. London, Nelson, 1969. 513p
家紋の起源と歴史の案内書。
6. Virkus, F. A. ed. **The abridged compendium of American genealogy, a first families of**

America; a genealogical encyclopedia of the United States. Baltimore, Genealogical Pub., 1968. 7v
アメリカの系譜百科。

第8章 地名・地図

地名・場所に関する情報は, 歴史・地理の研究, 又旅行をする際に必要であるばかりでなく, 商業その他の諸科学にも関係している場合が多い。地名・場所等を求めるレファレンスブックには, 大きく分けて次のものがある

1. ある地名の地球上の位置を示し, その土地に関する一般的な知識・情報を提供するもので「ギャゼテニア」(gazetteer)と云われるもの。
2. その地名の起源・由来・変遷などについて説明した「地名事典」(dictionary of place names)と云われるもの。
3. 個々の地図*を集め, 地名索引などをつけて美しい冊子体にまとめた「地図帳」(atlas)と云われるもの。
4. その土地についての旅程・市街地図などを紹介した「旅行案内書」と云われるもの。

以上のもののうち, 1.と2.のものは, 一般に「地名事典」と云われ, この両者を区別することはむづかしいので, ここでは一括してとりあげる。

*地図は正確で詳しく新しいことが大切で, 建設省国土地理院発行のものなどがその条件を備えている。

8.1 地名事典

(1) 世界

世界の地名の呼び方, 書き方等を知るには, 文部省編 地名の呼び方と書き方 昭34 157p がある。

1. 世界地名事典 平凡社 昭26~27 6冊
内容的に古くなったが, 世界の地名を比較的詳細に説明。
2. 世界地名事典 日本・東洋篇 西洋篇 東京堂 昭33~37 2冊
3. 世界地名大事典 第1-5巻一 朝倉書店 昭48~

世界の地名を三篇に分け、各々の中を五十音順に配列。カナ書き・ラテン文字綴りの索引あり。

4. **The Columbia Lippincott gazetteer of the world**, by L. E. Seltzer, New York Columbia Univ. Pr., 1962. 2148p

約13万の地名の綴字・発音・位置等を説明。

5. **Webster's new geographical dictionary**, Springfield, Mass., Merriam, 1972. 1370p

約5万の地名を収録。地名の読み方の基準として、この辞典から採られる場合が多い。

6. **Times index-gazetteer of the world**, London, Times, 1965. 964p

約34万の地名を収録。**The times atlas of the world**の索引と世界の地名辞典としての性格との両者を兼ねる。

(2) 日本

地名研究書として、中島利一郎 日本地名学研究 日本地名学研究所 昭34、鏡味完二 日本地名学 科学篇 地図篇 京都 日本地名学研究所 昭32-33 2冊、柳田国男「地名の研究」(定本柳田国男集第20巻 筑摩書房 昭37 pp1-216)がある。

1. 吉田東伍 増補大日本地名辞書 富山房 昭45-47 8冊

歴史地理的内容をもつのが特徴。明治33-40年発行のもの増訂複製版。

2. 山中襄太 地名語源辞典 校倉書房 昭44 458p

地名の語源・命名の由来・読み方等について説明。

3. 日本地名大事典 渡辺光等編 朝倉書店 昭42-46 7冊

地方別に各巻を構成。地誌的な記述と地名の事典的記述とを配合。

4. 国土行政区画総覧 国土地理協会 昭45 7冊

全国の地名の呼び方、行政区画と地名の変更、公共機関、鉄道小荷物配達駅等の一覧。

5. 新旧対照 最新全国市町村名鑑 大蔵省印刷局 年刊

(3) その他

1. Ekwall, E. **Concise Oxford dictionary of English place-names**, 4. ed. Oxford, Clarendon

Pr., 1970. 546p

英国の地名を州別に分け、その初期の名称、変遷等について説明。

2. Cameron, K. **English place names**, London, Batsford, 1969. 256p

上記1.と同種のもの。

3. Stewart, G. R. **American place-names**.... New York, Oxford Univ. pr., 1970. 550p

アメリカの350万地名の由来・変せん等を記す。

4. Kane, J. N. **The American counties**, Rev. ed., New York, Scarecrow, 1962. 540p

上記1.2.と同種の米国編。

5. Bach, A. **Deutsche Namenkunde**, 2. stark erwert., Aufl., Heidelberg, Winter, 1953. 2v

第1巻はドイツの地名の発音、形態、造語、意味について、第2巻は、歴史的、社会的、心理的な観点から解説したもの。

8.2 地図帳

世界で現在出版されている地図帳の案内書として Alexander, G. L. **Guide to atlases; world regional, thematic**, Metuchen, N. J., Scarecrow Pr., 1971. 671pがある。地図帳は百科事典の附録として発行されるものも多い。

(1) 世界地図帳

1. 新世界地図(New world atlas) 田中啓爾監修 人文社 昭48 62図149p

日本の大型の世界地図。地名表記は、各国の綴字にカナ文字で記入。

昭39年発行の改訂新版。

2. ブリタニカ国際地図 ティービーエス・ブリタニカ 昭46 273p

特定の地域を偏重せず、国際性に重点。縮尺に統一性をもたせる。

3. **Encyclopaedia Britannica world atlas**, Chicago, Encyclopaedia Britannica, Inc., 1966. 1v

米国に重点があり、英国は簡単。

4. Bartholomew, J. **The Times-atlas of the world; mid century ed.** London, The Times Pub., 1956-59. 5v
主な地域は、百万分の1で最も詳細なもの。
5. **The International atlas.** Chicago, Rand McNally, 1969. 280, 223p
ランド・マクナリー社の地図を基にして、各国で出版されるものが多い。本書は文字通りの国際的な世界地図。
6. **Goode's world atlas, 13. ed., ed. by B. Espenshade Jr.** Chicago, Rand McNally, 1971. 314p
"school atlas"として有名なもの。土地の起伏が明瞭。
7. **Ambassador; world atlas. New perspective ed.** Maplewood, N. J., Hammond, 1969. 552p
経済・政治地図を含む彩色豊かな地図。
8. **Der Grosse Bertelsmann Weltatlas.** Gütersloh, Bertelsmann, 1971. 188, 52p
中部ヨーロッパが特に詳しい。
9. **Larousse, firm publishers.** Paris, Atlas International Larousse Politique et Economique. Paris, 1950. 1v
各種の統計が詳しい。
10. USSR, Glavnoe Upravlenie Geodezii i Kartografii. **Atlas mira, 2. izd.** Moskva, 1968. 2v
ソビエトについて特に詳しい。第2巻は地名索引。英訳版あり。
11. Polish Army Topographical Service. **Pergamon world atlas.** Oxford, Pergamon Pr., 1968, 525p (Loose-leaf)
ポーランドの専門家により作成。ソ連・東欧が詳しい。

(2) 地方地図帳

A. 日本

1. 田中啓爾 **日本都道府県地図総鑑** 日本教図 昭43 220図
269p
各地図の等高線とその間の色彩が鮮麗で自然の実態がよく分るようになっている。
2. **新日本分県地図** 国際地学協会 年刊
3. **日本都市地図要覧** 人文社 不定期刊
4. **日本都市地図全集** 人文社 昭32~40 4冊
以上の他に、地図帳ではないが、全国の基本地形図として国土地理院発行の**五万分の一地形図** 1259図葉、日本各地の地形図を地方別にまとめて詳解した**日本図誌大系** 山口恵一郎等編 朝倉書店 昭47~ (全6編11冊)がある。

B. 外国

1. 平凡社版 **中国地図帳** 昭48 80p
平凡社版 **世界地図の中国関係部分**を基図とする。
2. **中国大地図** 人文社 昭48 284p
総ふりがな付。主題図・分県図・地方別図・市街図からなる。
3. **中国大陸省別地図** 外交時報社 昭46 95p
中国大陸の居住地単位の各省別地図。
4. **大韓民国地図** 付大韓民国主要地名一覧表 高麗書林 昭47 地図1枚 59p
5. **Atlas of Central Europe.** London, John Murray, 1963. 1v
ドイツ発行の **Grosse Bertelsmann Weltatlas** から中部ヨーロッパの部分を取ったもの。
6. **The Reader's digest complete atlas of the British Isles.** London, The Reader's Digest Association, 1965. 230p
7. United States, Dept. of the Interior
Geological Survey. **The National atlas of**

the United States of America. Washington, 1970. 417 p

(3) 専門地図帳

特別の主題のもとに各種の主題図を中心に編集した地図帳である。

1. 西岡虎之助・服部之総 日本歴史地図 全国教育図書 昭31 482 p
2. アジア歴史地図 松田寿男・森鹿山編 平凡社 昭47 148 p
3. 新日本経済地図 改訂新版 国際分県地図 昭47 1冊
4. Oxford economic atlas of the world, 4. ed. Oxford, Univ. Pr., 1972.

8.3 旅行案内書

1. 全国旅行案内 日本交通公社 昭45 1冊
2. Encyclopedia of world travel. New rev. ed. New York, Doubleday, 1967. 2v
各国毎に地理的・経済的・文化的な特徴を旅行者向きに紹介したもの。
3. Baedeker's touring guides. London, Allen, 10v
Baedeker, K. (1801-59) は、ドイツの旅行案内出版者であった。「ベデカー旅行案内書」と云われ、古くなったものもあるが、各国の概要・市街図・都市計画等について詳しい。
4. The Blue guides, ed. by L. R. Muirhead. London, Benn, 17v
前記3のように詳しくないが、西ヨーロッパ諸国に中心がある。

地名関係の資料としては、地理・地誌関係の資料、例えば、世界の文化地理 講談社 昭28~42 23冊 これが新しい世界だ 国際情報社 昭40~45 31冊 Lands and peoples. New York, Grolier, 1963. 7v 図説日本文化地理大系 小学館 昭35~39 18冊 等が代表的なものであり、風土記、紀行文、案内記など地名に関係したものが数多くある。

第三部 レファレンス事例65選

第II部で紹介したレファレンスブックなどを用いて、どのようにして事実やデータを、また文献を入手するか、具体的な例を次にあげてみた。これらはある質問に対して、知識の求め方、文献のさがし方の手順を示したもので、解答と思わないでほしい。具体例によって学習・調査・研究の過程と方法を知ることが大切である。

読みたい本がどこにあるか? の質問とその回答例

質問1 「大学教育論」と「現代・大学・学生」という本がみたい。その探し方は?

著者は記憶していないが、3・4年前に出版されたいとのことで、書名目録(書名のアルファベット順)で探す。「大学教育論」梅根悟(377)、「現代・大学・学生」大内兵衛(304)が見つかる。377と304という記号は図書主題によってきめられた分類記号で、ラベルにも同じ記号が記されその数字順に書架に並べられている(日本十進分類表附録1参照)。また目録カードの手前に配架先表示カードがあって、これによって開架書架にあることを知る。社会科学部門閲覧室(館内案内図表紙裏参照)に行き、目的の本を探し利用することができる。出納台では、手続に従って図書の館外貸出しを行っている。

質問2 マックス・ウェーバーの本を調べたい。

西洋人名の構成は一般に名(Christian name)+姓(Surname)の順である。目録カードや人名辞典をひくときは転置して姓からさがす。(目録カードのひき方附録2参照)。従ってMax Weberの姓はWeberで、著者名目録を探してみる。「一般社会経済史」「権力と支配」「国家社会学」「支配の社会学」などが図書館にあることがわかる。書誌として「日本マックスウェーバー書誌」が利用価値が高い。

質問3 野間宏の「青年の環」と「文学の探求」を読みたい。

著者名目録でひく。同じ著者の本が何冊もある場合は、全集—作品選集—個々の作品の順でカードが並べられている。さらにその中では書名のアルファベット順である。野間宏はNoma, Hiroshiというカードを繰ると、「野間宏全集」「野間宏論」兵藤正之著、「現代の文学1」「文学の探求」正・統、「青年の環」「小説の書き方」「欵異抄」などある。つまりその人の作品と作品論・作家論が同時にわかるように配列されている。「青年の環」は開架913.6、「文学の探求」は書庫901.4/N94と「野間宏全集14巻」開架918.6にあることがわかる。書庫におさめてある本を読みたい場合は、書庫3層の901.4の棚に配架してあることがわかる。

質問4 アインシュタインの相対性理論についての本はないか、日本語がよい。

アインシュタインの綴りを人名辞典などで調べて、Einstein, Albertで著者名目録をひく。「相対論の意味」という本が開架421.2にあることがわかる。このように外国人が著わし日本語に訳された本は、和書扱いで原著者の原綴のもとに配列されている。

質問5 「古事記」を参考にしたいが、探し方がわからない。

本館で採用している日本十進分類法では、古事記とそれに関するテーマの本はすべて210.3(歴史—日本—古代)に分類するきまりになっている。分類目録で210.3をひいてみるとよい。なお文学部門にある日本古典全書、日本古典文学体系にも収録されている。千葉大学附属図書館蔵書目録・人文社会篇の書名索引も利用できる。

質問6 原田正純著「水俣病」、田尻宗昭著「四日市・死の海と闘う」を読みたい。

いずれも1972年発行。図書館になくても安直に入手できるものなら買いたい、という希望であった。著者名目録、書名目録また「公害」519.5の分類目録のいずれにも該当カードが見当らなかった。図書館にはないことになる。出版年鑑1973年版(1972年の出版物を収載)の書名索引、著編訳者名索引のどちらかでひいてその出版社等を知る。

原田正純 水俣病 岩波書店 1972.11 岩波新書 180円

田尻宗昭 四日市・死の海と闘う 岩波書店 1972.4 岩波新書

180円

これらの事柄をメモして書店に注文すれば、容易に入手できる。

質問7 大類伸著「日本城郭史」、井上宗和著「日本の城」、加藤隆著「近世城郭の研究」を卒論の参考資料として通読したい。

第1の「日本城郭史」は本館著者名目録によって書庫にあることがわかり利用できる。第2・第3の図書は千葉大学では所蔵していない。国立国会図書館蔵書目録は著者名又は書名で探すこともできるので、これにより国会図書館には第2・第3の図書の所蔵を確かめられた。直接行って閲覧するか、千葉大学附属図書館として借用し閲覧することもできる。

質問8 生態学の外国書を読むよう指示されたが、どのように探したらよいか。

特定の図書でなく、「……に関する本」のように研究テーマで本を探す場合、その図書館ではそのテーマがどのように分類されているかをまず知らなくてはならない。本館では日本十進分類法を採用している。国立国会図書館では独自の分類表を作っている。それらの分類表には通常、相関索引ないしは件名索引があつて、コトバから分類記号をひけるようになっている。質問の生態学というテーマを、日本十進分類法相関索引又は主な件名索引で探す。466であるので、分類目録(洋書)カードを繰って次の図書があることを知る。

Florkin, M. Molecular approaches to ecology. (開架)

Kormondy, E. J. Concepts of ecology. (開架)

" Reading in ecology. (開架)

Odun, E. P. Ecology. (書庫 466/027) 貸出カウンターへ。(以下略)

質問9 万葉集とその注釈、万葉集に関する事柄について図書館にある本を調べたい。

万葉集、その解注評釈、その時代の歌人、万葉地理などに関する事柄はすべて分類記号911.12~911.128のもとにおさめてある。従って分類目録のその番号のカードが、この図書館での万葉集関係図書目録ともいえよう。「万葉集」「万葉集注釈」「万葉事典」「万葉索引」「万葉の旅」「万葉植物新考」などが見つかる。このほかに研究室備付図書分類目録の同じ分類記号のカードをひけば、各研究室でもっている万葉集関係の図書を知ることができる。

質問10 雑誌のバックナンバーを閲覧したい—法学セミナー、法律時報、ジュリスト、法学研究。

本館の雑誌目録には次の3種類ある。いずれも誌名のアルファベット順である。

- (1)カード目録 何巻何号から所蔵しているか、欠号の有無、誌名の変遷、請求記号などを記載した基本的な目録。利用の便宜上、図書館所蔵と研究室備付に区分。
- (2)雑誌総合目録 上記を1969.12現在でまとめたもの。同一雑誌についてはその所蔵先が一覧できて便利である。
- (3)受入雑誌所在目録 その年度における雑誌の目録。所蔵先の表示がある。(年刊)

以上の目録によって所蔵巻号と所蔵先がわかる。図書館の雑誌は最新号および利用度の高いバックナンバーを展示している。その他のバックナンバー、紀要類は書庫におさめてあるので、直接書庫(1層)へ行って閲覧する。研究室備付雑誌は研究室へ直接行き閲覧することができる。

法学セミナー……図書館32-H 法律時報……図書館32-H、教養—法学

ジュリスト……図書館32-J、人文—法学、教育—社会、教養—法学
法学研究(慶応義塾大学)……図書館32-H

なお千葉大学にない雑誌や論文を見たい場合、その所蔵先を調べる資料が参考調査係に備え付けてある。学外図書館の利用や、複写を依頼することもできる。

図書・出版・所在調査に関する質問とその回答例

質問11 扶桑略記、兵範記を読みたいが書名目録にはない。図書館にはないだろうか?

古典ものや史料は大部の全集・叢書に収められていることが殆んどである。日本での明治以前に著わされた書物を調べるには、国書解題、国書総目録を用いる。国書総目録は、「読み方、もとの巻冊数、分類、著者、刊行又は成立の年、写本・版の所蔵場所、活字本は出版されたか」など、知られる限りの情報をおさめてある。これによると、「扶桑略記 ふうそうりゃつき 30巻 類通史 著皇円 国国会図…… 改定史籍集覧一、新訂増補国史大系……」とあるので、改定史籍集覧または新訂増補国史大系を見ればよい。同様に、「兵範記 ひょうはんき 別名人車記、信範卿記、日記 著平信範 国国会図…… 史料大成15-18, 37, 史料通覧17, 18」とある。

質問12 下総荘園考、邨岡良弼著を見たい。

書名・著者名目録でも検索できなかったが、日本叢書索引の部にあった。これによると房総叢書(全11巻、昭15-19)の第7巻地誌に収められていることがわかった。

質問13 中国の書物で、「淮南子」とはどんな書物か調べたい。

漢籍解題を利用した。詳しい目次と字画・仮名・著者索引がある。記述は「題名・作者・体裁・大意・伝来・注解」などで、「伝来」では日本への伝来にも触れている。

質問14 ダーウィン「種の起源」についての解説はないか。

世界名著大事典に原書名、著者について、成立、内容、書物と思想の普及などの詳細な解説と、末尾に邦訳の書目が付記されている。簡単な解説は自然科学の名著や百科事典にもある。

質問15 本館でもっている新聞は何で、いつごろからあるか。

千葉大学雑誌総合目録による。主な所蔵縮刷版は下記で、他は3ヶ月保存。
(東京)朝日新聞 大正8年より 日本経済新聞 昭和30年より
アカハタ 昭和38年より

質問16 新訂増補・故実叢書の内容細目を知りたい。
全集叢書目録、全集・叢書細目総覧、国書総目録第8巻：索引・叢書目録が利用できる。

質問17 白洲正子「かくれ里」(毎日出版文化賞受賞)の出版社・値段を知りたい。
出版年鑑の索引を利用して調べる。新潮社、昭和46年12月刊 2200円。

質問18 藪内清「宋元時代の科学技術」を読みたい。どこの図書館でもっているか。
国立国会図書館蔵書目録により所蔵を確かめる。閲覧と借用が可能。

質問19 Primatologia(著者、刊年不明)をどこでもっているか調べたい。
Cumulative book index 1956-'60により、Primatologia, handbook of primatology, 著者Hofer, H. はか、全5巻1958〜と知る。次に新収洋書総合目録によって、北海道大学、東京大学、名古屋大学、熊本大学などで所蔵していることがわかる。図書館からの紹介状をもって質問者は各大学へ行き、閲覧することができる。

質問20 Zeitschrift für Psychologie und
Physiologie der Sinnesorgane, 29(1902)の所在。
学術雑誌総合目録・人文科学欧文篇により東京大学図書館にある。複写を申し込んだ。

質問21 Physiological Plant Pathology 1(1971)の所在を調べたい。
東京大学、国立国会図書館、科学技術情報センターなど国内ではみつからない。
New serial titles 1971, Jan.-Marchで調べた結果、Washington Univ., St. Louisで所蔵している。直接複写を申し込んだ。

質問22 歌誌「柊」、句誌「あらうみ」をもっている図書館はどこか。
国立国会図書館所蔵雑誌目録により「柊」は昭和23年より所蔵。「あらうみ」は全国公共図書館逐次刊行物総合目録によって、石川県立図書館では昭和24年、金沢市立図書館では第1巻昭和9年から所蔵している。

質問23 Wily社からPermanent magnet に関する本がでているか、著者、書名を知りたい。
Books in print を主題からひいて調べる。1968年版には "Parker, R. J. & Studders, R. J.; Permanent magnet and their application" があつた。

質問24 「作品」(昭和5年創刊の文芸同人誌)を見たいが、どこにあるか。
国立国会図書館にない。日本近代文学館所蔵雑誌目録稿により、「作品」を創刊号から昭和15年5月まで所蔵していることがわかった。

質問25 昭和初期の「都新聞」「東京日日新聞」を利用したい。
国立国会図書館所蔵新聞目録によって所蔵を確かめた。なお新聞に関しては、東京大学新聞研究所にも多数所蔵されている(利用に際しては紹介状が要る)。

コトバに関する質問とその回答例

質問26 「梢」という字のよみ方と意味を知りたい。
漢和大辞典、大漢和辞典などによる。よみ方は「セイ」又は「ショウ」、意味は「センの木」とある。この「センの木」とはハリギリのこと。

質問27 「始」という漢字の語源は何か。
漢字の起源で調べる。「説文解字によると、『女の始めなり』と解釈している。中国古代では、男の兄弟が女のきょうだいの年長者を呼ぶのに『姉』といい、年少者を『妹』と言った。女のきょうだいが呼ぶには、その年長者に対して『姒』、年少者に対して『娣』といった。そして姉と始は同字であるから、『始』とは女きょうだい相互間の年長者の称谓である。説文に言うとおろし、『女の始め』であり、一般には女の意味が脱落して初の意のみが通行

した」。

質問28 「胡」は何の意味で、「胡」のつく食物はどんな由来をもつものか。

大字典など漢和辞典で調べる。「胡」とは中国人(漢民族)が蒙古～中央アジア～西域地方の民族全般を指していった語で、胡人とは主に西方民族を呼ぶ。従って胡麻(ゴマ)、胡瓜(キュウリ)、胡椒(コショウ)、胡桃(クルミ)とは、西域地方から胡人によって伝来されたことを物語る。なお「あくら」のことを胡坐というのも、西域地方の民族風習によるものである。

質問29 JACSとは何のことか。

ある論文の参考文献として記載されていた、というので英文科学技術略語辞典をひく。これは *Journal of American Chemical Society* という雑誌の略誌名。

質問30 "Educate"の語源は何か。

一般の英和辞書では語源まで記載されていない。*A comprehensive etymological dictionary of the English language* によるとラテン語 *educātus* から出た。この語は *bring up rear* の意である。英語語源小辞典にも同様の記載があり、基本英語百科辞典では、「ラテン語で外へ引き出すという意味の語から出たもの。個人にひそんでいる性質や能力などを引き出すという意味で、そういう仕事が教育であると考えられたわけである」と説明している。

質問31 英語で「綿」を "cotton" というがその語源を知りたい。

英米故事伝説辞典による。以下引用「アラビア語 *qūt(u)n* がスペイン語、フランス語を経て変った。綿は「絹綿」であつたらしい。中央アジアの *khotan* (巨丹、和蘭) から蚕を竹の筒に入れて盗んで行って、ローマやスペインに移したのがヨーロッパ蚕織業の初めだという。綿を *カタン*、*コットン*、*ケトン* と言い、これらは *Khotan* の地名にもとづく。」

質問32 小説の登場人物が、Ted, Nelly という愛称で呼ばれていた。

正式な名は何というか。

Dictionary of abbreviations を利用。Ted 又 Teddy は Edward の愛称。Nelly は Ellen の愛称だとわかった。

質問33 "Master of Horse" とは何の意味か。

岩波英和辞典の *horse* をひくと、主馬頭(しゅめのかみ)、又は英国官廷の車馬管理官を指す、とのことだった。

事柄に関する質問とその回答例

質問34 タンボボが民間療法に使われることがあるか。

一般的に何か事物の概略・概念をつかむのに百科事典は便利である。総索引をひくとその項目のある巻・頁と、関連ある記事の巻・頁もわかるようになっている。世界大百科事典によると、タンボボは漢方で蒲公英と呼び、解熱、発汗、健胃剤に用いる。西洋では苦味剤、緩下剤、利尿剤にも用いる。日本名タンボボは、現中国名のボボチン婆婆丁が、そう呼ばれる以前に香気を意味する丁が上についた形チンボボ丁婆婆とよばれていた頃、日本に入ってきたのではないかという説がある。

質問35 オリンピックの歴史と、最近の記録を調べたい。

ブリタニカ国際大百科事典・3巻オリンピックの項には、ギリシアでのオリンピック競技の始源から、近代オリンピックの変遷を歴史的に説明すると共に、各大会別に詳細な記録を載せている。但し、1968年メキシコ大会までである。1972年ミュンヘン大会の記録、エピソードなどは1972年版の年鑑(世界年鑑・朝日年鑑・毎日年鑑など)にある。日本選手団の記録は日本の年鑑の方がより詳しい。

質問36 土呂久事件の概略を知りたい。

朝日現代用語辞典1973で調べた。これまで表面化しなかった新しい社会問題。1913～62年の間の垂ヒ酸鉱山の鉱毒による中毒で、足尾に次ぐ長期の公害となった。隠されていた第4の公害病と認定された(1972年7月)。

質問37 タバコの広告に南蛮人がでている。何故か。タバコは日本語か、

どのように伝来したか。

外来語辞典によると、語源はハイチ語 *tabaco* が、スペイン語 *tabaco*、ポルトガル語 *tobaco* となり、「もと、カリブ人が吸っていたパイプの名より」おこったとしている。タバコの木、葉タバコの性質、栽培生産消費、日本の専売制度、旧世界へのタバコの伝播、日本への伝播について全般的な説明はやはり百科事典に詳しい。これらによりタバコと南蛮人（スペイン、ポルトガル人など）とは縁が深いことがわかる。

質問38 1968年の日本の人口について調べたい。

日本統計年鑑、世界人口年鑑、朝日・毎日・時事の各年鑑が利用できる。日本統計年鑑には総人口だけでなく、人口の推移、府県別人口、年齢別人口、増加率などもある。これによると1968年の日本の総人口は101,407,742人で内訳男49,802,681人、女51,605,061人。東京都は11,294,055人、千葉県は3,010,051人である。

質問39 日中国交正常化について、概略をつかみたい。

次の年鑑が各々特集として取扱っているもので、比較しながら読むとよいだろう。

世界年鑑1973 特集—日中国交正常化 pp.49—66

（第2次大戦以前の日中関係・戦中の日中関係・田中首相の訪中・主要資料）

毎日年鑑1973 特集—日中復交の実現 pp.69—88

（佐藤内閣の退陣まで・田中新内閣、国交へ・田中訪中、正常化する・正常化後の動き・日中経済関係・日中民間交流）

朝日年鑑1973 日本—政治—日中国交の正常化 pp.218—231

（日中首脳会談・「共同声明」交渉の焦点・田中訪中決定の経緯・正常化をめぐる各政党の動き・正常化以後の日中関係・日中正常化と日本外交・国会での中国論議・財界の対中国姿勢・日中国交関係資料）

質問40 国際図書館年について調べるには何がよいか。

世界大百科事典 年刊補遺版（1973）によった。国際図書館年とはユネスコ第16回総会決議によって、1972年1年間が定められ、図書と図書館

の重要性が全世界的に強調された。公共図書館の活動を中心に述べて、参考文献やトビックスも記載されている。

質問41 アフリカ各国における新聞の発行状況を調べたい。

日本新聞年鑑の世界新聞要覧には各国別の人口・日刊紙数・総発行部数とその主な紙名のもとに発行地・創刊年・言語・朝夕刊の別・発行部数・政治傾向などを記す。

質問42 WHOの活動について詳しく調べるには。

Europa year book 1971—a world surveyのvol.1—International organizationsで調査。WHOはWorld Health Organizationの略。これによると組織、1970年の活動、出版物、規約などが記載されている。

人物に関する質問とその回答例

質問43 電気関係研究者の「浅見与七」という人の住所などを知りたい。現在、活躍している人だが所属している機関が判らない。との質問で、人事興信録で調べる。北海道大学名誉教授、杉並区大宮2-10-16と判った。

質問44 児童文学者の「松原至大」という人は何と読むか。

文化人名録（著作権台帳）によると、「まつばら、みちとも」と読む。これには著書も記載されている。

質問45 バングラデシュの元首と首相の詳しい経歴を知りたい。

まず元首、首相の名前を最新の年鑑で調べる。元首はアブ・サイド・チョードリ、首相はシャーイ・ムジブル・ラーマンである。新しい資料であることを要求されるので、朝日現代用語辞典1973の海外人名録で、Abu Sayeed Choudhury, Sheikh Mujibur Rahmanの出生、学歴、政治活動などを知った。それ以上の資料はなかった。

質問46 「敏」という姓の読み方を調べたい。

実用姓氏辞典にはあらゆる姓を集成し、数種の読み方も記載する。「きぬが

さ」と読む。

質問47 藤原廉子はどんな人物か知りたいが、よみ方がわからない。
名前の辞典として名乗辞典がある。音順に並んでいる(字画索引もある)ので、レン(廉)をひく。実例を出典明示で記載してあり、「カドコ」と読むことがわかった。人物については、大日本人名辞典、日本歴史事典などで調べることができる。

質問48 日本にいて教鞭をとったことのある“デニング”という人について知りたい。
岩波西洋人名辞典で調査。Dening, Walter, 1846-1913. 漢名・伝仁具。イギリスのジャーナリストで、英語学者。伝導のため来日(1873-1883)。再来日は1885年で文部省御雇や東京高師、学習院、慶応などで教壇に立ち、The Japan Gazetteの主筆ともなった。1888年にオーストラリアに渡ったが、のち旧二高の英語教師となり(1895-1913)、仙合で没した。

質問49 “Guilhem Montanhagol”はどんな人か。
人名辞典にその名を見出せなかった。フランス人らしいということでGrand Larousse...をひく。13世紀フランスのToulouse地方の、南仏吟遊詩人であったことを知る。

質問50 中国の本に“馬克思”と人名らしい語があった。人の名としたら誰のことか。
漢訳漢名西洋人名辞典で、「馬画」をひく。“馬克思”とは“マルクス”“Karl Heinrich Marx(1818-1883)”, ドイツの共産主義者。“馬克斯”“馬喀工”“加陸馬爾科斯”とも書く。

団体の住所・内容などに関する質問とその回答例

質問51 大学院のある大学名と分野を知りたい。
全国大学一覧の大学院の項で調べる。国・公・私立の順に、研究科名も併記している。ほかに全国学校総覧も利用できる。

質問52 イギリス、ケント大学の正式名称、住所と物理学の教授の名を知りたい。

World of learningによって調査。名称・住所はUniversity of Kent at Canterbury Canterbury. (Tel. 66822), 質問の教授は, Powles, J. G. (Physics), Pickayze, G. (Theoretical Physics) が該当すると思われる。

質問53 労働科学研究所・野村総合研究所の内容と住所を知りたい。
全国試験研究機関名鑑によった。労働科学研究所は労働負担、労働疾病、労働の社会経済諸条件に関する研究を行う。川崎市高津区菅生1544。野村総合研究所は経済・産業・経営・科学技術など多方面の調査研究を行う。鎌倉市梶原1600。

質問54 自然保護に関する日本の団体と国際的な団体を知りたい。
全国各種団体名鑑より、日本自然保護協会(昭26.8設立、港区芝西久保明舟町15)。目的・事業・刊行物・役員などの記事がある。国際学術団体要覧より、国際自然保護連合(International Union for Conservation of Nature and Natural Resources (IUCN), 1100 Morges(Vaud), Switzerland, 1948, 10設立 1956.6現名称)。目的・加入国・構成・活動・刊行物・国際団体との関係・日本との関係の記事がある。

質問55 スイスのCIBAという会社について、内容と日本の代理店などを調べたい。
ダイヤモンド外国会社要覧で調べた。Ciba-Geigy A. G. が正式名称。スイスに本社がある(Basel 7, Switzerland), 化学薬品を主に扱う。1970年にCiba, A. G. とJ. R. Geigy A. G. が合併。在日法人は日本チバ・ガイギー(株) 宝塚市実幸町10-66。

質問56 全国発明婦人協会・婦人発明家協会・日本特許協会などの住所は? 科学技術団体要覧に全部記載されている。名称(和名・欧名・略名)、所在、関係団体、設立、役員、目的、事業内容、刊行物、組織図などが記載。

質問57 ERIC Document Reproduction Serviceの住所を知りたい。

World guide to abbreviations…より、ERICは Educational Research Information Center の略で、Los Angeles にあることがわかった。

地理・地名に関する質問とその回答例

質問58 千葉市作草部町に下宿した。サクサベとは元来どのような地名だったのか。

千葉県地名変遷総覧によって調べる。顕宗三年紀、日本紀私記、天武十二年紀、姓氏録、養老五年ノ戸籍、後撰集などを引用して説明している。それらの史料に佐岐久佐、三枝という地名がみえ、古くから官廷に奉じた福草(佐岐)を産した土地らしい。サイクサ、サククサなどの音が変化して後撰集には作草部の字がみえる。

質問59 沖縄・那覇市の牧志町は何と読むか。

国土行政区画総覧が現行の正式名称を記載している。それによると「まきじちょう」と読む。

質問60 フランスのToulouse 地方というのはどの辺りを指すか。

世界地名大事典で調べる。まず索引で記載している頁を知る。ピレネー山麓に近いガロンヌ川上流にあり、オート・ガロンヌ県の首府。人口264,400(1953)。ローマ時代に築かれた町で多彩な歴史と中世紀の寺院、美術館、大学などをもつ。この辞典によるとツールーズと読む。

質問61 石川県の大聖寺という土地の歴史を知りたい。また現在の正式名称も知りたい。

大日本地名辞書の東国・北国篇、加賀(石川)江沼郡の下にある(索引より記載頁を知る)。大聖寺とは昔、白山五院の一つで伽藍が在ったらしいことからその名がおこり、大聖寺城も築かれたことがあるらしい。戦国時代には何度も戦火にみまわれた。現在のことは日本地名大事典にて調べる。加賀市の説明の中に大聖寺がみえる。昭和33年1月に、大聖寺町、山代町、片山

津町、動橋町、三木村、三谷村、南郷村、塩屋村が合併して、加賀市ができた。

質問62 エグモント山とはどこの国にあって、どう綴るのか。

世界地名大事典は綴りがわからなくてもひける。エグモント山はニュージーランド北島の南西部の死火山。8268フィート。Egmont と綴る。

質問63 インドのJaipur という地名の発音を知りたい。

Webster's new geographical dictionary によると [jī-īpū(ə)r]、これはJeypore と同じで、[jā-, pō(ə)r] でもあるとしてある。

質問64 カスピ海に比較的近いメルヴ(?)という町があると聞く。その位置を正確に知りたい。

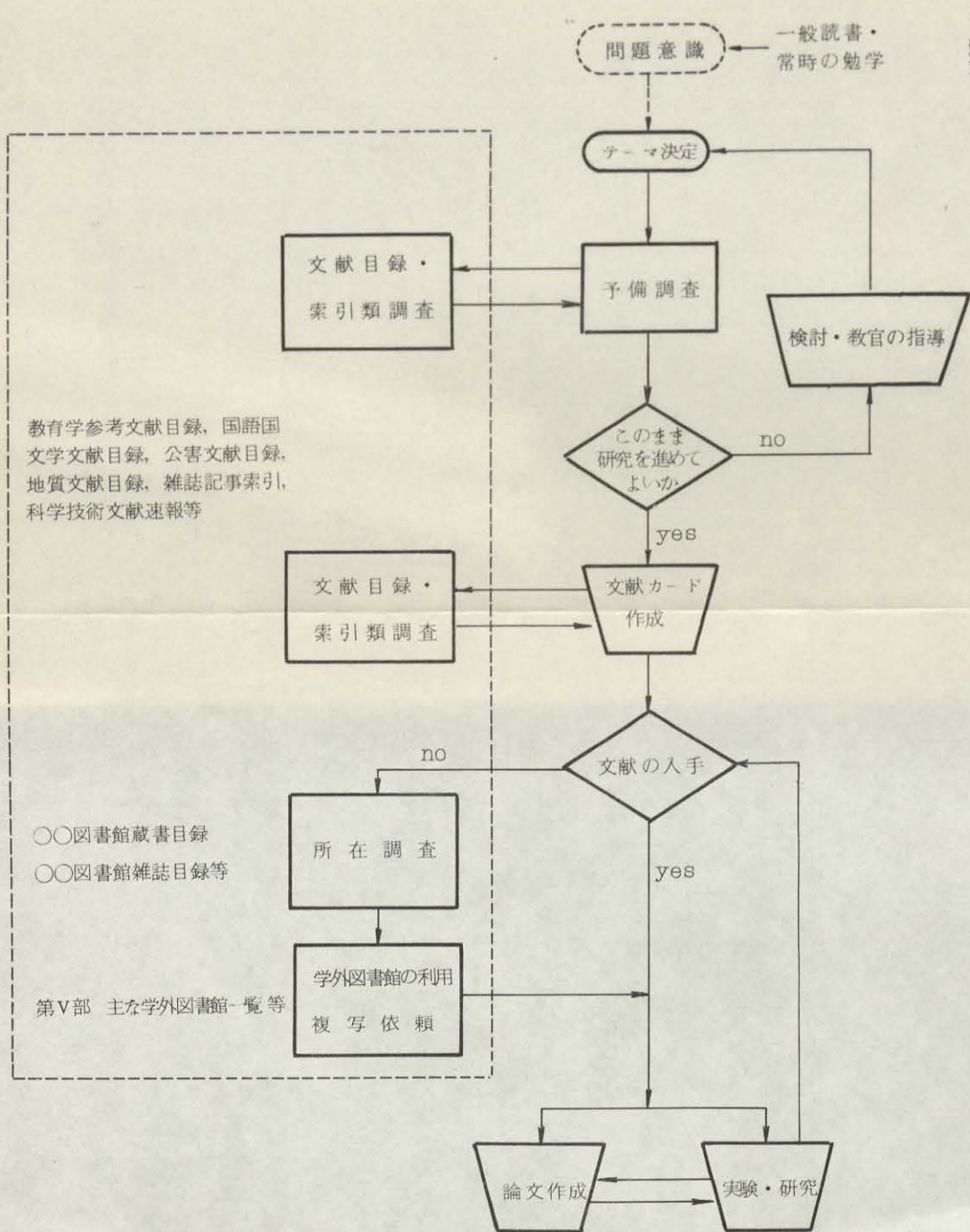
Times index-gazetter of the worldでメルヴに相当する綴りを探す。Merv→Maryが見つかる。Mary はソ連邦トルクメニア共和国にあるというので、質問の町に間違いなだろうと判断して、北緯37.42度、東経61.54度を知る。さらにTimes-atlas of the world によって地形図上の位置を確めた。またMervはMaryの古い地名であることもわかった。

質問65 バリとウィーンの街のようすを調べたい。

世界の文化地理—世界の都市に、バリとウィーンの記載されている巻がある。主要部分の市街地図と主な建物、その歴史などについて記事もある。

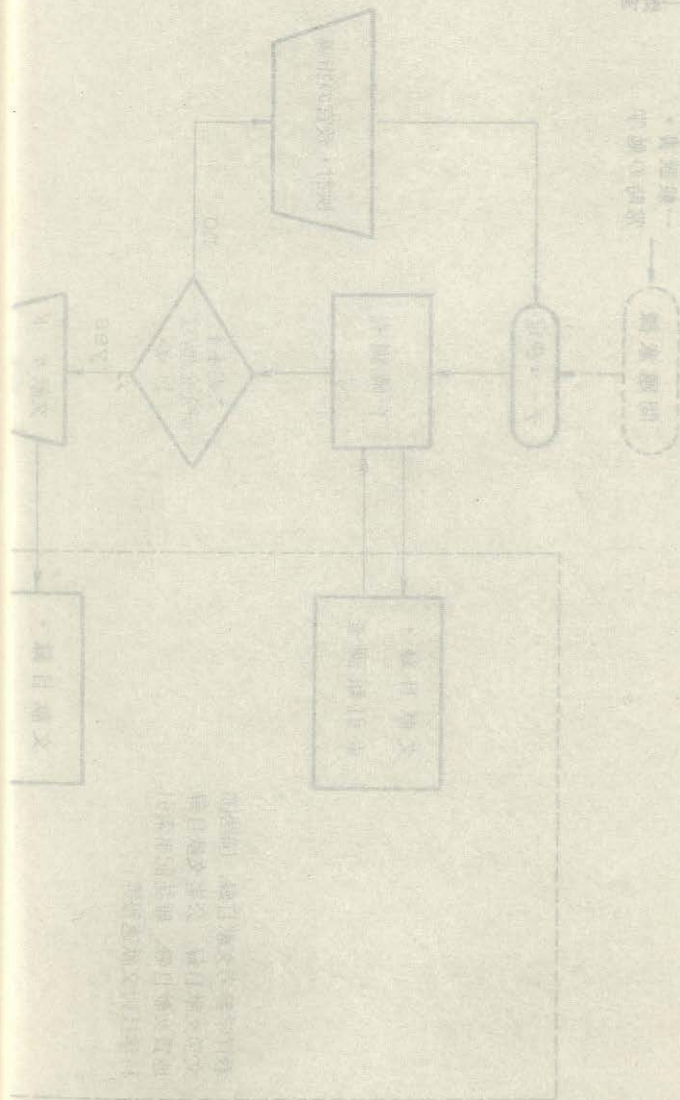
第Ⅳ部 文献目録作成法

1. 卒業論文作成等における論文の「テーマの決定」から「論文作成」までの一例



参考文献目録の作成方法（参考文献目録の作成方法）

図 1-1



2. 文献目録の作り方

論文作成の資料とするためレファレンスブックあるいは図書・雑誌の論文記事等の参考文献・引用文献を参照して自分が必要とする文献を記録する場合、カード等に記入するとよい。何故ならばそのカード等を著者別あるいは主題別に順次くりこんでいくと必要に応じていつでもすぐとり出すことができ、二度調べの必要もないからである。この際自分で読んだ文献（必要な場合、文献の内容の要約等を記入する）とこれから読む予定のものを何らかの形で区別しておくことが大切である。このように記録された情報の有効な利用を考えて実行することをドキュメンテーションという。カード等に記録する際は、次の要件を正確に記入する。

- (1) 単行書の場合 著者・書名・出版地・出版社・出版年
- (2) 雑誌の場合 著者・論題名・誌名・巻・号・頁・出版年
- (3) 単行書の一部の場合 著者・論題名（引用の単行書名・出版社・出版年・巻・頁）

以上のようにして作った文献目録は、著者別の文献目録であれば、「著者に関する文献目録」であり、主題による文献目録であれば、「主題に関する文献目録」である。配列方法はふつう見出し語（著者または主題）のアルファベット順または五十音順である。

次に文献目録の作り方の例を、アルファベット順によりあげてみる。

《川端康成に関する文献目録》

- (1) 単行書
- i) 長谷川泉 川端文学—海外の評価— 東京 早稲田大学出版部 昭41
 - ii) 長谷川泉編著 川端康成作品研究 東京 八木書店 昭44 pp566~582 「川端康成参考文献稿」(高橋新太郎編)
 - iii) 世界大百科事典 東京 平凡社 昭47 6巻 p453 「川端康成」(長谷川泉)
- 単行書の一部(ii)とiii)の場合は次のように記入してもよい。
- ii) 高橋新太郎編 「川端康成参考文献稿」(長谷川泉編 川端康成作品研究 東京 八木書店 昭44 pp566~582)

- iii) 長谷川泉 「川端康成」(世界大百科事典 東京 平凡社 昭47 6巻 p453) *カード例1
- (2)雑誌等 i) 小田切進 「川端康成著作目録」現代日本文学大系18 筑摩書房 昭44
- ii) 吉田精一 「川端康成1(倒叙日本文学史6)」国文学解釈と鑑賞 23(7):212-217 昭33

*カード例2

カード記入の例(カード一枚につき一件を記入する)

カード例1

執筆者名	長谷川 泉	書名	川端康成 (世界大百科事典)
見出項目名	川端康成 (世界大百科事典)	巻:頁	東京 平凡社 昭47 6:453
		出版年	
		出版社	
		出版地	

カード例2

執筆者名	吉田 精一	巻(号)	212~217 昭33
論題名	川端康成1(倒叙日本文学史6)	出版年	
誌名	国文学解釈と鑑賞 23(7):	掲載頁数	

《大気汚染に関する文献目録》

- (1)単行書 i) 浅川照彦 大気汚染の実態と公害対策 昭見堂 昭42 350p
- ii) 千葉県衛生部公害対策局公害対策課「大気汚染」(千葉県公

害白書 昭和47年版 pp21~105)

- iii) Miller, J. E. "Atmospheric pollution" (Encyclopedia Americana, New York, Americana Corp., 1963, 18:721f) *カード例3

- (2) 雑誌等 i) Maugh, T. H. "Air pollution instrumentation; a trend physical methods." Science 177:685-7 Aug. 25 '72) *カード例4

- ii) 東京都「住宅地では効果ありー白金トンネル排気塔で都が調査ー」朝日新聞1月27日朝22 '73

(カード例5)

Author	Article	Title	Place of publication
Miller, J. E.	Atmospheric pollution.	(Encyclopedia Americana. New York, Americana Corp., 1963. 18:721f)	
Publisher			
Date			
Volume			
Page			

(カード例4)

Author	Title of article	Date	Pages
Maugh, T. H. ed.	Air pollution instrumentation; a trend toward physical methods.	Science 177:685~7, Aug. 25 '72.	
Name of magazine			

3. 文献探索・情報処理・論文レポートの書き方に関する図書

ここでは代表的なものだけを紹介する。

(1) 文献探索

1. 藤川正信 第二の知識の本 新潮社 昭38 340p(新潮ポケットライブラリー)

副題に「人類のもっている全知識からあなたの必要な知識を引き出す本」とある。文献探索の先駆的図書。

2. 佃実夫 文献探索学入門 増補版 思想の科学社 昭48 161, 167p

資料の探し方百科とそのツールについて説明。

3. 牛島悦子・笹森勝之助 科学文献—まとめ方・さがし方・利用の仕方 全面改稿 新装版 南江堂 昭48 258p

(2) 情報処理

1. 梅棹忠夫 知的生産の技術 岩波 昭44 218p(岩波新書)
知識獲得の方法を教えた手引書。

2. 川喜田二郎 発想法 中央公論社 昭42 202p(中公新書)

3. 川喜田二郎 続発想法 中央公論社 昭45 316p(中公新書)

4. 川喜田二郎・牧島信一 問題解決学 講談社 昭45 203p
2~4は探検—観察・記録・整理・分類・保存・組立て・発想まで、独自のKJ法(著者のイニシャル)による創造性の開発を解いた三著作。

5. Barzun, J. & Graff, H. F. *The modern researcher*. Rev. ed. New York, Harcourt, 1970. 430p

人文科学についての調査研究法と論文作成法の手引書。

(3) 論文レポートの書き方

1. 清水幾太郎 論文の書き方 岩波 昭34 214p(岩波新書)

2. 加田哲二 論文・答案・レポート—まとめ方と書き方 慶応通信 昭45 218p

3. 八杉竜一 論文・レポートの書き方 明治書院 昭46 200p

4. 林太郎 新しい論文・レポート・作文の書き方 新星出版社 昭44 255p

5. 時事教育研究会 論文レポートの書き方と作文技法 画文堂

昭44 216p

(科学技術系)

6. 田中義麿・田中潔 科学論文の書き方 訂正24版 裳華房 昭45 374p

7. 富田軍二 科学論文のまとめ方と書き方 朝倉書店 昭48 29版 209p

8. 化学英語の活用辞典 化学の論文を英語で書くための 千原秀昭他編 化学同人 昭48 622p

9. 溝口歌子 英語の化学論文 新訂版 南江堂 昭48 254p

10. 平野進 技術英文のすべて 改訂増補版 丸善 昭47 581p

11. Hick, T. G. 著 塩崎進・宮川松男訳 技術論文の書き方 近代科学社 昭36 398p

(英語論文)

12. 生物学雑誌編集者協議会 医学生物学論文のまとめ方のコツ 久保田競・中村嘉男訳 共同医書出版 昭44 131p

13. 米国現代語学文学学会編 英語論文の手引—MLA論文様式— 第2版 原田敬一訳 北星堂 昭46 54p

原田敬一氏は本学人文学部教官

14. Turabian, K. L. *Student's guide for writing college papers*. 2. ed. rev. Chicago, Univ. of Chicago pr., 1969. 205p

15. Turabian, K. L. *A manual for writers of term papers, theses and dissertations*. 3. ed. rev. Chicago, Univ. of Chicago Pr., 1967. 164p.

第V部 学外図書館の利用法

1 図書館ではあらゆる分野のあらゆる資料を網羅的に収集することは不可能である。また特殊な文献は特定の図書館に所蔵されていることが多い。本学の図書館でも蔵書は限られている。従って本学図書館にない資料については図書館相互貸借制度を利用するとよい。学外の図書館を利用する際事前に調査できるものについては、本学に備え付けてある各館発行の蔵書目録・利用案内等をあらかじめ調べておくと効果的である。学外図書館の利用法には二つある。

- (1) 複写物を入手する。 郵送料と複写料金が必要。申込は参考調査係へ。
- (2) 直接行って図書を閲覧する。

以下、学外図書館の所在地、蔵書の特色などについていくつかを紹介する。国立国会図書館、公共図書館など一般公開の図書館以外の利用に際しては紹介状を必要とすることが多い。なお、休暇中に帰省地近辺の図書館を利用することもできる。

主な学外図書館一覧

図書館名	所在地・交通機関	蔵書の特色など	利用時間等 ()は土曜 休は休日
国立国会 図書館	千代田区永田町1-10-1 (03-581-2331) 地下鉄・国会議事堂前	国内出版物は全て収書されることが建前。外国の刊行物も収集。政府刊行物、国際機関刊行物は完備。ほかに科学技術資料室・特殊資料・主題別文庫あり。	9:30~17:00 休:祝・日・ 毎月末 複写可 図書館間貸出可
国立国会図書 館支部図書館	各省庁所在地	各省庁に30ある。各省庁の刊行物と関連資料を主に収集。以下代表館を列記する。	各館で閲覧規則が異なる。 紹介状要。

内閣文庫 (国立公文書館の一部)	千代田区北の丸公園3-2 (03-214-0621)	近世史料など約50万冊。江戸幕府以来の国の公文書を多く所蔵。	9:00~17:00 (12:30)
総理府統計局 図書館	新宿区若松町95 (03-202-1111)	約18万の日本古来及び外国、国連の統計関係資料を所蔵。	9:30~16:30 (12:00) 複写可
宮内庁図書館	千代田区千代田1-1 (03-213-1111)	皇室・国史・国文関係資料を所蔵。	9:00~16:30 (12:00)
文部省図書館	千代田区霞が関3-2-2 (03-581-4211)	文教行政に関する教育関係基本図書、文部省刊行物など所蔵。	9:00~16:00 (12:00)
特許庁図書館	千代田区霞が関3-4-3 (03-581-1101)	内外の工業所有権関係資料を網羅的に収集。外国公報51カ国分。	9:00~16:50 (12:00) 特許公報類は公開
東洋文庫	文京区本駒込2-28-21 (03-942-0121) 駒込よりバス	アジア文献の宝庫。東洋史研究・地域研究書など50万冊。「東方見聞録」の各種刊本もあり。	9:00~16:30 休:祝・日・ 木午後 複写可 紹介状要
静嘉堂文庫	世田谷区岡本町912 (03-701-0009) 渋谷からバス	国語国文学・国史・支那学・東洋史学の蔵書大。稀書珍籍も多く約20万冊。	休:祝・日 紹介状要

国文学研究資料館	品川区豊町1-16-10 (03-783-9106)	国文学に関する文献・資料を調査・収集・整理・保存などを目的とする。昭和52年7月開館	9:30~16:30 (11:30) 休:祝・日 毎月未他
国立史料館 (旧文部省史料館)	田園都市線・戸越公園	日本近世史料約50万点、文書類と民俗資料コレクションを所蔵。	9:00~16:30 (12:00) 複写可
国立教育研究所	目黒区下目黒6-5-22 (03-714-0111) 目黒よりバス	国内外の教育関係文献を収集。各機関刊行物、明治以降の教科書7万冊。	9:30~16:30 休:祝・土・日 公開、20才以上
東京都立中央図書館	港区南麻布5-7-13 (03-442-8451) 地下鉄・広尾	一般図書もよく揃っているが、東京の郷土資料、都行政資料は他に類がない。東京誌料は江戸研究の宝庫。特殊収書あり。	9:00~20:00 (土・日17:00) 複写可
千葉県立中央図書館	千葉市市場町2-6 (0472-22-0116) バス・県庁前	千葉の郷土資料をもつ。官報の一覧もてき、戦前の雑誌など古い資料あり。	9:00~19:00 (17:00) 休:祝・毎15・未日 複写可
東京都公文書館	港区海岸1-13-17 (03-432-8161) 国電・浜松町	東京都の公文書、資史料を系統的に収集。	9:00~16:30 (11:30) 休:祝・日 複写可

政府刊行物サービスセンター (霞ヶ関)	千代田区霞ヶ関1-2 (03-591-1924) 地下鉄・霞ヶ関	政府刊行物の展示即売。非売の官庁資料の閲覧サービスを行う。準政府刊行物も同様に扱う。	9:30~17:30 (15:00) 休:祝・日 複写可
日本科学技術情報センター (JICST)	千代田区永田町2-5-2(03-581-6411)地下鉄・国会議事堂前	科学技術文献、特に雑誌が多い。「文献速報」所載の論文の複写、外国文献の取寄、翻訳も行う。	9:00~16:30 (12:00) 休:祝・日 複写可
機械振興協会 経済研究所資料室	港区芝公園2-1-1-5 (03-434-8211) 地下鉄・大門、神谷町	機械工業関係団体の刊行物を多く収集。企業関係資料、主要国生産統計を所蔵。	9:00~16:30 休:祝・日・月 複写可
日本化学会 化学図書館	千代田区神田駿河台1-6 (03-292-6161)	化学関係資料、ことに雑誌が多い。閲覧証持参のこと。	9:00~16:30 (12:00)休:祝・日 複写可
東京大学 附属図書館	文京区本郷7-3-1 (03-812-1111) 地下鉄・本郷3丁目	学部図書室・東洋文化研究所・新聞研究所等の蔵書量大。総合図書館に特殊コレクション多数あり。	8:30~21:30 休:祝・日・その他 複写可 紹介状要
早稲田大学 図書館	新宿区戸塚町1-647 (03-341-2141) 国電・高田馬場	近代文学関係資料、洋学関係資料が豊富。他に和算の小倉文庫、演劇博物館もあり。	9:00~20:50 休:祝・日・その他 複写可 紹介状要

慶応義塾大学 教育研究情報センター	港区芝三田2-2 (03-453-2111) 国電・田町	近世以前の史資料、明治以降の各種資料を収集。東洋文化研究所の斯道文庫、政治の星文庫あり。	9:00~18:00 休:祝・日・ その他 複写可 入館料100円
昭和女子大学 近代文庫	世田谷区三宿町10 (03-421-8101) 渋谷よりバス	近代文学の収書は他に比類なく多い。古典研究も行われ、両者の索引カードは完備。	9:00~16:30 休:祝・日・ その他 複写可 紹介状要
日本近代 文学館	目黒区駒場4-3-55 (03-468-4181) 井頭線・駒場東大前	日本の近代文学関係の図書雑誌を収集、国会図書館にない資料もあり。	9:30~16:30 休:祝・日 複写可 入館料150円
大原社会問題 研究所 (法政大学)	千代田区富士見町2-17-1 (03-262-0696) 国電・飯田橋	労働問題、労働運動史の資料が豊富。エルバツハ文庫、「資本論」の初版本あり。	9:00~16:00 休:日・土 複写可 紹介状要
労働科学研究 所図書館	川崎市菅生1544 (044-97-2121) 向丘遊園駅よりバス	労働科学、労働医学、労働心理学、社会科学関係資料、約4万冊、雑誌3千種。	9:00~16:30 休:祝・日 複写可 紹介状要
日本労働協会 労働図書館	港区芝公園9-8 中退金ビル (03-436-0151) 国電・浜松町	労働関係の和洋書、定期刊行物を収集。34年度からの資料が豊富。貸出は会員のみ。	9:30~17:00 (12:00) 休:祝・日 複写可

アジヤ経済研 究所図書館	新宿区市ヶ谷本村 町42 (03-353-4231) 地下鉄・四谷三丁目	アジア地域の経済とその関係資料-政治、民族、歴史等、約7万冊、雑誌1千種。	9:45~16:45 (12:15) 複写可 紹介状要
NHK放送博 物館図書室	港区芝愛宕町1-10 (03-433-5212) 地下鉄・神谷町	放送文化、放送技術関係、各国の放送事業、NHKの出版物を主に収集。約9千冊。	9:30~16:30 休:祝・日
大宅文庫	世田谷区八幡山3-10-19 (03-303-2473) 京王線・八幡山	国会図書館で保存しないような雑誌・週刊誌類千種以上。マスコミ関係資料が豊富。	9:00~17:00 休:祝・日 複写可 入館料100円
東書文庫 (東京書籍内)	北区堀船町1-23 (03-919-1181) 国電・王子	我が国最大の教科書文庫。明治以降の教科書約10万冊、往来物や外国教科書も収集。	9:30~16:30 休:祝・日・ 10月1日 複写可
三康図書館	港区芝公園2-2 (03-431-6073) 地下鉄・大門	地理書、仏教書、戦前の児童書、児童雑誌が多い。旧大橋図書館蔵書を引き継ぐ。	9:30~18:00 休:祝・月 複写可 入館料30円
お茶の水 図書館	千代田区神田駿河 台1-6 主婦の友 ビル (03-294-2251) 国電・お茶の水	婦人問題、女性について、家事家政の図書が主で、他に文学書も多い。18才以上の女性に限る。	10:00~18:00 休:祝・日・ 第一月曜 複写可 入館料50円

アメリカン センターイン フォーマット (旧アメリカ文 化センター図書 館)	千代田区永田町2 -14-2 山王グラ ンドビル (03-581-6611) 地下鉄・赤坂見附	現代アメリカ合衆国の外 交・社会・経済・美術・ 公害関係図書。登録すれ ば貸出しも可。	10:30~16:00 (14:00) 休:祝・日 18才以上
国際交流基金 図書室 (元KBS図 書室)	千代田区紀尾井3 パークビル (03-263-4503) 地下鉄・赤坂見附	欧米の言語で書かれた日 本関係の図書コレクショ ン約1万冊。戦前資料が 豊富。	10:00~17:00 (12:00) 休:祝・日・月 紹介状要
東京文化会館 音楽資料室	台東区上野公園5 -45 (03-828-2111) 国電・上野	クラシックものを中心 とするレコード2万枚、 楽譜1万数千枚、音楽全 般の図書8千冊。	12:00~20:00 休:祝・日・ 毎26日 学生証提示

◎以上の図書館等についての詳細な利用案内は参考調査係に備えてある。

◎紹介状の発行は一両日の余裕をもって、参考調査係に申し出ること。

図書館・文庫等の要覧・案内書

- 日本の図書館 日本図書館協会 年刊 住所・利用時間などの一覧がある。
- 専門情報機関総覧 1976年版 専門図書館協議会 昭51 563p
- 日本文庫めぐり 岡田温監修 出版ニュース社 昭39 特殊文庫の案内。
- 研究所要覧 日本学術振興会 年刊 国立の研究機関一覽。
- 出版年鑑 出版ニュース社 年刊 「名簿編」
- 全国特殊コレクション要覧 出版ニュース社 1977. 217p
全国の蔵書・収集機関を網羅した文献情報便覧

付 録

1. 日本十進分類法 (NDC) 主編表

000 総記	270	オセアニア
010 図書館	280	伝記
020 図書、書誌学	T200	地理
030 百科事典	300	社会科学
040 論文集・講演集(一般)、 雑書	310	政治
050 年鑑(一般)	320	法律
060 学会、博物館	330	経済・経営
070 ジャーナリズム	340	財政
080 叢書・全集(一般)	350	統計
090	360	社会
100 哲学	370	教育
110 哲学各論	380	民俗学
120 東洋哲学	390	国防・軍事
130 西洋哲学	400	自然科学
140 心理学	410	数学
150 倫理学	420	物理学
160 宗教	430	化学
170 神道	440	天文学
180 仏教	450	地学
190 キリスト教	460	生物学・人類学
200 歴史	470	植物学
210 日本	480	動物学
220 アジア	490	医学・薬学
230 ヨーロッパ	500	工学・工業
240 アフリカ	510	土木工学・都市工学
250 北アメリカ	520	建築学
260 南アメリカ	530	機械工学
	540	電気工学

550	海軍工学	780	運動競技
560	採鉱冶金学	790	遊芸・娯楽
570	化学工業	800	語学
580	製造工業	810	日本語
590	家事	820	中国語・東洋語
600	産業	830	英語
610	農業	840	ドイツ語
620	園芸・造園	850	フランス語
630	蚕糸業	860	スペイン語
640	畜産・獣医学	870	イタリア語
650	林業	880	ロシア語
660	水産業	890	その他諸国語
670	商業	900	文学
680	交通	910	日本文学
690	通信	920	中国文学・東洋文学
700	芸術	930	英米文学
710	彫刻	940	ドイツ文学
720	絵画・書道	950	フランス文学
730	版画	960	スペイン文学
740	写真・印刷	970	イタリア文学
750	工芸美術	980	ロシア文学
760	音楽・舞踊	990	その他諸国文学
770	演劇・映画		

2. 目録カードのひき方

2. 1 著者名目録

著者名がわかっている図書をさがすのにひく目録である。カードに記された見出し語(大部分は著者名であるが、一部編者名や書名を含む)の読みのローマ字綴りをアルファベット順に配列したものである。著者名には個人名と団体名がある。

- (1) 個人名は姓と名前をコンマで区別して、姓のアルファベット順に配列されるが、同姓の場合はさらに名前のアルファベット順に配列してある。

i) 日本人名(ヘボン式ローマ字綴り) 例: Fukuzawa, Yukichi
(福沢諭吉)

ii) 中国・朝鮮人名(漢字音のヘボン式ローマ字綴り)
例: Kin, Nissei(金日成)

iii) 西洋人名(原綴り) 例: Weber, Max.
西洋人名は日本人名や中国人名などと違って、Christian name(Given name)+Surname(Family name)の順に構成されていて、姓が最後になる。従って、Giles Wilkeson Gray の著書を検索する時は、Gray, Giles Wilkeson のように転置して Gray のところをさがす。M¹, Mc, St, は Mac, Saint のように完全に書かれたものとして、ä, ö, ü は a, o, u と書かれたものとして配列してある。なお、西洋人名の原綴りがわからないときは岩波西洋人名辞典などで調べること。

iv) ロシア人名(アメリカ議会図書館制定の翻字表によるローマ字綴り)
例: Dostoevskii, Fëdor Mikhailovich
(Достоевский, Фёдор Михайлович)

- (2) 同一著者の著作は一カ所に集まっているが、その中では全集や選集が最初に、そのあと書名のアルファベット順に配列してある。四人以上の多数の執筆者によって書かれた図書は、書名または編者名からひくこと。伝記や作品研究書などは、被伝者、原著者からもひくことができる。
- (3) 団体名が見出し語となるのは、大学、研究所、学会などの編集した図書で正式な団体名からひくこと。

例: Kyoto Daigaku, Kogaku Kenkyujo
(京都大学工学研究所)

Nippon Kisho Gakkai (日本気象学会)

国内の官庁出版物(単行書)の見出し語は、まず各省の正式名称、その次に部局名の順である。ただし外局はその名称が見出し語となる。

例: Monbusho, Daigaku Gakujutsukokusaikyoku
(文部省 学術国際局)

Bunkacho (文化庁)

- (4) 外国の官庁出版物は、まず国名が見出し語となり、以下は国内官庁出版物と同様。

例: Amerika Gasshukoku Zaimusho

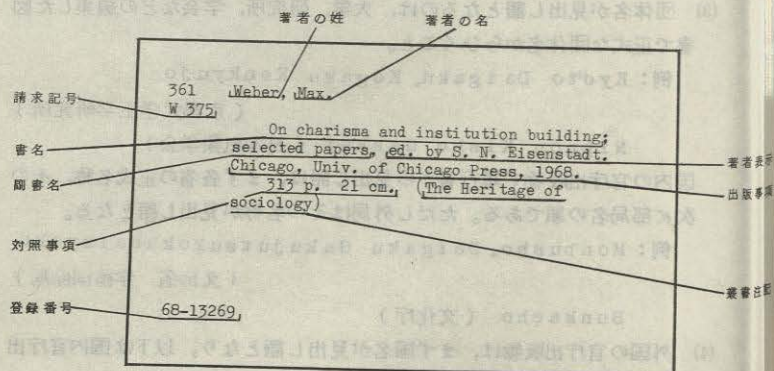
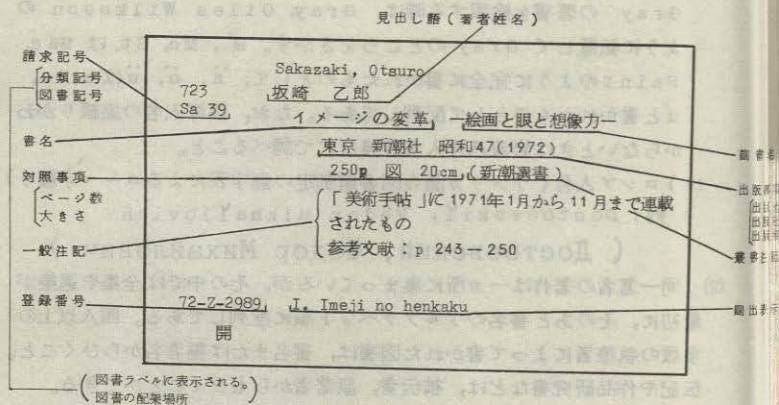
(アメリカ合衆国財務省)

(5) 法令集は国名が見出し語となり、次に「法令」がくる。

例: Nippon Horei (日本 法令)

カード見本例

見出し語(著者姓名)



2.2 分類目録

日本十進分類法(N D C.)に基づき、図書の主題によって体系的に分類し、その分類記号順に配列したものである。特定の主題から図書を探す場合にひく目録であるが、分類記号は目録コーナーにある日本十進分類表と関連索引表を利用して求めることができる。主題が二つ以上の分野にまたがって相互に関連する場合には、関連のある他の分類記号も調べる。なお同一の分類記号のカードは図書記号順に、巻数の分かれている図書は巻数順に配列してある。

2.3 書名目録

図書名のアルファベット順に配列したもので、書名や叢書名のおわっている図書を探すのにひくものである。この目録は昭和45年以降、本館備付図書に限っている。

(1) 西洋人名が書名に含まれる場合は原綴りに直して読むが、外来語および外国の地名・国名はその書かれたとおりをローマ字化して配列してある。また「日本」はNipponで統一してある。

例: マルクス主義 Marx shugi

ビタミン Bitamin (ヴァ, ヴィ……はバ, ビ……に)

ロンドン Rondon

フィンランド Finrando

(2) 洋書名で冒頭にくる冠詞(a, the, der, laなど)はないものとして配列してある。

(3) 個人の著作で個人名のあとに全集、選集、作品集、著作集などの語がつづく場合、団体の著作で団体名のあとに…年史、…図書目録などの語がつづく場合は、書名目録を省略してあるので著者名目録をひくこと。

例: Asimov, Isaac.

アシモフ選集

芥川竜之介

芥川竜之介全集

京都大学

京都大学七十年史

5. 外国語略語表 (洋書目録に使用されるもの)

略語	語
Abt.	Abteilung
Aufl.	Auflage
Ausg.	Ausgabe
bearb.	bearbeitet
c	copyright
collab.	collaboration
comp.	compiled, compiler
dept.	department
ed.	edited, edition, editor
enl.	enlarged
et al.	et alii (L, = and others)
Gt. Brit.	Great Britain
hrg.	herausgegeben
introd.	introduction
l.	leaf, leaves
ms., mss.	manuscript, -s
n. F.	neue Folge
n. d.	no date (of publication)
n. p.	no place (of publication)
pp.	pages
pub.	publishing, published, publisher
rev.	revised
ser.	series
T.	Teil
t.	tome, tomo
tr.	translated
v., vol., vols.	volume, -s

3. ヘボン式ローマ字表記法

a	i	u	e	o	ga	gi	gu	ge	go	mya	myu	myo
ka	ki	ku	ke	ko	za	ji	zu	ze	zo	rya	ryu	ryo
sa	shi	su	se	so	da	ji	zu	de	do	gya	gyu	gyo
ta	chi	tsu	te	to	ba	bi	bu	be	bo	ja	ju	jo
na	ni	nu	ne	no	pa	pi	pu	pe	po			
ha	hi	fu	he	ho	kya	kyu	kyo			bya	byu	byo
ma	mi	mu	me	mo	sha	shu	sho			pya	pyu	pyo
ya	-	yu	-	yo	cha	chu	cho					
ra	ri	ru	re	ro	nya	nyu	nyo					
wa	-	-	-	-	hya	hyu	hyo					

本学では上表および下記の用法によっている。

- はねる音「ン」はすべて「n」を用いる。例：新聞 (shinbun)
- つまる音はすべて次にくる最初の子音字を重ねて用いる。
例：一般 (ippan) 立地 (ricchi)
- 長音は長音符を省略してある。例：応用 (oyo)
- 外来語を表わすのに、fa, di, ti, she などを用いてある。
また、「ヴァ」行は「バ」行として、「b」を用いてある。

4. ロシア文字翻字表

発音					
А а	a	К к	k	И и	is
В в	b	Л л	l	Ч ч	ch
В в	v	М м	m	Ш ш	sh
Г г	g	Н н	n	Щ щ	shch
Д д	d	О о	o	У у	y
Е е	e	П п	p	Э э	é
Ё ё	ē	Р р	r	Ю ю	(iu)
Ж ж	zh	С с	s	Я я	ia
З з	z	Т т	t		
И и	i	У у	u		
Й й	i	Ф ф	f		
		Х х	kh		

本学では、上表の米国議会図書館方式によっている。

6. 図書の各部分の名称

普通、学術書・レファレンスブックなどは次の構成部分から成っているものが多い。(藤森善貢 出版技術入門 日本印刷新聞社 昭40 より抜粋)

- | | | |
|------------|-------|---|
| まえづけ
前付 | とびら | 開巻第一にある題名を記したページ。表紙をあけると見返し の遊び紙があり次にこのとびらがある。前とびら(外国書に多い)、中とびら、半とびらなどがある。
本の表紙裏、本文の中身と表紙とを連結させる「ちから紙」の役をする。 |
| | 口 絵 | とびらの次に入るのが普通である。著者の肖像などはとびらの対向面に入る場合もある。 |
| | 献 辞 | 著者がその著書をとくに一定の人物にささげる旨を書いた言葉。とびらの裏面を利用する場合もあるが、特別にページを設けるのが普通である。 |
| | 序 文 | 著者、訳者、編者などにより書かれる。読者の理解を助けるための「前口上」というべきものである。 |
| | 凡 例 | あらかじめ読者に指示を与え、内容への理解を助けるために本文中の用語や略語、例則について個条書きにしたもの。とくに辞典類のように一定の約束によって記述されているものには、凡例は非常に重要である。 |
| | 目 次 | 本文の内容を一覧させるもの。詳細な目次は索引的な役割を果たす。 |
| 本 文 | ノンブル | 各ページの順序を示す数字。 |
| | ページ数 | ページの数を示す。全ページを通してつける。
(外国書では Preface, Contents 等に i, ii, をつけて Chapter から 1, 2, 3... とするのが多い。) |
| | 丁 見出し | 表裏2ページを一つにした紙葉一枚をいう。
標題とも言う。内容が一目でわかるようにしたもので、行頭および編・章・節などの見出し語をいう。 |

- | | |
|----------|---|
| 柱 | 各ページの最上端または最下端 および前小口に寄せてしるされた書名または主要項目などをいう。 |
| 引用文・参考文献 | "", 「」で他人の文章を引用する。別行として2字さげて組む場合もある。章末や巻末にまとめて掲げる場合もある。 |
| 注 | 頭注・割注・脚注・傍注・補注などがある。 |

- | | | |
|--------------------|-------|--|
| あとがき
らとづけ
後付 | 付 録 | 本文に関係ある文献または参考図書の一覧。その他図版、地図、年表などをいい、普通巻末で取り扱う。 |
| | 索 引 | 本文中の重要語句、術語、人名、地名を抽出し、アルファベット順・五十音順に配列し、本文所在個所のページ数を記載したもの。学術書に多い。 |
| | 奥 付 | 著者の脱稿後の感想など、序文より軽い意味をもつ。その書物の書誌学的な必要事項をまとめたもの。普通は巻末につける。著者の検印・書名・発行者(社)・発行年月日・版数(刷数)・定価など。 |
| | 奥付裏広告 | 奥付裏または次に一丁をたてて書物の広告をすることがある。同一著者のもの、同じ出版者のその書物と関連のあるもの、またはその書物が双書の一冊であればその双書についての広告をするのが普通である。 |

1. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 2. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 3. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 4. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 5. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展

6. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 7. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 8. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 9. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 10. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 11. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 12. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 13. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 14. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 15. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展

16. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 17. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 18. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 19. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展
 20. 日本書紀・古事記の成立とその研究の進展

主題・事項・書名索引
 (配列はアルファベット順)

アジア歴史地図	82	中国大陸省別地図	81
朝日年鑑	65,91,92	中国人名大辞典	69
朝日現代用語事典	359,193	中日大辞典	37
幕末明治・研究雑誌目次集覧	29	中央公論総目次	29
万有百科大事典	60	大独和辞典	51
文化人名録	68,93	大言海	33,34
文献ジャーナル	30	大人名事典	68,93
ブリタニカ国際大百科事典	59,91	大辞典	32
ブリタニカ国際地図	79	大字典	34
分類語彙表	36	大韓民国地図	81
千葉大学継統受入雑誌目録	5,86	大漢和辞典	33
千葉大学雑誌総合目録	5,86	大日本地名辞典	78
千葉大学蔵書目録	5,84	大日本百科事典ジャポニカ	59
千葉県地名変遷総覧	96	大日本人名辞書	68
千葉県学事関係職員録	69	大日本国語辞典	33
千葉県関係新聞記事索引	30	ダイヤモンド会社職員録	68
逐次刊行物所蔵目録	26	ドキュメンテーション	99
地名語源事典	78	同人誌年鑑	28
地名の呼び方と書き方	77	独和言林	51
著作権台帳	68,93	江戸時代書林出版書籍目録集成	18
朝鮮図書解題	22	英文科学技術略語大辞典	47
中国地図帳	81	英米故事伝説辞典	90
中国大地図	81	英米の辞書	32

英文を書くための辞書	50	現代用語の基礎知識	35
英語反対語辞典	47	ギリシヤ・ラテン引用語辞典	57
英語辞書のはなし	32	五万分の一地形図	81
英語慣用法辞典	46	群書解題	21
英語の辞書	32	群書索引	60
英語類語辞典	47	グランド現代百科事典	59
複写サービス	9	話の大事典	60
フランス百科全書の研究	58	反対語辞典	36
フランスの百科事典		本朝書籍目録考証	18
ついて	58	本邦辞書史論叢	32
外国人の姓名	75	百科事典の歴史	58
外国会社要覧	75,95	百科事典の整理学	58
外国政府刊行物受入案内	23	百科事典操縦法	58
外国雑誌便覧	25	標準日本語発音大辞典	35
学術文献収報	31	一次資料	25
学術関係国際会議一覧	74	郁文堂和独辞典	51
学術雑誌総合目録	27,88	引用文献	99
外来語辞典	35,92	岩波中国語辞典	37
現代朝鮮語辞典	37	岩波英和大辞典	49
現代中国人名辞典	69	岩波ロシア語辞典	56
現代中日辞典	37	岩波西洋人名辞典	69,94,113
現代独和辞典	51	字源	34
現代英米文学人名辞典	72	辞源	37
現代韓国人名辞典	69		
現代日本文芸総覧	29		

事物起源辞典	60	漢字語源辞典	34
時代別国語大辞典		漢字の起源	34
上代編	34	寛政重修諸家譜	76
時事年鑑	65,92	漢籍解題	21
人物文献索引	73	漢訳漢名西洋人名字典	69,94
人物逸話辞典	68	漢訳対照梵和大辞典	38
人物叢書	67	系図纂要	76
人事興信録	68,93	研究社新英和大辞典	49
辞典式目録	14	研究社新和英大辞典	49
辞典のはなし	32	件名	15
実用難読奇姓辞典	75	基本英語百科事典	90
実用姓氏辞典	93	近代日本名著解題	21
上代語辞典	34	近代日本出版事業史	58
熟語本位英和中辞典	49	広文庫	60
角川外来語辞典	35	講談社ニューワールド	
科学技術文献略語辞典	28	英和辞典	49
科学技術文献速報	30	広辞苑	33
科学技術人名事典	72	故事ことわざ辞典	36
科学技術関係会議録目録		広辞林	33
	74	古事類苑	60
科学技術略語辞典	25	故事熟語大辞典	36
会社年鑑	75	故事成語大辞典	36
改造目次総覧	29	故事成語諺語辞典	36
郭沫若寄贈文庫	9	古辞書の研究	32
官庁刊行物総合目録	23	康熙字典	37
漢学者伝記及著述集覧	71	国土行政区画総覧	78

国学者伝記集成	71	固有名詞英語発音辞典	46
国語慣用句辞典	36	国の刊行物解説目録	23
国語の辞書をテストする	33	教育人名辞典	71
国連専門機関刊行物目録	24	町野家文書	6
国立国会図書館欧文逐次刊行物目録	26	毎日年鑑	65,91,92
国立国会図書館所蔵貴重書解題	23	マルタン仏和大辞典	53
国立国会図書館所蔵国際連盟・国際連合刊行物資料目録	24	マルタン和仏大辞典	53
国立国会図書館所蔵日本関係欧文図書目録	23	名著の履歴書	21
国立国会図書館所蔵新聞目録	26,89	明治文化資料叢書	19
国立国会図書館所蔵和雑誌目録	26,89	明治事物起源	60
国立国会図書館蔵書目録	19-20,85,88	明治過去帳	68
国際学術団体要覧	73,95	明治初期百科全書の研究	58
国書解題	21,22,87	明治初期三都新刻書目録	19
国書刊行会出版目録	22	明治大正昭和翻訳文学目録	23
国書総目録	18,22,87,88	明治大正昭和邦訳アメリカ文学書目録	23
これが新しい世界だ	82	明治前期学術雑誌論文記事総覧	29
		明治前期書目集成	19
		模範仏和大辞典	53
		難訓辞典	36
		二次資料	25
		名乗辞典	36,75,94

日葡辞書	54	日本書誌の書誌	17
日本仏家人名辞書	71	日本出版百年史年表	24
日本地名大辞典	78,96	日本総合図書目録	19
日本地名学	78	日本叢書索引	22
日本地名学研究	78	日本都道府県地図総鑑	81
日本大辞典言泉	33	日本統計年鑑	65,92
日本読書新聞	24	日本都市地図要覧	81
日本語中心六カ国語辞典	57	日本都市地図全集	81
日本語発音アクセント辞典	36	日本雑誌総覧	25
日本博士録	72	日本図誌大系	81
日本人物文獻目録	73	日ソ関係図書総覧	23
日本人名辞典	68	ニユース・イヤブック	30
日本会社録	75	葡和新辞典	54
日本近代文学館所蔵雑誌目録稿	89	ランダムハウス英和辞典	40
日本近代名著と文献	21	レファレンスサービス	5
日本古代人名辞典	67	露日辞典	56
日本古語大辞典	34	類義語辞典	36
日本国語大辞典	33	類語辞典	36
日本の辞書	32	最近の図書・書誌関係文献	17,31
日本の名著	21	最新全国市町村名鑑	78
日本の参考図書	17	索引本備文韻府	37
日本歴史地図	82	参考文献	99
日本類語大辞典	36	三省堂カレッジクラウン英和辞典	49
日本職員録	75	政府刊行物月報	23
日本書籍目録	19	精解韓日辞典	37
		精解日韓辞典	37

姓氏家系大辞典	76	新漢和中辞典	34
西和辞典	54	新明解国語辞典	33
正統群書類従分類総目録・文献目録	21	新日本分県地図	81
世界地名大事典	77,96	新日本経済地図	82
世界地名事典	77	新編日本古語辞典	34
世界大百科事典	59,91	新世界地図	79
世界人名事典	67	新収洋書総合目録	20,88
世界名著大事典	21,22,87	新スタンダード和英辞典	50
世界年鑑	65,91,92	新和仏中辞典	53
世界の文化地理	82,97	新約ギリシヤ語辞典	57
世界の名著	21	私立大学短期大学紀要	
専門別大学研究者・研究題目総覧	71	類論文題目索引	30
選定図書目録	21	シソーラス	46
支那人名辞書	69	指定図書	34
支那書籍解題	22	自然科学の名著	87
新聞雑誌解題の案内	29	書評年報	24
新聞雑誌関係者略伝	28	詳解漢和大辞典	33
新英和活用大辞典	46	職員録	68
新仏和中辞典	53	昭和書籍雑誌新聞発禁年表	28
新語情報	43	週刊読書人	24
新伊和辞典	55	出版年鑑	19,84,88
新字鑑	34	総合資料索引	22
新華(集)辞典	37	相関索引	6,15,85
		尊卑分脉	76
		ソ連邦機関・団体名鑑	74

スタンダード仏和辞典	53	全国学校総覧	73,94
スタンダード和仏辞典	53	全国学協会総覧	73
タイ日辞典	37	全国方言辞典	35
大正過去帳	68	全国各種団体名鑑	73,95
玉川百科大辞典	60	全国公共図書館逐次刊行物総合目録	27,89
定本柳田国男集	78	全国国立大学所蔵貴重図書目録	23
東京大学新聞研究所新聞センター所蔵新聞目録	26	全国旅行案内	82
図書新聞	24	全国試験研究機関名鑑	73,95
東天紅	26	全国短大・高専職員録	68
上野文庫解題目録	26	全国短期大学高等専門学校一覧	74
和独大辞典	51	全日本出版物目録	19,23
和漢三才図会	60	全集総合目録	22
和訓栞	32	全集・叢書細目総覧	32,88
和露大辞典	56	全集叢書総覧	22
和西大辞典	54	続・故事ことわざ辞典	36
私の辞書	32	図説日本文化地理大系	82
用字用語新表記辞典	36		
有朋堂文庫総索引	22		
雑誌記事索引	29		
雑誌総目次索引集覧			
全国アクセント辞典	36		
全国大学一覧	73,94		
全国大学研究機関要覧	25		
全国大学職員録	68		

Abridged compendium of American genealogy, 76
Acronyms and initialisms dictionary, 48
Allen's synonyms and antonyms, 48
Ambassador: world atlas, 80
American authors, 73
American book publishing record, 20
American college dictionary, 42
American counties, 79
American dictionary of the English language, 40
American educator encyclopedia, 62
American glossary, 44
American heritage dictionary of the English language, 42
American language, 40
American men and women of science, 70
American peoples encyclopedia, 62
American place-names..., 79
American thesaurus of slang, 45
American universities and colleges, 74
Anglo-Saxon dictionary, 42
Atlas of central Europe, 81
Atlas mira, 80
Ayer directory, 25
Baedeker's touring guides, 82
Baker's biographical dictionary of musicians, 72
Biblio, 20
Bibliographic index, 18
Biography index, 67
Blue guides, 82
Bol'shaia sovetskaiia entsiklopediia, 64
Books in print, 20
Brewer's dictionary of phrase and fables, 48
British authors, 73
British books in print, 21
British national bibliography, 20
British union catalog of periodicals, 27
Brockhaus-Bildwörterbuch, 52
Brockhaus Enzyklopädie, 62
Cambridge Italian dictionary, 55
Canadian government publications, 23
Cassell's dictionary of abbreviations, 48
Cassell's English-Dutch, Dutch-English dictionary, 54

Cassell's Italian-English, English-Italian dictionary, 55
Cassell's new French-English, English-French dictionary, 53
Cassell's new Latin-English, English-Latin dictionary, 57
Cassell's Spanish-English, English-Spanish dictionary, 54
Chambers biographical dictionary, 67
Chambers twentieth century dictionary of the English language, 41
Chambers's encyclopaedia, 61
Christian name, 83, 111
CODEN for periodical titles, 28
Collier's encyclopedia, 61
Columbia encyclopedia, 61
Columbia Lippincott gazetteers of the world, 78
Commonwealth universities yearbook, 75
Complete dictionary of abbreviations, 48
Complete guide to heraldry, 76
Comprehensive etymological dictionary of the English language, 43, 90
Compton's pictured encyclopedia and fact-index, 62
Concise Oxford dictionary of current English, 41
Concise Oxford dictionary of English place-names, 78
Concise Oxford Turkish dictionary, 39
Contemporary authors, 73
Cumulative book index, 20, 88
Current American usage, 46
Danish-English dictionary, 54
Deutsche Bibliographie, 20
Deutsche Bucherverzeichnis, 20
Deutsche Namenkunde, 76, 79
Deutsches Wörterbuch, 50
Dictionary of abbreviations, 48
Dictionary of American biography, 70
Dictionary of American English on historical principles, 39
Dictionary of American-English usage, 45
Dictionary of American family names, 76
Dictionary of Americanisms on historical principles, 39

Dictionary of American slang, 45
Dictionary of British surnames, 76
Dictionary of clichés, 45
Dictionary of contemporary American usage, 45
Dictionary of the English language, 38
Dictionary of national biography, 69
Dictionary of new English, 43
Dictionary of scientific biography, 72
Dictionary of slang and unconventional English, 44
Dictionary of spoken Russian, 56
Dictionnaire alphabétique et analogique de la langue Française, 52
Dictionnaire de l'ancienne langue Française, 52
Dictionnaire de la langue Française, 52
Directory of scientific directories, 74
Directory of special libraries and information centers, 75
Dissertation abstracts international, 30
Duden espanol, 54
Duden Française, 53
Duden Italiano, 55
Duden pictorial encyclopedia in five languages, 57
Encyclopaedia Britannica world atlas, 79
Encyclopedia Americana, 61
Encyclopedia international, 62
Encyclopedia of associations, 74
Encyclopedia of world travel, 82
Encyclopedic world dictionary, 41
English dialect dictionary, 44
English-German, German-English dictionary, 52
English-Greek dictionary, 57
English place names, 79
English Russian dictionary, 56
Etymologisches Wörterbuch der Deutschen Sprache, 51
Eurapa year book, 66, 93
European authors, 73
European research index, 74
Everyman's encyclopaedia, 61
Everyman's English pronouncing dictionary, 46
Famous first facts, 62
Finish-English general dictionary, 54

Funk & Wagnalls new standard dictionary of the English language, 40
Funk & Wagnalls standard college dictionary, 42
Goode's world atlas, 80
Grand Larousse encyclopedique, 94
Grande dizionario della lingua Italiana, 55
Grande encyclopedie, 63
Greek-English Lexikon, 56
Grosse Bertelsmann Weltatlas, 80, 81
Grosse Duden, 50
Grosse Duden-Lexikon, 63
Grosse Herder, 63
Grossen Deutschen, 79
Guide to atlases, 79
Guide to current British journals, 26
Guide to foreign language grammars and dictionaries, 32
Guide to reference books, 17
Guide to reference materials, 17
Handbook of American idioms and idiomatic usage, 45
Handbuch der bibliographischen Nachschlagewerke, 17
Handwörterbuch der Deutschen Sprache, 50
Harrap's French-English dictionary of slang and colloquialisms, 53
Harrap's standard French and English dictionary, 53
Harrap's standard German and English dictionary, 51
History of American magazines, 25
Icelandic-English dictionary, 54
Indonesian-English dictionary, 37
Industrial research laboratories of the United States, 74
International atlas, 80
International bibliography of dictionaries, 32
International who's who, 67
Internationale bibliographischen Zeitschriften-literatur, 30
Internationale Personalbibliographie, 18
Irregular serials and annuals, 25
I see all, 61
Junior book of authors, 73
Kenkyusha dictionary of current English idioms, 46
Korean-English dictionary, 37
Kürschnere deutscher Gelehrten-Kalender, 72
Lands and peoples, 82
Larousse, firm, publishers, 80

Lessico universale Italiano, 64
Longmans English Larousse, 41
Magazines for libraries, 26
Meyers enzyklopädisches Lexikon, 63
Meyers neues Lexikon, 63
Middle English dictionary, 43
Minerva Jahrbuch der Gelehrten Welt, 74
Modern English-Yiddish, Yiddish-English dictionary, 38
Modern reference encyclopedia, 62
Monthly catalog of United States government publications, 23
Murrett-Sanders Langenscheidts Enzyklopädisches Wörterbuch, 52
National atlas of the United States of America, 81
National union catalog, 18
Neue Deutsche Biographie, 70
New Appleton dictionary of the English and Portuguese languages, 55
New book of knowledge, 62
New Cassell's German-English, English German dictionary, 51
New century cyclopedia of names, 67
New encyclopaedia Britannica, 61
New English dictionary on historical principles, 39
New Michaelis, 55
New rhyming dictionary and poet's handbook, 48
New Roget's thesaurus of the English language in dictionary form, 47
New serial titles, 27
New unabridged English-Persian dictionary, 38
New York Times review of books, 24
Notable American women, 70
Nuovo dizionario moderno delle lingue Italiana e Inglese, 55
Original Roget's thesaurus of English word and phrases, 47
Origins, 44
Oxford advanced learner's dictionary of current English, 39
Oxford dictionary of English etymology, 44
Oxford dictionary of English proverbs, 48
Oxford economic atlas of the world, 82
Oxford English dictionary, 39
Oxford illustrated dictionary, 41

Oxford junior encyclopaedia, 62
Oxford Latin dictionary, 57
Oxford Russian-English dictionary, 56
Penguin English dictionary, 41
Pergamon world atlas, 80
Periodical title abbreviations, 28
Petit Larousse illustré, 63
Pocket Oxford dictionary of current English, 41
Portuguese-English dictionary, 54
Prominent personalities in the U.S.S.R., 71
Pronouncing dictionary of American English, 46
Random House dictionary of the English language, 40
Reader's digest complete atlas of the British Isles, 81
Readers' guide to periodical literature, 30
Rhyming dictionary of the English language, 48
Richard topical encyclopedia, 62
Roget's international thesaurus, 47
Russian English dictionary, 56
Scientific and learned societies of Great Britain, 74
Scientific and technical societies of the United States, 74
Shorter Oxford English dictionary, 39
Slang and its analogues, 44
Slovar' sovremennogo russkogo literaturnogo iazyka, 55
Sources du travail bibliographique, 17
Sprach-Brockhaus, 50
Statesman's yearbook, 66
Subject guide to books in print, 21
Surname, 83, 113
Thorndike-Barnhart comprehensive desk dictionary, 42
Times atlas of the world, 78, 80, 97
Times index-gazetteer of the world, 78, 97
Times literary supplement, 24
Tolkovyĭ slovar' russkogo iazyka, 56
Tolkovyĭ slovar' zhivogo velikoruskogo iazyka, 56
Trésor de la langue Française, 52
Twentieth century authors, 72
Ulrich's international periodicals directory, 25
Union list of serials in libraries of the United States and Canada, 27
United Nations documents index, 24
Universal dictionary of the English language, 39

Universal pronouncing dictionary of the biography and
mythology, 67
Verzeichnis lieferbarer Bücher, 21
Vietnamese-English dictionary, 37
Vox, 54
Webster's biographical dictionary, 67
Webster's new collegiate dictionary, 42
Webster's new dictionary of synonyms, 47
Webster's new geographical dictionary, 97
Webster's new international dictionary of the English
language, 40
Webster's new twentieth century dictionary of the English
language, 40
Webster's new world dictionary of the American language, 42
Webster's new world thesaurus, 47
Webster's third new international dictionary of the
English language, 40
Wer ist wer, 71
Who's who, 69
Who's who in America, 70
Who's who in France, 71
Who's who in Germany, 71
Who was who, 69
Who was who in America, 70
Who was who in the USSR, 71
World bibliography of bibliographies, 18
World book encyclopedia, 62
World guide to abbreviations of the associations and
institutions, 75, 96
World list of scientific periodicals, 27
World of learning, 74, 95
World who's who in science in Europe, 72
World word, 46
Wörterbuch der deutschen Gegenwartssprache, 50
Wörterbuch der deutschen Umgangssprache, 51
Yearbook of world affairs, 66

図書館で学ぶために

昭和57年3月30日 発行

編集兼 千葉大学附属図書館
発行者

印刷所 草野印刷(株)

